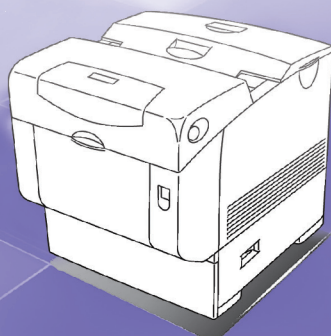
Color MultiWriter 7600C

カラーレーザプリンタ

活用ガイド

ME3478J9-1
第1版

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は、「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起	注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		爆発するおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止	行為の禁止は、「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。

行為の強制	行為の強制は、「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。

「Printing Force FUJI XEROX ロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

メディアプリントに使用するメディアのデータ消失

スマートメディアやコンパクトフラッシュなどのメディア内のデータは、次のような理由により消失、破損するおそれがありますので、必ず内部のデータをバックアップしてからご使用ください。

・マニュアルなどに記載された方法によらない取り出しや機械の電源断
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・天災による被害を受けたとき

お客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータの消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは Color MultiWriter 7600C をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機で印刷するための準備、操作方法、使用上の注意事項などについて記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

［お願い］☆保証書は大切に保管してください。

日本電気株式会社

マニュアルのなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にお使いいただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラスⅠのレーザーシステム」です。マニュアルに従って操作してください。マニュアルに書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

Color MultiWriter 7600C は、財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定・エコマーク商品類型 No.122「プリンタ」商品です（認定番号 05122007）。本機は、省エネルギー、部品の再使用の推進・再資源化、および有害物質の排除を実現することによって、エコマーク認定基準に適合した、ライフサイクルを通して環境に配慮したプリンターです。

本書は、地球環境への負担軽減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

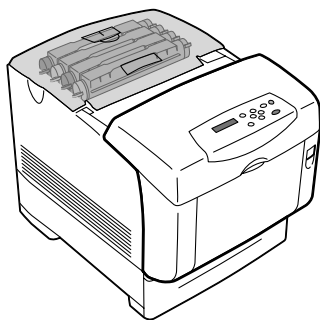
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は JIS C 61000-3-2（高周波電流発生限度値）に適合しています。

Color MultiWriter 7600C の特長

■ハイスピード、高画質

・A4 モノクロで 35ppm、
　A4 カラーで 25ppm のスピード印刷。
　(同一原稿、片面連続で印刷時)

・オイルレス定着技術の採用で、
　書き込みや捺印、付箋も貼りやすい。

・写真や POP、プレゼンテーションなど、
　文書の用途や目的に合った画質で印刷

■さまざまな紙質やサイズに対応

・普通紙はもちろん、厚紙、OHP、はがき、
　封筒などの特殊紙、
　サイズも官製はがきから A4 までの定形サイズ、
　長尺紙（長辺が 900mm まで）に対応。

■インストールや設定を簡単に

・付属のCD-ROMから起動するプリンターソフトウエアでプリンタードライバーを簡単インストール。
・Web からプリンターの状況を確認、各種設定が可能（CentreWare Internet Services）。

■豊富な印刷機能

・まとめて 1 枚 (N アップ)

複数ページを 1 枚に割り付けて印刷します。

・両面印刷

・小冊子作成

・拡大連写

ポスター作製で使用します。

・スタンプ

「社外秘」などの文字を重ねて印刷します。

・お気に入り

印刷設定を登録できます。

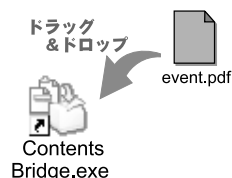
・メディアプリント *2

コンパクトフラッシュなどに取り込んだデータを直接印刷できます。

・メールプリント *1

TIFFまたはPDF形式のファイルを添付したメールを本機に送信します。受信されたメールは、自動的に印刷されます。

・PDF Bridge 機能

ContentsBridge Utility を使えば、PDF ファイルをドラッグ & ドロップするだけで、直接、簡単に、速く印刷できます。

■各種セキュリティー機能も搭載

・コンピューターとプリンター間の通信経路の暗号化

ネットワーク上で不正アクセスによる情報漏洩を防ぎます。

・受信制限

印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。

・ハードディスク *1 内のデータを上書き消去

残存データからの情報の漏洩を防ぎます。

・セキュリティープリント *1

出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力させます。そのため、他のドキュメントと混ざることも、回収し忘れることもなく、機密性の高い出力ができます。

*1：ハードディスク（オプション）が必要です。
*2：メディアプリントキット（オプション）が必要です。

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

設置手順書	本機の設置と、増設メモリ（オプション）の取り付け手順を説明しています。
ユーザーズマニュアル	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、プリンターの基本的な操作方法、困ったときの対処方法を説明しています。
活用ガイド（PDF）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理方法について、説明しています。 ・ このマニュアルは、ユーザーズマニュアルの内容をすべて含んでいます。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウエアのインストール方法を説明しています。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）	ART IV、ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL の各エミュレーションについて説明しています。 ・ 201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL エミュレーションは、オプションのエミュレーションキット、またはPostScriptソフトウエアキットを取り付けると使用できます。 ・ このマニュアルは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript® Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）	PostScript プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

注記
- 本機搭載のエミュレーション機能（ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL）については、すべての機能を満たすものではありません。ご承知のうえ、ご使用ください。

補足
- PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。

本書の読み方

本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

1　プリンター環境の設定	本機の設置が終わってから、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。
2　プリンターの基本操作	各部の名称と働きや、基本的な機能（電源の入 / 切、印刷の中止など）の操作方法について説明しています。
3　印刷する	主な印刷方法について説明しています。
4　用紙について	使用できる用紙や用紙のセット方法について説明しています。
5　操作パネルでの設定	操作パネルで設定できる項目とその設定方法について説明しています。
6　困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
7　日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストの印刷方法、日常の管理について説明しています。 また、機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定をしたりすることができるツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
A　付録	主な仕様や、オプション品の紹介、保証、保守サービスなどについて説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　補足事項を記述しています。

   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　　」：参照先は、本書内です。

   参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

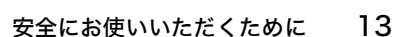
   [　　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

   ＞：操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

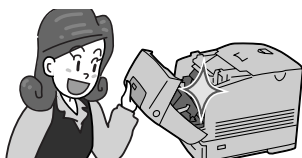
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

Color MultiWriter 7600C 内には、警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

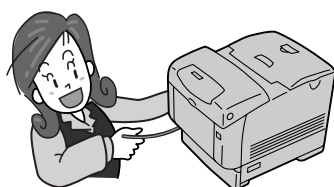
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。（このプリンターは、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。）

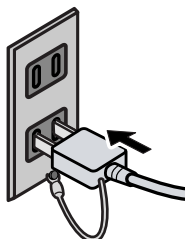
分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

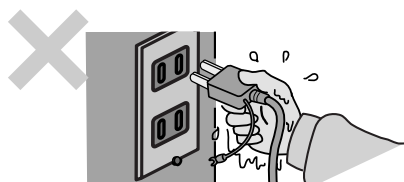
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

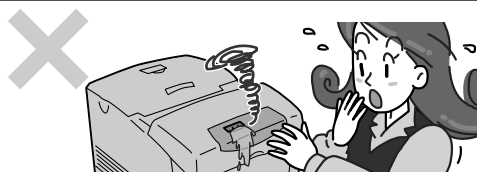
カートリッジを火の中に投げ入れない

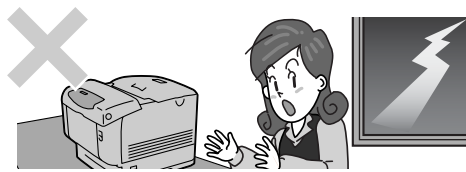
トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、転写ロールカートリッジを火の中に投げ入れないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

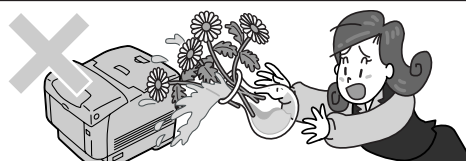
壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

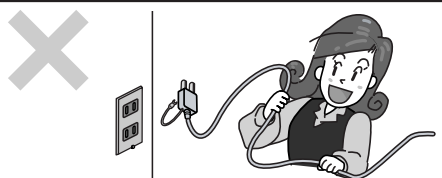
雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

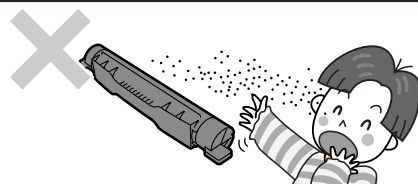
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

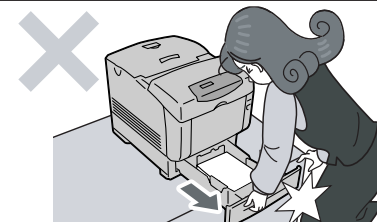
高温注意

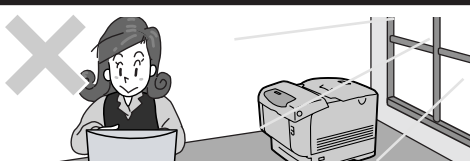
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、転写ロールカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

用紙カセットを勢いよく引き出さない

用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

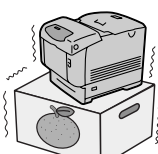
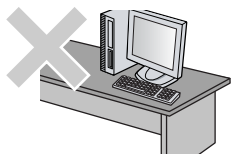
プリンターを運ぶときは2人以上で

プリンターの質量は約31.6kg（本体のみ）です。

機械を持ち上げるときは、まずドラムカートリッジを外します。

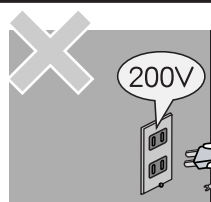
次に2人で機械正面（操作パネル側）と背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかり持ってください。

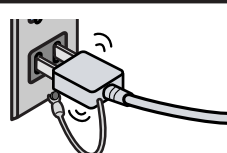
両側のくぼみ以外を持って持ち上げることはしないでください。

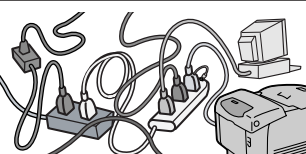
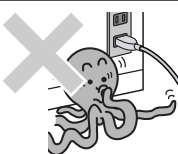
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

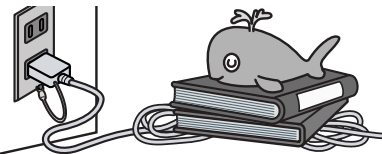
専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

延長コードを使わない

添付の電源コードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

スリープモードについて

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能をもっています。工場出荷時の設定では 8 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に消費電力を節約するようになっています。

この設定は、8 〜 60 分の間で任意に調節できます。操作の詳細については、本書の「[システム セッテイ]（システム設定）」(P. 128) を参照してください。

補足

・ 本機では、スリープモード以外に低電力モードをサポートしています。スリープモードと比較すると、消費電力は増えますが、ウオームアップ時間が短くなるように設計されています。低電力モードは、工場出荷時には、3 分に設定されています。

ライセンスについて

OpenSSL について

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay について

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING, NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

JPEG コードについて

本プリンターのソフトウエアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
    - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
    - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
    - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
    - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
    - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

    (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

    (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

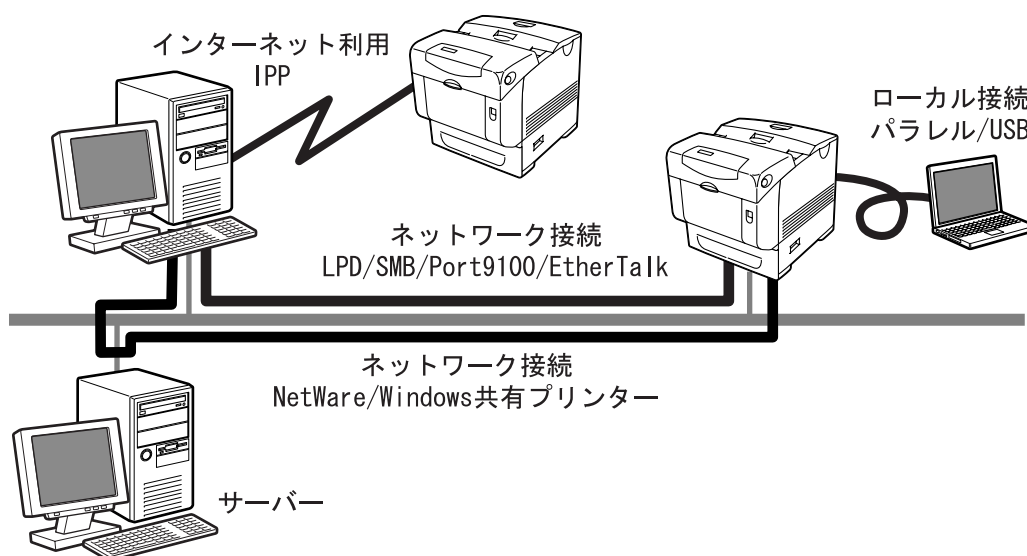
    (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

    権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
    - ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
    - ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
    - ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
    - ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
      ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
    - ❑ 学校教科書への掲載。
      ただし、権利者への補償金が必要です。
    - ❑ 学校その他教育機関における複製。
      ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
    - ❑ 試験問題としての複製。
      ただし、権利者への補償金が必要です。

1　プリンター環境の設定

設置手順書に従って、プリンター本体の設置が終わったら、続けてプリンター環境を設定します。

1.1　使用できる環境について

本機は、直接コンピューターと接続するとローカルプリンターとして、ネットワークを経由するとネットワークプリンターとして使用できます。

■ ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、以下の接続形態があります。

- パラレル接続　：本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続して使用します。
- USB 接続　：本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。

■ ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、以下の環境で使用できます。

- LPD　：TCP/IP プロトコルを使用し、本機と直接通信できる場合に使用します。
- NetWare®　：NetWare サーバーを使用し､本機を共有管理する場合に使用します。
- SMB　：Windows® ネットワークを使用して印刷する場合に使用します。
- IPP　：インターネットを経由して印刷する場合に使用します。
- Port9100　：ポートとして Port9100 を利用している場合に使用します。
- EtherTalk®　：Macintosh® から印刷する場合に使用します。PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。

■ コンピューターの OS と使用できる環境

補足
・ 対象 OS は予告なく変更されることがあります。

接続形態	ローカル			ネットワーク							
ポート名	パラレル	USB-1 (1.1)	USB-2 (2.0)	LPD	NetWare		SMB		IPP	Port 9100	Ether Talk
プロトコル	-	-	-	TCP/IP	TCP/IP	IPX/SPX	Net BEUI	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	Apple Talk
Windows® 95	○			○*4	○	○	○	○		○*4	
Windows® 98	○	○*1、3	○*2、3	○*4	○	○	○	○		○*4	
Windows® Me	○	○*1、3	○*2、3	○*4	○	○	○	○	○	○*4	
Windows NT® 4.0	○			○	○	○	○	○			
Windows® 2000	○	○*1	○*2	○	○	○	○	○	○	○	
Windows® XP	○	○*1	○*2	○	○	○		○	○	○	
Windows Server™ 2003	○	○*1	○*2	○	○	○		○	○	○	
UNIX				○*6							
Mac OS® 7.6.1 ～ 9.2.2		○*1、5									○*5
Mac OS X 10.1.5/10.2/ 10.3.3 ～ 10.3.9		○*1、5	○*2、5	○*5							○*5

*1：接続するコンピューターに USB ポートが必要です。また、Macintosh の場合は、Mac OS 8.6 以降でサポートします。
*2：接続するコンピューターに USB2.0 ポートが必要です。Windows 2000(SP4 以降)、Windows XP(SP1 以降)、Windows Server 2003 は、USB2.0 ドライバーを標準でサポートしています。
*3：Windows 98/Me の場合は、USB Print Utility を使用します。USB Print Utility は、同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM からインストールできます。
*4：Windows 95/98/Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM からインストールできます。
*5：PostScript ソフトウエアキット（オプション）と 128MB 以上の増設メモリ（オプション）が必要です。
*6：PostScript® データを印刷する場合は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）と 128MB 以上の増設メモリー（オプション）、UNIX フィルター（エイセル株式会社製）が必要です。UNIX フィルターは SunOS、Solaris、HP-UX、Linux の各 OS に対応していますが、対応する OS のバージョンや Linux ディストリビューションなどの詳細については、エイセル株式会社にお問い合わせください。

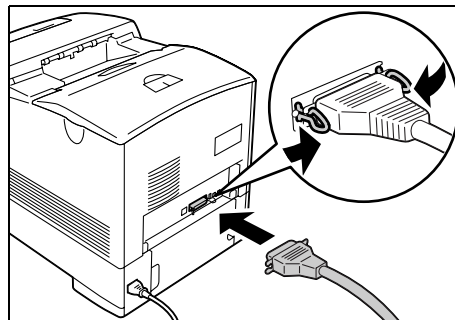
補足
・ Macintosh からの印刷については、PostScript ソフトウエアキット（オプション）に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

1.2 ケーブルを接続する

接続形態に合ったインターフェイスケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

インターフェイスケーブルは、本製品に添付されていません。別途、購入してください。

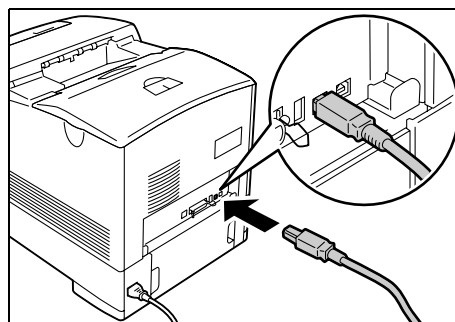
パラレル接続の場合

1. 本機の電源を切ります。
2. パラレルケーブルを本体背面のインターフェイスコネクターに差し込みます。
   パラレルケーブルの場合は、そのあと、両側の金具で固定します。
3. パラレルケーブルの他方のコネクターをコンピューターに接続します。
4. 本機の電源を入れます。

USB 接続の場合

USB 接続の場合は、ケーブルで接続する前に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。インストール方法は、「1.6 プリンタードライバーをインストールする」(P. 36) および、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル(HTML 文書)』を参照してください。

補足

・ USB 用インターフェイスコネクターは、USB1 と USB2 があります。USB1 は USB 1.1 の規格に準拠したポートで、Full Speed モード（通信速度 12Mbps）で通信できます。USB2 は USB2.0 の規格に準拠したポートで、High Speed モード（通信速度 480Mbps）での通信も可能です。接続する機器に合わせて、使用してください。なお、USB 2.0 は USB1.1 と互換があります。USB2.0 対応のコンピューターから USB1 に接続した場合は、Full Speed モードで通信が行われます。

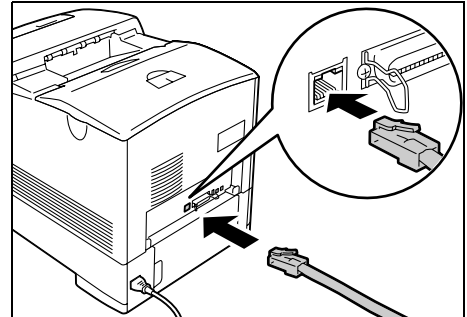
1. 本機の電源を切ります。
2. USB ケーブルを、本体背面のインターフェイスコネクター（例：USB1）に差し込みます。
3. USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。
4. 本機の電源を入れます。

ネットワーク接続の場合

ネットワークケーブルは、100BASE-TX または 10BASE-T に対応したストレートケーブルを用意してください。

1. 本機の電源を切ります。

2. ネットワークケーブルを本体背面のインターフェイスコネクターに差し込みます。

3. ネットワークケーブルの他方のコネクターをハブなどのネットワーク機器に接続します。

4. 本機の電源を入れます。

1.3　ネットワーク環境を設定する

ここでは、TCP/IP プロトコルを使用するための設定を説明します。その他の環境で使用する場合は、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書)』を参照して、ネットワーク環境を設定してください。

IP アドレスを設定する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。

工場出荷時の本機は、[IP アドレス シュトクホウホウ］が［DHCP/Autonet］に設定されています。よって、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスが設定されます。

[機能設定リスト］を印刷して、IP アドレスがすでに設定されているかどうかを確認してください。

IP アドレスが何も設定されていない場合は、[IP アドレス シュトクホウホウ］を［シュドウ］に変更し、IP アドレスを設定する必要があります。

コミュニケーション設定

Ethernet設定

接続タイプ	自動
MACアドレス	08:00:37:50:08:29

TCP/IP

IPアドレス取得方法	DHCP/Autonetからアドレスを取得
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.0.0
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	正常

補足
- ［機能設定リスト］の印刷方法がわからない場合は、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 184) を参照してください。
- 本機は、BOOTP サーバーまたは RARP サーバーを使用してアドレス情報を自動的に取得することもできます。この場合は、操作パネルで、[IP アドレス シュトクホウホウ］の項目を［BOOTP］または［RARP］に変更してください。
- DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS(Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

IP アドレスを設定する手順は、次のとおりです。

ここでは、操作パネルでアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

■ IP アドレスの設定

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足
- 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [ネットワーク / ポート セッテイ] が表示されます。

補足
- 間違って、違う項目で〈▶〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉ボタンで前の画面に戻ります。
- 最初からやり直したい場合は、〈メニュー〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [パラレル] が表示されます。

5. [TCP/IP セッテイ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [IP アドレス シュトクホウホウ] が表示されます。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。

8. [シュドウ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

9. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
   [000.000.000.000*] と表示された場合は、手順 13 に進んでください。
   右の画面が表示された場合は、手順 10 に進んでください。

10. 〈◀〉ボタンで、[IP アドレス シュトクホウホウ] に戻ります。

11. 〈▼〉ボタンで、[IP アドレス] を表示します。

12. 〈▶〉ボタンで選択します。
    現在の IP アドレスが表示されます。

13. 〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値を入力し、〈▶〉ボタンを押します。

補足
- 変更の必要がない場合は、〈▶〉ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- 前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。

14. 他のフィールドも同様に入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.100*

15. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈◀〉ボタンを押して、手順 16 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 23 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

16. ［サブネット マスク］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

17. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

18. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

19. 〈◀〉ボタンで、［サブネット マスク］に戻ります。

20. 〈▼〉ボタンで、［ゲートウェイ アドレス］を表示します。

21. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

22. IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

23. これで、すべての設定が終了です。
〈メニュー〉ボタンを押します。
本機が再起動します。

24. ［機能設定リスト］を印刷して、設定した内容を確認します。

1.4　使用するポートを起動する

使用するポートは、操作パネルで［キドウ］に設定しておく必要があります。
工場出荷時は、次のポートが停止されています。

・［テイシ］のポート：NetWare、IPP、EtherTalk、SOAP、UPnP

これらのポートを使用する場合は、以下の手順に従って、設定を変更してください。
ここでは、IPP の例で説明します。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［パラレル］が表示されます。
5. 設定するプロトコルが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：IPP）
6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ポート ノ キドウ］が表示されます。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。
8. 〈▼〉ボタンで［キドウ］を表示します。
9. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
10. これで、設定は終了です。
    〈メニュー〉ボタンを押します。
    本機が再起動します。

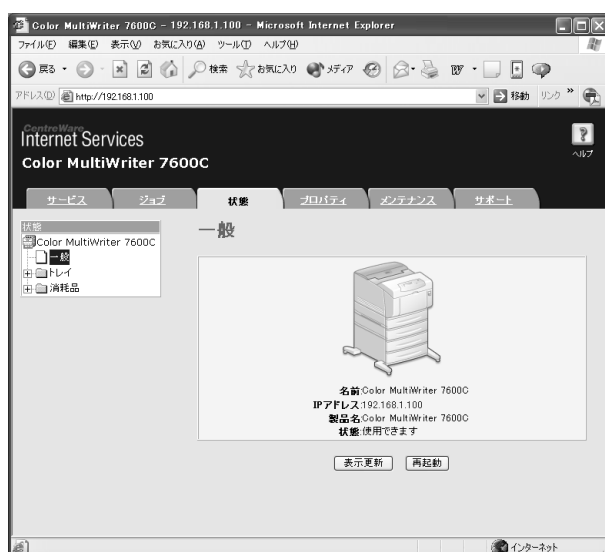
1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する

CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを使用して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

操作パネルで設定する項目のいくつかは、本サービスの［プロパティ］タブでも設定できます。

補足

・本機をローカルプリンターとして使用している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。

使用できる環境と設定について

■ 使用できる Web ブラウザー

CentreWare Internet Services は、以下の Web ブラウザーで動作することを確認しています。

Windows XP の場合

・Netscape® 7.1 Navigator

・Opera 7.23

・Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1

Windows 2000 の場合

・Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1

Mac OS X 10.2 の場合

・Netscape 7.02 Navigator

■ Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する場合、プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足
- プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- 設定方法については、お使いの Web ブラウザーのマニュアルを参照してください。

また、CentreWare Internet Services を正しく動作させるために、Web ブラウザーで次のように設定する必要があります。

ここでは、Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

1. [ファイル]メニューから[ツール]→[インターネットオプション]の順に選択します。
2. [全般]タブにある[インターネット一時ファイル]の[設定]ボタンをクリックします。
3. [設定] ダイアログボックスの [保存しているページの新しいバージョンの確認 :] で、[ページを表示するごとに確認する] または [Internet Explorer を起動するごとに確認する] を選択します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
5. [インターネット オプション]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックします。

■ プリンター側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、[インターネットサービス] が [キドウ](工場出荷時 : [キドウ])に設定されている必要があります。[インターネットサービス] を [テイシ] に設定している場合は、操作パネルで [キドウ] にしてください。

参照

- 「[インターネットサービス]」(P. 125)
- 「1.4 使用するポートを起動する」(P. 31)

CentreWare Internet Services で設定できる項目

各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
サービス	・CentreWare Internet Services の画面から、本機に直接印刷を指示できます。［サービス］タブは、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
ジョブ	・ジョブ一覧、およびジョブ履歴一覧が表示されます。ジョブを削除することもできます。
状態	・本機の名前や IP アドレス、製品名、状態が表示されます。 ・用紙トレイにセットされている用紙の種類や残量、排出トレイの状態、およびトナーカートリッジなどの消耗品残量や状態が表示されます。
プロパティ	・本体説明 製品名やシリアル番号などが表示されます。また、メールプリントなどを使用するときに必要な、管理者メールアドレス*、本体メールアドレス*などを設定できます。 ・本体構成 メモリーやプリント言語などが表示されます。 ・カウンター表示 総プリントページ数、総カラープリントページ数、総白黒プリントページ数が表示されます。 ・用紙トレイの設定 用紙トレイの優先順位を設定できます。 ・用紙設定 用紙種類ごとの優先順位を設定できます。 ・節電モード設定 低電力モード／スリープモードに移行するまでの時間を設定できます。 ・セキュリティー* 自己証明書の生成 / 管理 / 削除、および、HTTPS を有効にすることができます。 ・メール通知設定* メール通知サービスを使用するときの通知先や、通知間隔などを設定できます。この項目は、［ポート起動］の［メール通知］が起動に設定されている場合に表示されます。 ・オーディトロン設定* 認証 / 集計管理機能を設定できます。本体認証を使用している場合は、ここで、本機を利用するユーザー情報を入力します。 ・Internet Services 設定* 表示更新時間、表示言語を設定できます。 ・ポート起動 各ポートの起動、停止を設定できます。 ・ポート設定 インターフェイスに関する設定ができます。 ・プロトコル設定 各プロトコルの詳細を設定できます。 ・エミュレーション設定 各エミュレーションの詳細を設定できます。 ・メモリー設定 インターフェイス、プロトコルが使用するメモリー容量などについて設定できます。
メンテナンス	・エラー履歴 エラーが発生したジョブの一覧が表示されます。 ・機械管理者設定* 機械管理者のユーザー ID とパスワードを設定できます。 工場出荷時の機械管理者のユーザーID は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
サポート	・サポート情報が表示されます。設定は変更できます。

*：CentreWare Internet Services でしか設定できない項目

CentreWare Internet Services を使用する

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

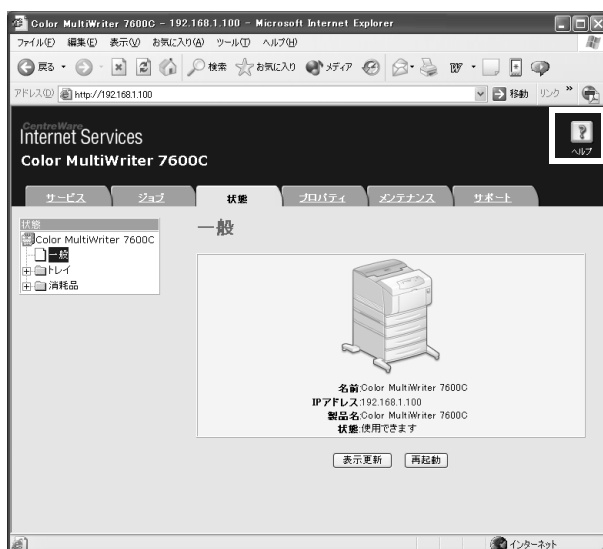
・ IP アドレスの入力例

・ URL の入力例

補足
・ ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」(工場出荷時のポート番号)を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト]で確認できます。
・ ポート番号は [プロパティ] タブ>[プロトコル設定]>[HTTP]で変更できます。ポート番号を変更した場合は Web ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。

・ 本機で認証 / 集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者、または本機に登録されているユーザーの UserID とパスワードを入力してください。UserID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。
・ 通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
・ 認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「7.7 認証と集計管理機能について」(P. 201) を参照してください。

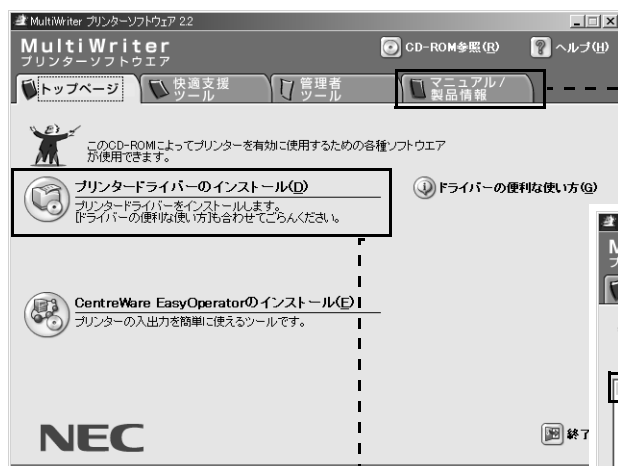
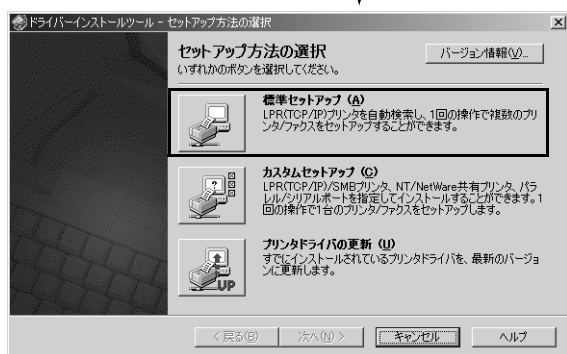
ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、[ヘルプ] ボタンを押して、参照してください。

1.6　プリンタードライバーをインストールする

コンピューターから印刷するために、プリンターソフトウエア CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーのインストール方法は、コンピューターと本機の接続方法によって異なります。

CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』で、手順を確認してから、実行してください。

補足
・ USB Print Utility などのソフトウエアをインストールする場合も、CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

アンインストールについて

■ プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーは、プリンターソフトウエア CD-ROM 内のプリンタードライバーアンインストールツールを使ってアンインストールできます。詳しくは、CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

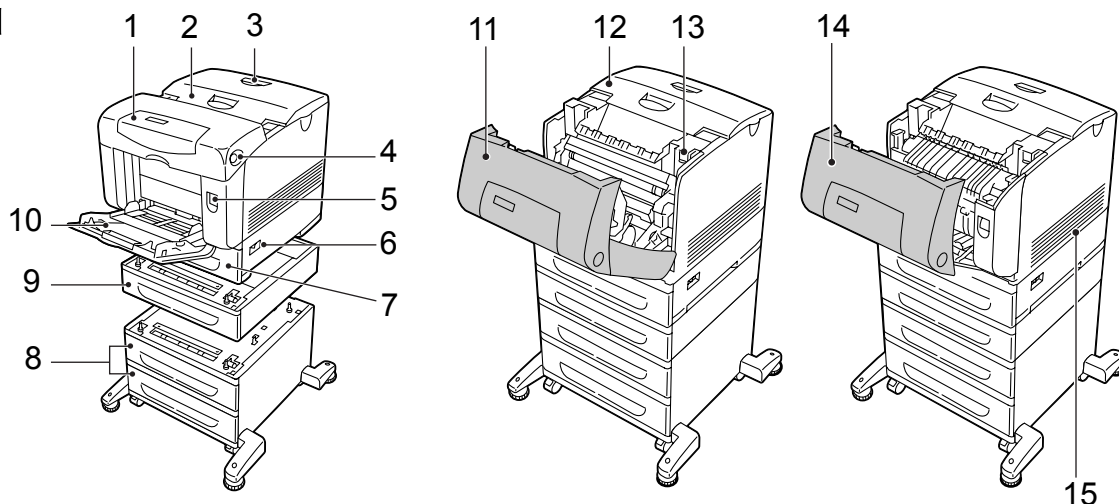
■ その他のソフトウエアのアンインストール

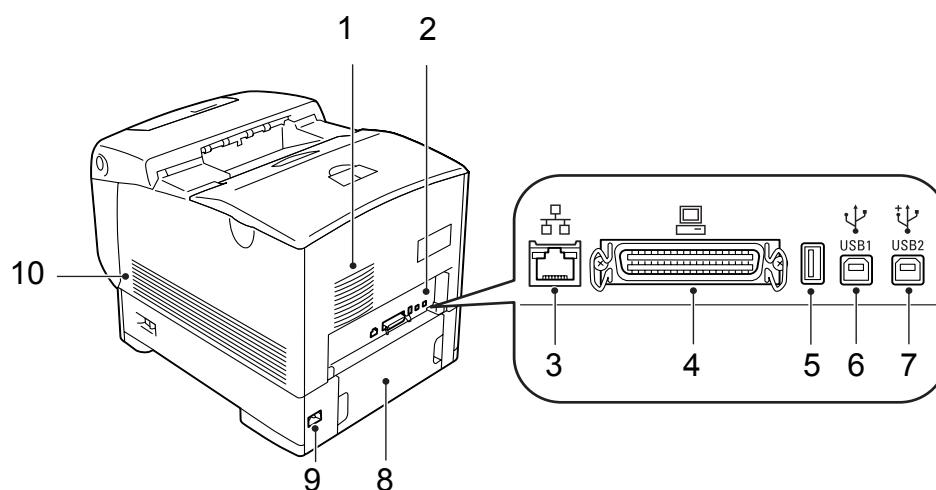
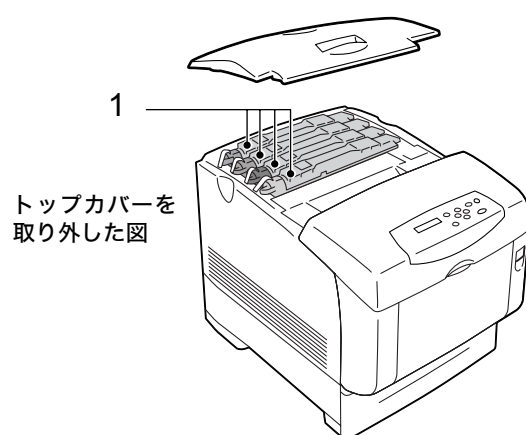
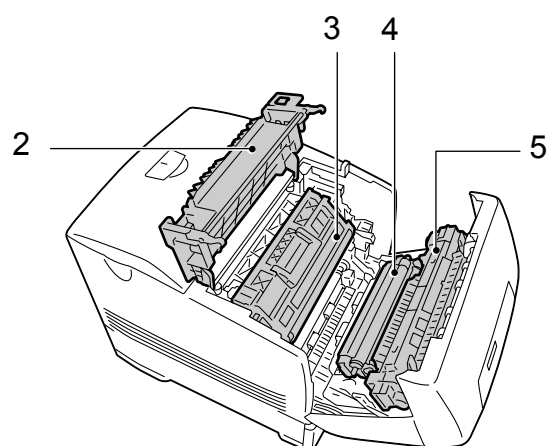
TCP/IP Direct Print Utility や USB Print Utility は、プリンターソフトウエア CD-ROM 内の『製品情報（HTML 文書）』から各ソフトウエアの ReadMe ファイルを参照して、アンインストールしてください。

2　プリンターの基本操作

2.1　各部の名称と働き

プリンター本体

前面図

No.	名称	説明
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。
2	排出トレイ（センタートレイ）	印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。
3	排紙ストッパー	印刷された用紙が本機からすべり落ちるのを防ぐときに、立てて使用します。
4	B ボタン	フロントカバーの上部だけを開けるときに、このボタンを押します。
5	A レバー	フロントカバーを開けるときに、このレバーを引きます。
6	電源スイッチ	電源を入 / 切するスイッチです。〈	〉の側に押すと電源が入り、〈○〉の側に押すと電源が切れます。
7	用紙トレイ	用紙をセットします。トレイ 1 として使用できます。
8	2 トレイキャビネット（オプション）	用紙をセットします。プリンター本体の直下に取り付けた場合はトレイ 2、3 として、1 トレイモジュール（オプション）と組み合わせた場合（上図）はトレイ 3、4 として使用できます。
9	1 トレイモジュール（オプション）	用紙をセットします。プリンター本体の直下に取り付けて、トレイ 2 として使用できます。
10	手差しトレイ	手差し印刷時に用紙をセットします。普通紙だけでなく、はがきや封筒、OHP フィルムといった特殊紙もセットできます。
11	フロントカバー（A レバーで開けた場合）	ドラムカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
12	トップカバー	トナーカートリッジを交換するときに取り外します。
13	排出トレイカバーのボタン	排出トレイカバーを開けるときに押します。
14	フロントカバー（B ボタンで開けた場合）	転写ロールカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
15	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。

背面図

No.	名称	説明
1	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、外気を取り入れます。
2	コントローラーボード	オプションのハードディスクやメモリ、各種 ROM を取り付ける場合に、このボードを取り外します。
3	ネットワークコネクター	本機をネットワークに接続して使用するときに、ネットワークケーブルを差し込みます。
4	パラレルコネクター	パラレルケーブルを差し込みます。
5	USB コネクター（ホスト）	メディアプリントキット（オプション）を接続します。
6	USB1 コネクター	USB 1.1 の規格に準拠したポートです。USB ケーブルを差し込みます。
7	USB2 コネクター	USB 2.0 の規格に準拠したポートです。USB ケーブルを差し込みます。
8	トレイの背面カバー	トレイの背面カバーです。コントローラーボードを外すときには、ボードを固定しているネジの 1 つが、このカバーの下に隠れているため、取り外す必要があります。
9	電源コードコネクター	電源コードを差し込みます。
10	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。

内面図

No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの４色のトナーが収容されています。
2	排出トレイカバー	ドラムカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに開けます。
3	ドラムカートリッジ	最初に静電気（電荷）で、このドラム上に印刷画像のイメージを作成します。
4	転写ロールカートリッジ	ドラムカートリッジのドラム上に付着したトナーを用紙に転写します。
5	フューザーユニット	熱と圧力でトナーを溶かし、用紙に定着させる部分です。使用時には高温になっているので、手を触れないように注意してください。

操作パネル

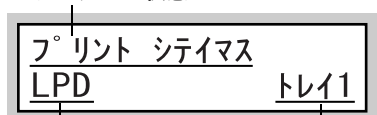
No.	名称	説明
1	表示部	エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるボタンの位置を、ここで確認します。
2	LCD ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどを表示します。 参照 ・「ディスプレイの表示について」(P. 41)
3	〈メニュー〉ボタン	メニュー操作に移行します。
4	〈排出 / セット〉ボタン	メニューの候補値を設定します。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
5	〈節電〉ボタン / ランプ	節電中にこのボタンを押すと節電モードを解除します。 また、節電中はランプが点灯します。ハードディスク (オプション) アクセス中は、点滅します。
6	〈プリント中止〉ボタン	印刷を中止します。
7	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン	ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値間を移行します。 また、セキュリティー/ サンプル / 時刻指定 / メディアプリントをするときや、受信メールを手動で確認し印刷するときは、〈◀〉ボタンを押します。 補足 ・〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押しつづけると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。 ・ セキュリティー/サンプル/時刻指定プリントやメールプリントをするには、ハードディスク（オプション）が必要です。 ・ メディアプリントをするには、メディアプリントキット（オプション）が必要です。
8	〈オンライン〉ボタン	〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、データの受信や印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（コンピューターからのデータ受信が可能な状態）に移行します。
9	〈エラー〉ランプ	ランプが点滅 / 点灯すると、本機の異常を表します。
10	〈プリント可〉ランプ	点灯中は、コンピューターからのデータを受信できる状態です。

ディスプレイの表示について

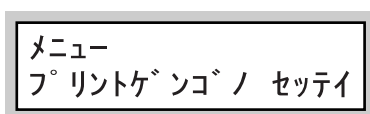
本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足
・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって表示されるメッセージは異なります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っているときは、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、次のような内容が表示されます。

メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、〈メニュー〉ボタンを押して表示します。メニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

メニュー
プ゚リントゲ゙ンゴ゙ノ セッテイ

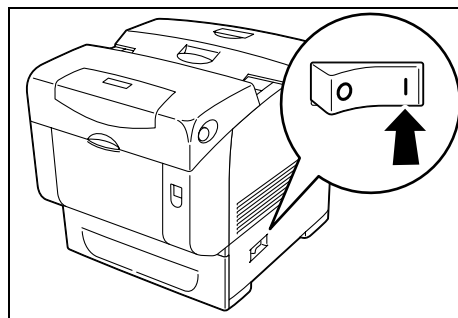
参照
・ メニュー画面で設定できる項目：「5 操作パネルでの設定」(P. 105)

2.2 電源を入れる / 切る

電源を入れる

1. プリンターの電源スイッチの〈｜〉側を押します。

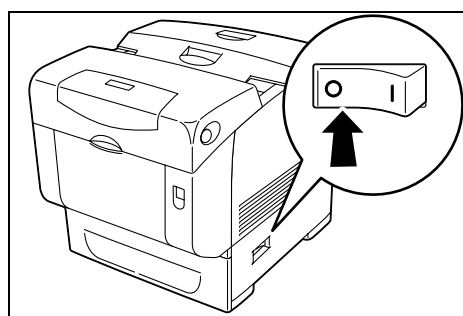
2. 電源を入れると、操作パネルのディスプレイに［オマチクダサイ］と表示されます。この表示が、［プリント デキマス］になることを確認します。

補足
- ［オマチクダサイ］の表示になっているときは、本機がウオームアップ中です。この間は、印刷できません。
- エラーメッセージが表示された場合には、「主なメッセージ（50 音順）」(P. 158) を参照して対処をしてください。

電源を切る

注記
- メディアプリントキット（オプション）が取り付けられている場合で、メディアプリントキットのアクセスランプ（緑色）が点灯しているときは、メディアを取り出したり、本機の電源スイッチを切ったりしないでください。メディア内のデータが破損するおそれがあります。
- ハードディスク（オプション）アクセス中は、電源スイッチを切らないでください。節電中にハードディスク（オプション）にアクセスしている場合は、〈節電〉ランプが点滅しています。
- 操作パネルのディスプレイに、[オマチクダサイ] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- 印刷中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

1. 操作パネルのディスプレイ表示などで、プリンターが処理中でないことを確認します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2. プリンターの電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

2.3　節電モードについて

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、低電力モードとスリープモードの 2 つのモードを備えています。

工場出荷時は、3 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行し、さらに 5 分間データを受信しないと（最後のデータ受信から 8 分間経過すると）スリープモードに移行する設定になっています。

低電力 / スリープモードに移行するかどうか、および移行する場合は低電力 / スリープモードに切り替わるまでの時間を、低電力モードは 3 ～ 60 分、スリープモードは 8 ～ 60 分の間で設定できます。

スリープモード時の消費電力は、5.5W 以下（標準構成の場合）で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約 35 秒です。

補足
・ 低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードだけを有効にすることもできます。
・ 低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
・ 低電力モードとスリープモードを、共に有効にしている場合は、スリープモードの設定が優先されます。たとえばスリープモード移行時間を 15 分、低電力モード移行時間を 45 分に設定している場合は、最後のデータ受信から 15 分後にスリープモードに移行します。さらに 30 分たっても低電力モードにはならず、スリープモードが継続したままになります。
・ 低電力モードとスリープモードの設定を変更する手順については、「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 108) を参照してください。

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからのデータを受信すると、自動的に解除されます。

また、操作パネルの〈節電〉ボタンを押すと、手動で節電モードを解除できます。

2.4　印刷を中止する / 確認する

印刷を中止する

印刷を中止するには、コンピューター側で印刷の指示を取り消す方法とプリンター側で印刷の指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータの印刷を中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコン をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、中止したいドキュメント名をクリックし、削除（〈Delete〉キーを押す）します。ウィンドウ内に中止したいドキュメントがなかった場合は、プリンター側で印刷を中止してください。

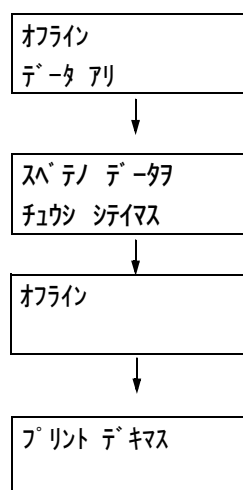
プリンターで印刷中 / 受信中データの印刷を中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

補足
・ CentreWare Internet Services の［ジョブ］タブで、印刷を中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

プリンターで受信したすべてのデータの印刷を中止する

大量の文書を印刷指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータの印刷を中止してください。

1. 操作パネルで〈オンライン〉ボタンを押します。
   ディスプレイに［オフライン］と表示されます。
2. 〈プリント中止〉ボタンを押します。
   中止の処理が開始され、完了すると、［オフライン］画面に戻ります。
3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
   プリント画面に戻ります。

印刷指示したデータの状態を確認する

Windows での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコン をダブルクリックします。

2. 表示されたウィンドウから、[状態]を確認します。

CentreWare Internet Services を使用した確認方法

CentreWare Internet Services の[ジョブ]タブで、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照
- CentreWare Internet Services のヘルプ

2.5　オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する

本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、SNMP プロトコルを使って、本機のオプション構成やトレイの用紙サイズ、用紙種類などを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、[プリンタ構成] タブで行います。ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足

- 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。また、ローカルプリンターとして使用している場合は、トレイにセットされている用紙種類や用紙サイズを表示できません。
- この機能を使用する場合は、操作パネルを使って、プリンター側の SNMP ポートを起動（初期値：[キドウ]）しておく必要があります。
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。

1. [スタート] メニューから、[プリンタと　FAX] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2. [プリンタ構成] タブをクリックします。

3. [プリンタ本体から情報を取得] をクリックします。

本機の情報が、プリンタードライバーに読み込まれます。

4. [OK] をクリックします。
   本機から取得した情報に従って、[プリンタ構成] タブの内容が更新されます。

補足

- [用紙トレイの情報] の用紙サイズと向きは、自動検知されたサイズが読み込まれます。
- [用紙トレイの情報] の用紙種類は、操作パネルで設定されている用紙種類が読み込まれます。

3　印刷する

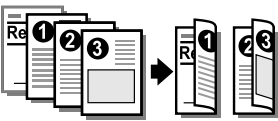
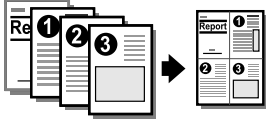
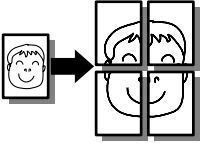
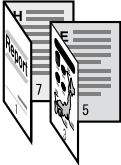
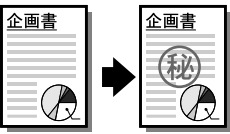
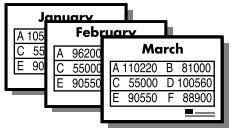
3.1　コンピューターから印刷する

Windows環境のアプリケーションから印刷するための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

（ご使用になるコンピューターやアプリケーションによって、手順が異なる場合があります。）

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、［詳細設定］をクリックすると、プロパティダイアログボックスを表示できます。

3. 各タブを切り替えて印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示するには

(1) ［?］をクリックして知りたい機能の項目をクリックします。
項目の説明が表示されます。

(2) ［ヘルプ］をクリックします。
［ヘルプ］ウィンドウが表示されます。

4. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

各タブで設定できる代表的な機能を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	・両面印刷 用紙の両面に印刷できます。	・まとめて1枚(Nアップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。	・拡大連写 ポスターなどを作製するときに使用します。
	・小冊子作成 正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。		・お気に入り よく使う印刷設定を登録できます。
	・セキュリティープリント あらかじめ送っておいて、操作パネルから印刷を指示します。	・サンプルプリント まず、1部だけサンプルを印刷して、結果を確認します。	・時刻指定プリント 印刷時刻を指定できます。
トレイ / 排出	・OHP 合紙 OHPフィルムを1枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。		・表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。
グラフィックス	・おすすめ画質タイプ 写真やプレゼンテーションなど、印刷する文書の種類や用途に合わせて画質を調整できます。		
スタンプ / フォーム	・スタンプ 印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。	・フォーム 使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。	

補足

・印刷機能は、[プリンタと FAX](OS によっては [プリンタ])ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

3.2 はがき / 封筒 /OHP フィルムに印刷する

はがきや封筒、OHP フィルムに印刷する方法を説明します。

はがき / 封筒 /OHP フィルムをセットする

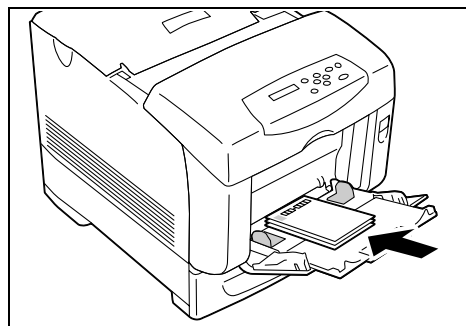
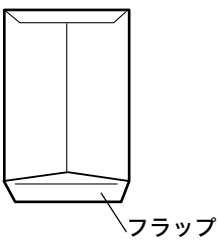
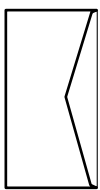
はがき / 封筒 /OHP フィルムは、手差しトレイにセットします。

補足
・ 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 99)を参照してください。

はがきをセットする

注記
・ かもめーるなどの多色刷りのはがきや、インクジェット用のはがきは使用できません。

1. 印刷する面（例：白紙面）を下にして、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄は奥側にします。

2. 用紙ガイドを、はがきのサイズに合わせます。

封筒をセットする

封筒は、あて名面のみ、印刷できます。うら面には印刷できません。
また、本機で使用できる封筒のサイズは、以下のとおりです。

- 洋形２号（114x162mm）
- 洋形３号（98x148mm）
- 洋形４号（105x235mm）
- 洋長形３号（120x235mm）
- C5（162x229mm）

注記

- きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
  - カールやよじれのある封筒
  - 貼り付いていたり破損している封筒
  - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスのある封筒
  - ひもや金属製の留め金が付いていたり、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
  - インターロックデザインの封筒
  - 切手が貼ってある封筒
  - フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
  - ふちがギザギザであったり、隅が折れている封筒
  - 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒

封筒を手差しトレイにセットする場合、サイズによってセットする向きとフラップの扱いが異なります。下図で確認してください。

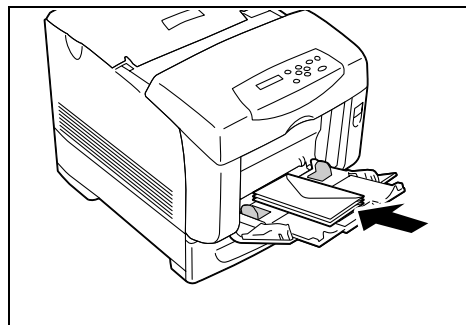
C5	洋形２号、洋形３号、洋形４号、洋長形３号
あて名面を下にし、フラップを開いて、 フラップ部分が手前にくるようにセットする。	あて名面を下にし、フラップを閉じて、 フラップ部分が右側になるようにセットする。

補足

- フラップを開いて封筒をセットするときは、フラップを完全に開いてからセットしてください。

次に、洋形 3 号の封筒を例に、手差しトレイにセットする方法を説明します。

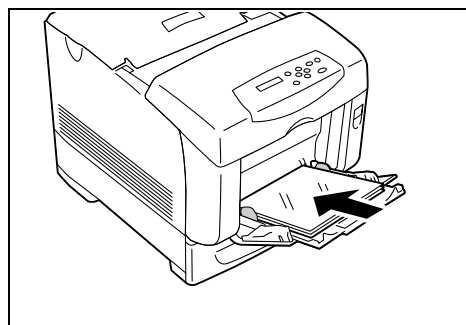
1. 封筒のあて名面を下にします。フラップを閉じて、フラップ部分が右側になるようにセットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

OHP フィルムをセットする

注記

・ 白い枠付きの OHP フィルム、フルカラー用 OHP フィルムは、使用できません。

1. OHP フィルムの印刷する面を下に向け、少量ずつ、よくさばいてからセットします。

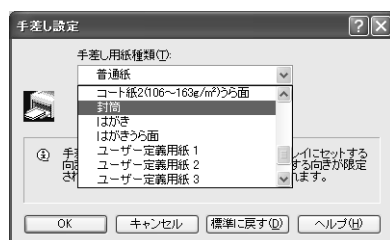
2. 用紙ガイドを、OHP フィルムのサイズに合わせます。

はがき / 封筒 /OHP フィルムに印刷する

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
- 連続して OHP フィルムに印刷すると、排出された OHP フィルムどうしが貼り付いてしまうおそれがあります。約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。
4. ［用紙トレイ選択］から［トレイ 5（手差し）］を選択します。

5. ［手差し設定］をクリックして［手差し設定］ダイアログボックスを表示します。
6. ［手差し用紙種類］から用紙種類を選択し、［OK］をクリックします。

補足
- はがきに印刷する場合、はじめに印刷するときは［はがき］を、一度印刷したはがきの裏面に印刷するときは、［はがきうら面］を選択してください。

7. ［基本］タブをクリックします。

8. ［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。

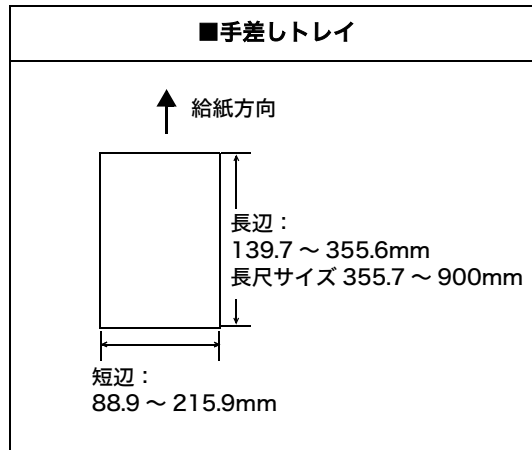
9. ［出力用紙サイズ］から、セットした用紙のサイズを選択します。

10. 封筒の場合は、必要に応じて［小冊子 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転］をクリックして［小冊子 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転］ダイアログボックスを表示します。
［原稿 180˚ 回転］を設定し、［OK］をクリックします。

11. ［OK］をクリックします。

12. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

3.3　非定形 / 長尺サイズの用紙に印刷する

長尺サイズなどの非定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。
本機で使用できる用紙サイズは、次のとおりです。

補足
・ 長尺サイズの用紙の場合、［印刷モード］の設定によっては、メモリーを増設する必要があります。詳しくは、「A.4 用紙サイズとメモリー容量について」(P. 230) を参照してください。

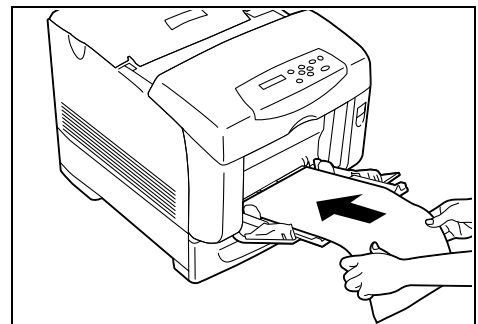
非定形サイズの用紙をセットする

非定形サイズの用紙は、手差しトレイにセットします。ここでは、長尺紙の例で説明します。

補足
・ 長尺紙以外の非定形サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 99) を参照してください。

1. 印刷する面を下にして、軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

2. 用紙ガイドを、用紙サイズに合わせます。

3. 長尺紙をセットした場合は、印刷を指示したあとで、用紙が正しく送られるように手で支えてください。

非定形サイズを登録する

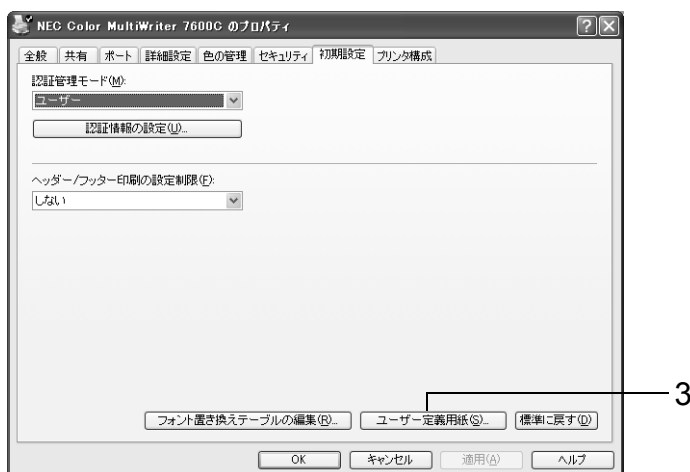
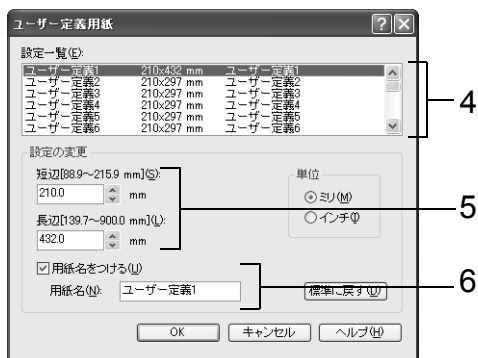
印刷をする前に、プリンタードライバーで非定形サイズを登録します。
ここでは、Windows XP を例に説明します。

注記
・ 正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足
・ Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
・ [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2. ［初期設定］タブをクリックします。

3. ［ユーザー定義用紙］をクリックします。

4. ［設定一覧］リストボックスから、設定するユーザー定義を選択します。

5. ［設定の変更］で、短辺と長辺の長さを指定します。
キー入力、または［▲］［▼］で指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6. 用紙名をつける場合は、[用紙名をつける] にチェックを付け、[用紙名] に入力します。
   用紙名の最大文字数は半角で 14 文字、全角で 7 文字です。

7. 必要に応じて、手順 4 〜 6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

8. ［OK］をクリックします。

9. ［OK］をクリックします。

非定形サイズの用紙に印刷する

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

注記
・ 正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

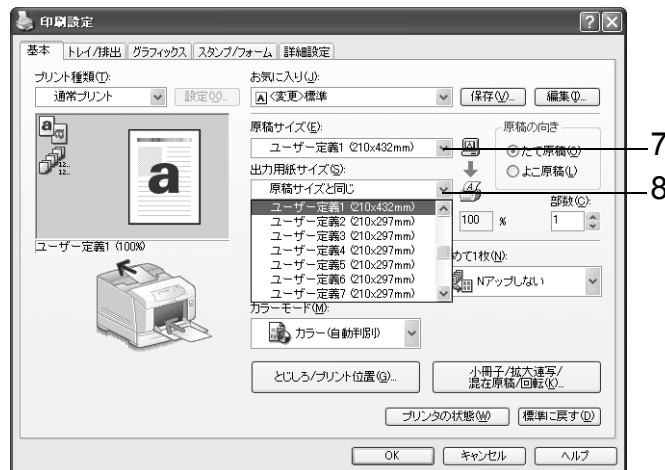
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. ［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し)］を選択します。

5. 用紙種類を変更する場合は、［手差し設定］をクリックして［手差し設定］ダイアログボックスを表示します。
   ［手差し用紙種類］から用紙種類を選択し、［OK］をクリックします。

6. ［基本］タブをクリックします。

7. ［原稿サイズ］から、任意の原稿のサイズを選択します。

8. ［出力用紙サイズ］から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

3.4　トレイ 1 〜 4 の用紙種類を指定して印刷する

トレイ 1 〜 4 に普通紙以外の用紙をセットした場合は、操作パネルでの設定も必要です。操作パネルでの設定については、「トレイの用紙種類を変更する」(P. 103) を参照してください。

ここでは、プリンタードライバーで設定した用紙種類から、適切なトレイを自動的に選択して印刷する方法を説明します。

この方法を利用すると、トレイ 1 〜 4 に再生紙や上質紙、厚紙をセットした場合、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくても印刷できます。

Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
・ 自動トレイ選択機能の詳細については「自動トレイ選択について」(P. 104) を参照してください。

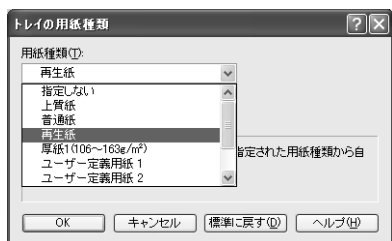
1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. ［用紙トレイ選択］で、［自動］を選択します。

5. ［トレイの用紙種類］をクリックして［トレイの用紙種類］ダイアログボックスを表示します。

6. ［用紙種類］から用紙種類を選択し、［OK］をクリックします。

7. ［基本］タブをクリックし、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］を設定して、［OK］をクリックします。

8. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

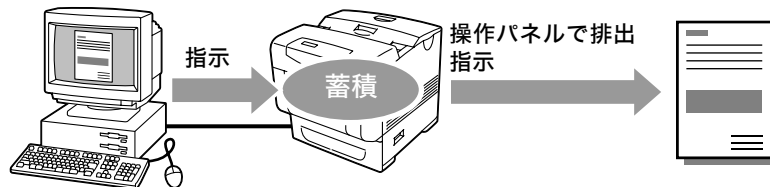
3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。

補足

- 印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」(P. 62) を参照してください。
- 不要になったすべてのセキュリティープリントデータを削除する場合は、「[ショキカ / データサクジョ]（初期化 / データ削除）」(P. 141) を参照してください。
- 操作パネルの［セキュリティープリントソウサ］が［ムコウ］に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

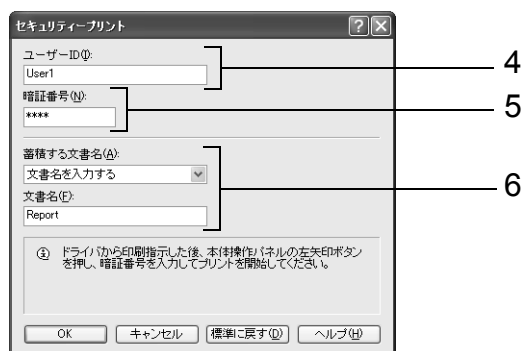
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブの［プリント種類］から、［セキュリティー］を選択します。

［セキュリティープリント］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角英数字で 8 文字まで入力できます。

5. 暗証番号を付ける場合は、［暗証番号］に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。
［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

補足
- 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除する場合は、下記の手順 8 のあと、[サクジョ スル] を選択してください。また、[ショキカ / データサクジョ] メニューでもユーザー ID 単位でセキュリティープリントデータを削除できます。詳しくは、「[ショキカ / データサクジョ]（初期化 / データ削除）」(P. 141) を参照してください。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

補足
- メディアプリントキット（オプション）を取り付けている場合は、[デジカメ プリント] または [ドキュメント プリント] が表示されます。その場合は、〈▼〉ボタンを何度か押して、[セキュリティー プリント] を表示します。

2. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ユーザー ID が表示されます。

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足
- ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   暗証番号を入力する画面が表示されます。

5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

補足
- 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
   文書名が表示されます。

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足
- 文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます（12 バイトまで）。

8. 〈▶〉ボタンで選択します。
   印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

補足

- 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[サクジョスル] を表示し、〈▶〉ボタン、〈排出 / セット〉ボタンの順に押します。
- 印刷後も、データをハードディスクに残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリントゴ ホゾンスル] を表示し、手順 9 に進んでください。

9. 〈▶〉ボタンで選択します。
   部数を入力する画面が表示されます。

```
ﾌﾞｽｳﾉ ｼﾃｲ
          1ﾌﾞ
```

↓

```
1. Report
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉ボタンを押します。
    印刷を開始させる画面が表示されます。

11. 〈排出 / セット〉ボタンで印刷します。
    印刷が開始されます。

12. 〈メニュー〉ボタンで、プリント画面に戻ります。

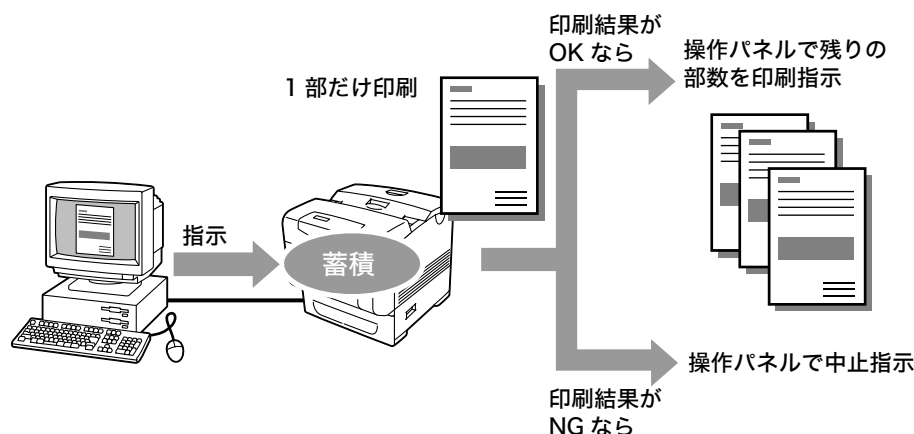
3.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、サンプルプリント機能を使用できます。

注記
・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、ハードディスクに印刷データを蓄積し、まず 1 部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。

補足
・不要になったサンプルプリントデータは、印刷する場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 62) を参照してください。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

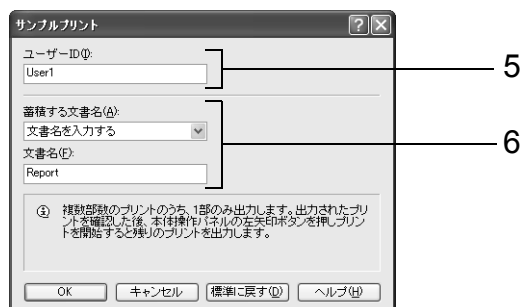
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブで、［部数］を 2 部以上に設定します。

4. ［プリント種類］から［サンプル］を選択します。

補足
・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、［サンプル］が選択できます。

［サンプルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
   ユーザー ID は、半角英数字で 8 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］または［自動取得］を選択します。
   ［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
   ［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ ｾｷｭﾘﾃｨｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ

補足
・メディアプリントキット（オプション）を取り付けている場合は、[デジカメ プリント] または [ドキュメント プリント] が表示されます。

2. [サンプル プリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ ｻﾝﾌﾟﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ﾕｰｻﾞｰ ID ｦ ｾﾝﾀｸ 1001. Yamada

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾕｰｻﾞｰ ID ｦ ｾﾝﾀｸ 1005. User1

補足
・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

ﾌﾞﾝｼｮｦ ｾﾝﾀｸ ｽﾍﾞﾃﾉ ﾌﾞﾝｼｮ

6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾌﾞﾝｼｮｦ ｾﾝﾀｸ 1. Report

補足
・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます（12 バイトまで）。

7. 〈▶〉ボタンを押します。
データを印刷するか、削除するかを選択する画面が表示されます。

1. Report ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ

補足
・蓄積したデータを印刷しないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[サクジョ スル] を表示し、〈▶〉ボタン、〈排出 / セット〉ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータを印刷する場合は、〈▶〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

ﾌﾞｽｳﾉ ｼﾃｲ 1ﾌﾞ

9. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉ボタンを押します。
印刷を開始させる画面が表示されます。

1. Report [ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

10. 〈排出 / セット〉ボタンで印刷します。
印刷が開始されます。

11. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンで、プリント画面に戻ります。

3.7　指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、時刻指定プリント機能を使用できます。時刻指定プリントとは、あらかじめ文書を登録しておき、設定した時刻に自動的に印刷する機能です。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- 時刻指定プリントをしている場合は、本機の電源を切らないでください。指定した時刻になる前に、本機の電源を切った場合は、時刻の指定は無効になり、再び本機の電源が入った直後に印刷が開始されます。

補足

- この機能で指定できる時刻は、印刷指示したときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントを登録する

時刻指定プリントをする方法を説明します。
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブで、［プリント種類］から［時刻指定］を選択します。

［時刻指定プリント］ダイアログボックスが表示されます。

4. 印刷を開始する時間を、［時］、［分］で設定します。
時刻は、24 時間制です。

5. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］または［自動取得］を選択します。
［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

6. ［OK］をクリックします。

7. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

8. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。
指定した時刻になると、印刷が開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視して印刷したいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

補足
・ メディアプリントキット（オプション）を取り付けている場合は、［デジカメ プリント］または［ドキュメント プリント］が表示されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ
ｾｷｭﾘﾃｨｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ

2. ［ジコクシテイ　プリント］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾌﾞﾝｼｮｦ ｾﾝﾀｸ
2. Letter

補足
・ 文書名は、プリンタードライバーの［時刻指定プリント］ダイアログボックスで設定した［蓄積する文書名］が表示されます（12 バイトまで）。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
すぐに印刷するか、印刷しないで削除するかどうかを選択する画面が表示されます。

補足
・ 蓄積したデータを印刷しないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、［サクジョ スル］を表示し、〈▶〉ボタン、〈排出 / セット〉ボタンの順に押します。

6. すぐに印刷する場合は、〈▶〉ボタンで選択します。
印刷を開始させる画面が表示されます。

2. Letter
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

7. 〈排出 / セット〉ボタンで印刷します。
印刷が開始されます。

8. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンでプリント画面に戻ります。

3.8 PDF ファイルを直接印刷する

本機では、PDF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで直接プリンターに送信して印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。PDF ファイルを直接印刷する方法には、次の 2 種類があります。

■ PDF Bridge 機能を使用する

PDF Bridge は、本機が標準で搭載している機能です。PDF Bridge 機能を使用して PDF ファイルを印刷するには、ContentsBridge Utility を使用する方法と、lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信して印刷する方法があります。

補足
・ ContentsBridge Utility を使用する場合は、プリンターソフトウエア CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。lpr コマンドなどを使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P. 70) を参照してください。
・ PDF Bridge の機能を使って正しく印刷するためには、増設メモリ（オプション）が必要な場合があります。

■ PostScript の機能を使用する

PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合は、PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷できます。

補足
・ PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、「[PDF]」(P. 111) を参照して操作パネルで［PDF］の［プリントショリモード］を［PS］に設定してから、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P. 70) を参照して印刷してください。

注記
・ USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

印刷できる PDF ファイル

印刷できる PDF ファイルは、Adobe Acrobat 4、Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く）、および Adobe Acrobat 6（PDF1.5 で追加された一部機能は除く）です。

補足
・ PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する

ContentsBridge Utility を使用しないで、PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使ってプリンターに送信し、印刷します。この場合、次の項目は操作パネルの［PDF］の設定に従って印刷されます。

- プリント処理モード
- 部数
- 両面
- 印刷モード
- パスワード
- ソート
- 用紙サイズ
- レイアウト

参照

・「[PDF]」(P. 111)

補足

- ［プリントショリモード］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ［レイアウト］は、［プリントショリモード］で［PS］が選択されている場合は表示されません。
- lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの［ブスウ］の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、プリンター側の LPD ポートを起動しておく必要があります。

参照

・「[LPD]」(P. 116)

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003

PDF ファイルを印刷する

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は、次のとおりです。

補足

- 空白（スペース）は、△で表します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、［event.pdf］ファイルを印刷する

```
C:¥>lpr △ -S △ 192.168.1.100 △ -P △ lp △ event.pdf
```

〈Enter〉キー

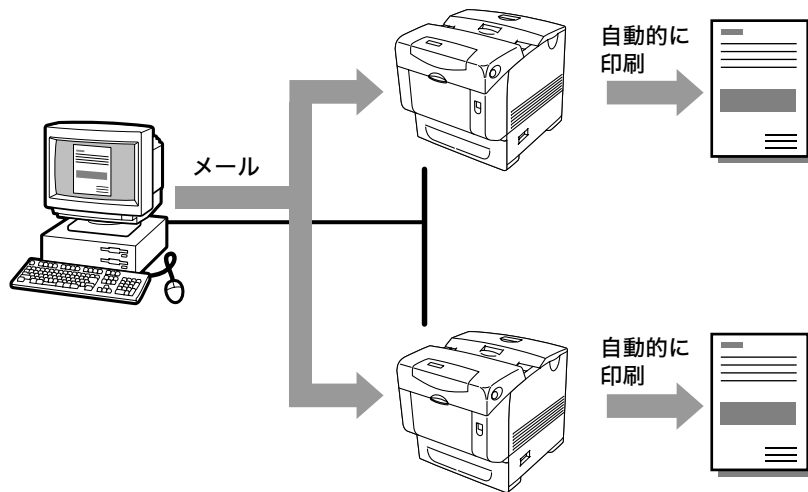
3.9　電子メールを使って印刷する - メールプリント -

本機にハードディスク（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターから本機あてにメールを送信できます。

コンピューターから送信されたメールの本文、およびメールに添付された TIFF 形式、または PDF 形式の文書が本機から印刷できます。

この機能をメールプリントといいます。

注記

・ ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

メールプリントをするための環境設定

メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

補足

・ メール環境を誤って設定すると、ネットワーク内に多大な迷惑をかける可能性があります。メール環境の設定は、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク環境の設定

・ メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、次の項目を設定します。

補足
・ 設定後は、必ず［新しい設定を適用］をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。

＊：初期値

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128 バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの［From］欄に表示されます。			
ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	○	○
プロトコル設定＞ TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字と「-」で、32 バイト以内	○	○
	DNS サーバーアドレス取得方法	チェックを付けると、DHCP サーバーから自動的に DNS サーバーアドレスを取得します。	・ オフ：手動＊ ・ オン：DHCP	○	-
	DNS サーバーアドレス 1 ～ 3	DNS サーバーアドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx	○	-
	DNS ドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	英数字と「.」、「-」、で、255 バイト以内	○	-
	ドメイン検索リストの自動生成	ドメイン検索リストを自動作成する場合は、チェックを付けます。	・ オン：自動作成する＊ ・ オフ：自動作成しない	○	-
	検索ドメイン名 1 ～ 3	検索するドメイン名を指定します。	英数字と「.」、「-」、で、255 バイト以内	○	-
	タイムアウト	ドメインを検索する場合のタイムアウト時間を設定します。	1 ～ 60 秒 1 秒＊	○	-
	DNS の動的更新	DNS を動的に更新する場合は、チェックを付けます。	・ オフ：更新しない＊ ・ オン：更新する	○	-
プロトコル設定＞メール	受信プロトコル	メールの受信方法を設定します。	・ SMTP＊ ・ POP3	○	○
	ヘッダー本文の印刷	受信したメールの添付文書（TIFF、PDF）共に、電子メールのヘッダーを印刷する場合に設定します。電子メールの受信経路などを印刷したいときは［すべてのヘッダーと本文］に設定します。	・ しない（添付文書のみ印刷） ・ 基本的なヘッダーと本文（本文がある時のみ） ・ 基本的なヘッダーと本文＊ ・ すべてのヘッダーと本文	○	○
	配送確認メールの自動応答	受信したメールが配送確認を要求するメールの場合に、自動応答するときは チェックを付けます。	・ オフ：自動応答しない＊ ・ オン：自動応答する	○	○

＊：初期値

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
(つづき) プロトコル設定＞メール	POP3 サーバーアドレス	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。	英数字と「.」、「-」で、128 バイト以内	-	○
	POP3 ポート番号	POP3 サーバーで使用しているポート番号を設定します。	1 〜 65535	-	○
	POP 受信の認証	POP 受信の認証に APOP を使用する場合は、チェックを付けます。	・ オフ：使用しない＊ ・ オン：使用する	-	○
	POP3 サーバー確認間隔	POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 〜 120 分 10 分＊	-	○
	POP ユーザー名	POP3 サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。1 ユーザーだけ設定できます。	ASCII 図形文字（コード番号 33 〜 126 の文字）で、64 バイト以内	-	○
	POP ユーザーパスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、[POP ユーザーパスワードの確認入力] にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 〜 126 の文字）で、64 バイト以内	-	○
	SMTP サーバーアドレス	メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。	英数字と「.」、「-」で、128 バイト以内	○	-
	SMTP ポート番号	SMTPサーバーで使用しているポート番号を設定します。	1 〜 65535	○	-
	SMTP 送信の認証	SMTP送信時の認証方法を設定します。	・ しない＊ ・ POP before SMTP ・ SMTP 認証	○	-
	SMTP 認証ユーザー	認証が必要なSMTPサーバーの場合、認証用のユーザー名を設定します。	ASCII 図形文字（コード番号 33 〜 126 の文字）で、64 バイト以内	○	-
	SMTP 認証パスワード	SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 〜 126 の文字）で、64 バイト以内	○	-

メールを送信する

送信できる添付文書

添付文書として送信できるのは、次のファイルです。

・ PDF ファイル（Adobe Acrobat 4、Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く）、および、Adobe Acrobat 6（PDF1.5 で追加された一部機能は除く））

・ TIFF ファイル

補足
・ 送信された PDF ファイルは、操作パネルの［PDF］の設定に従って、PDF Bridge または PostScript 機能を使用して印刷されます。本機における PDF ファイルの印刷機能については、「3.8 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 69) を参照してください。

メールを送信する

ここでは、Outlook Express を例に、コンピューターからプリンターにメールを送信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウエアで本文を作成し、TIFF または、PDF ファイルの添付文書がある場合は添付します。

注記
・ お使いのメールソフトウエアの設定で、メール本文の形式をテキスト形式にしてください。メールの本文には、テキスト形式だけ使用できます。

補足
・ 添付文書の拡張子が、「.tif」、または「.pdf」以外の場合は、正しく印刷されないことがあります。
・ 最大 31 文書まで添付できます。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。
本機でメールを受信後、自動的に印刷されます。

補足
・ メール本文、および添付文書は、受信プリンター側の以下の設定で印刷されます。
  ・ メール本文：A4 サイズ、片面
  ・ TIFF ファイルの添付文書：CentreWare Internet Services の［エミュレーション設定］にある［TIFF］の［使用するメモリー設定］で設定されている値
  ・ PDF ファイルの添付文書：操作パネルの［PDF］＞［プリントショリモード］が［PDF Bridge］の場合は［PDF］で設定されている値、［プリントショリモード］が［PS］の場合は、CentreWare Internet Services の［エミュレーション設定］にある［PostScript］の［使用するメモリー設定］で設定されている値

メールを手動で受信して印刷する

本機では、操作パネルから手動でメールを受信し、印刷することができます。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

補足

・ メディアプリントキット（オプション）を取り付けている場合は、［デジカメ プリント］または［ドキュメント プリント］が表示されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ
ｾｷｭﾘﾃｨｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ

2. ［メールジュシン　プリント］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ
ﾒｰﾙｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
受信を開始させる画面が表示されます。

4. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
メールの受信が始まります。受信後、文書が印刷されます。

ﾒｰﾙｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｦ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5. 印刷が終わると、自動的にプリント画面に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。

したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可ドメインの設定

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。

受信許可ドメインの設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続してメール機能を使用するときのご注意

- インターネットプロバイダーとの契約が定額制、常時接続でない場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りに行くため、その都度電話料金がかかります。
- IP マスカレードされた環境で接続してください。本機にグローバル IP アドレスを割り当てて接続した場合の動作は保証しません。
- POP 受信を行う場合には、必ず本機専用のメールアカウントを申請してください。ほかのユーザーと共通のメールアカウントを使用すると、トラブルの原因になります。
- インターネットの回線速度が遅い場合、画像データなど容量の多いデータの受信に時間がかかることがあります。
- SMTP 受信を許可しているプロバイダーもあります。その場合、プロバイダー側と綿密な調整が必要です。
- プライベートセグメントに MTA を立てて運用している環境への設置は、運用形態に合わせてください。

3.10 メディアから印刷する - メディアプリント -

メディアプリントキット（オプション）を取り付けると、デジタルカメラで撮影された画像データ（Exif）や文書（PDF、TIFF）ファイルを取り込んで、本機から直接印刷できます。

メディアプリント機能には、デジタルカメラの標準フォーマットで格納されたデータを印刷するデジカメプリントモード、文書フォーマットで格納されたデータを印刷するドキュメントプリントモードがあります。また、デジカメプリントモード、ドキュメントプリントモードで読み込まれたファイルの一覧を印刷するインデックスプリント、ファイルリストプリントがあります。

補足

- Exif とは、デジタルカメラで撮影した画像に、印刷するために必要な情報を埋め込んだファイルフォーマットです。
- メディアプリントキットを使って正しく印刷するためには、増設メモリ（オプション）が必要な場合があります。

対応メディアと対応ファイル

メディアプリントキットにセットできるメディアは、コンパクトフラッシュです。コンパクトフラッシュ以外のメディアは、コンパクトフラッシュ型のアダプターに挿入して使用します。

補足

- メディアおよびコンパクトフラッシュ型のアダプターは、別途購入してください。

使用できるメディアと対応ファイルは、次のとおりです。

対応メディア	対応ファイル（拡張子）	
	デジカメプリント	ドキュメントプリント
・スマートメディア ・コンパクトフラッシュ ・コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ） ・SD カード ・メモリースティック ・xD ピクチャーカード	・JPEG ファイル ・TIFF ファイル DCF1.0(Exif2.0、Exif2.1、Exif2.2) の JPEG/TIFF ファイルに対応しています。	・PDF ファイル 拡張子：pdf、PDF1.3 以上 ・TIFF ファイル 拡張子 :tif、グレースケール 4 ビット /8 ビット非圧縮、8 ビット /24 ビット JPEG 圧縮、MH/MMR 圧縮

注記

- マジックゲート メモリースティックは、使用できません。
- Exif フォーマットでない画像ファイル（コンピューターで作成された JPEG ファイル、TIFF ファイル）は印刷できません。Exif フォーマットの画像ファイルをコンピューターで編集または保存すると、Exif フォーマットではなくなります。注意してください。
- 画像ファイルとドキュメントファイルは、ひとつのメディアに混在して格納しないでください。
- フォルダーの数が 900 個を超えるメディアは、正しく認識されない場合があります。
- ドキュメントプリントモードの場合、PDF ファイルと TIFF ファイルは、フォルダー内に格納すると印刷できません。

補足

- 認識可能なファイル名は、255 文字までです。ただし、100 文字を超えるとファイル名が省略されて表示されます。
- 本機のメディアプリント機能で処理できるファイル数は、900 ファイルです。
- メディアは、デジタルカメラまたはコンピューター（FAT12、16、32 のみ）でフォーマットしたものを使用してください。
- メディアは、弊社推奨品を使用することをお勧めします。推奨するメディアについては、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

メディアプリント使用時の注意

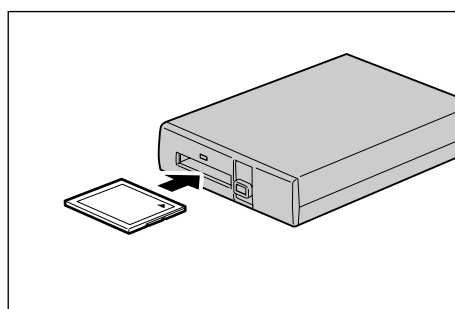
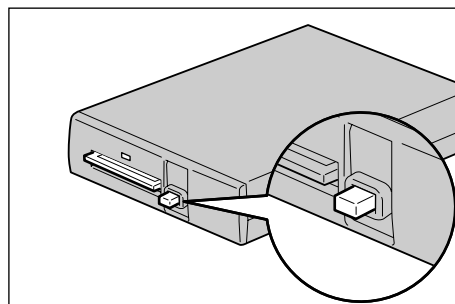
メディアプリントを使用するときは、以下のことに注意してください。

- Exif フォーマットでない画像ファイル（コンピューターで作成された JPEG/TIFF ファイル）は印刷できません。
- Exif フォーマットの画像ファイルをコンピューターで編集または保存すると、Exif フォーマットでなくなります。
- メディアに異常がある場合は、数分で処理を中断し、エラーを表示します。
- プリンター本体の電源を切るときには、メディアを取り出してから行ってください。
- メディアは、印刷が終了したら必ず手順に従って取り出してください。
- メディアは、必ず内部のデータをバックアップしてから使用してください。
- メディア内のファイル数や容量によっては、印刷に数分から数十分かかることがあります。
- アダプターの種類によっては、メディアプリントキットで読み込めないものがあります。詳しくは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
- メディアは、画像ファイルを格納する場合はデジタルカメラでフォーマットしたものを使用してください。ドキュメントファイルを格納する場合はコンピューターでフォーマットしたものを使用してください。
- 本機のメディアプリント機能で PDF ファイルを印刷する場合、操作パネルの［PDF］＞［プリントショリモード］の設定にかかわらず、［PDF Bridge］が使用されます。操作パネルの設定については、「[PDF]」(P. 111) を参照してください。
- メディアプリントキットのアクセスランプ（緑色）が点灯しているときは、メディア用イジェクトボタンを押したり、USB ケーブルを引き抜いたり、プリンター本体の電源を切ったりしないでください。メディア内のデータが破損するおそれがあります。
- 著作権保護機能付きの音楽データなどのバックアップできないデータが保存されたメディアは使用しないでください。データの破損・消失による直接・間接の損害につき、当社は一切の責任を負いかねます。

メディアをセットする / 取り出す

メディアをセットする

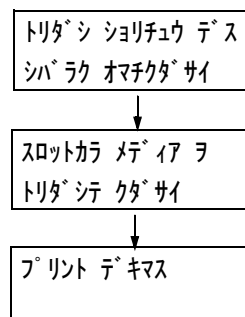
1. メディアを挿入する前に、メディアプリントキット上面にある除電マットに触れてください。

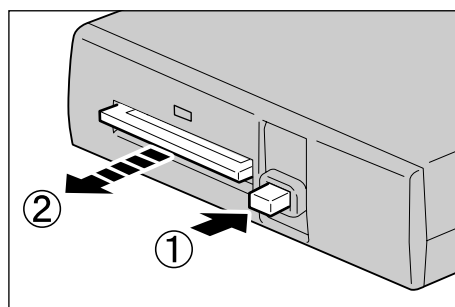
2. コンパクトフラッシュを、▶などの挿入マークがある面を上側に向けて、メディアプリントキットに挿入します。

   メディアが正しく挿入されると、メディア用イジェクトボタンが飛び出します。

メディアを取り出す

メディアを取り出すときは、メディアプリントキットのアクセスランプ（緑色）が消灯していることを確認してください。

注記

・ メディアプリントキットのアクセスランプが点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、USBケーブルを引き抜いたり、プリンターの電源を切ったりしないでください。メディア内のデータが破損するおそれがあります。

1. メディアプリントが終了したら、〈メニュー〉ボタンを押します。
   ディスプレイの表示が、［プリント デキマス］になるまで待ちます。

2. メディアプリントキット上面にある除電マットに触れます。

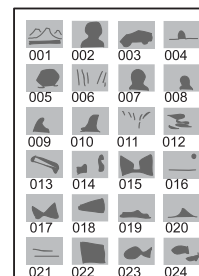
3. メディア用イジェクトボタンを押し、メディアを引き抜きます。

デジカメプリントをする

デジカメプリントの種類

デジカメプリントには、次の 4 種類があります。

■インデックスプリント

メディアに取り込まれているファイルを自動で採番し（この番号をインデックス番号といいます）、一覧（サムネイル）を印刷します。30x40mm の縮小画像の一覧とインデックス番号、ファイル名、メディアへの書き込み日時が印刷されます。
コマ指定や範囲指定を選択して印刷するときには、あらかじめインデックスプリントをして番号を確認してください。

■すべて

メディアに取り込まれているファイルをすべて印刷します。

■コマ指定

メディアに取り込まれているファイルの中から、印刷したいコマ（インデックス）を選択して印刷します。複数のコマを選択できます。

補足
・ メディアに格納されたファイルの中からコマを指定して印刷するときは、あらかじめインデックスプリントをして、番号を確認してください。

■範囲指定

メディアに取り込まれているファイルを、002 〜 004 というように範囲を指定して印刷します。

補足
・ メディアに格納されたファイルの中から範囲を指定して印刷するときは、あらかじめインデックスプリントをして、番号を確認してください。

デジカメプリントの設定

デジカメプリントをする場合、次の項目は操作パネルの［キカイ カンリシャ メニュー］＞［プリント セッテイ］＞［メディア プリント］＞［デジカメ プリント］の設定に従って印刷されます。

・用紙トレイ	・画像配置 *1	・N アップ *1
・用紙サイズ	・画像サイズ	・スムージング
・用紙種類 *1		

*1：これらの項目は、デジカメプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■ヨウシ トレイ（用紙トレイ）

手差しトレイの用紙に印刷する場合は［トレイ 5（テザシ)］を、トレイ 1 ～ 4 の用紙に印刷する場合は［ジドウ］を選択します。［ジドウ］の場合は、印刷する用紙サイズと用紙種類に応じて、トレイ 1 ～ 4 から、適切なトレイが自動的に選択されます。
初期値は［トレイ 5（テザシ)］です。

■ヨウシ サイズ（用紙サイズ）

印刷する用紙のサイズを設定します。候補値は次のとおりです。

[A4 タテ]（初期値)、
[B5 タテ]、[8.5x11 タテ]、[ハガキ タテ]

■ヨウシ シュルイ（用紙種類）

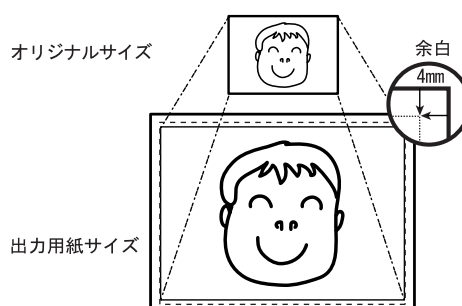
出力する用紙の種類を設定します。初期値は［フツウシ］です。

補足
・ この項目は、デジカメプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■ガゾウ ハイチ（画像配置）

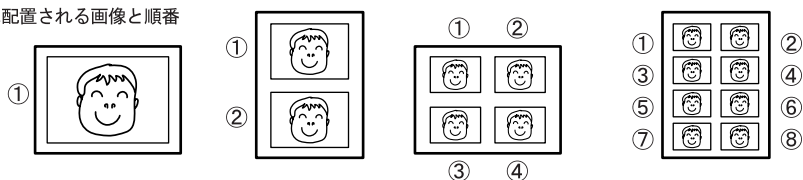
1 枚の用紙に画像をどのように配置して印刷するかを設定します。

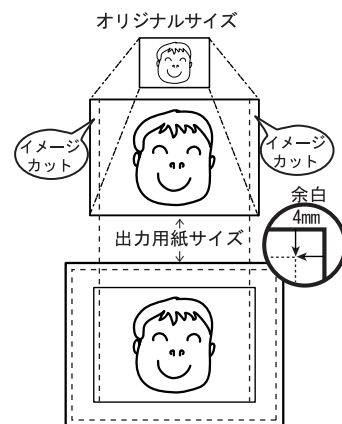
[ヨウシ　イッパイ]（初期値)
元画像の縦横比はそのままで、印刷する用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷されます。

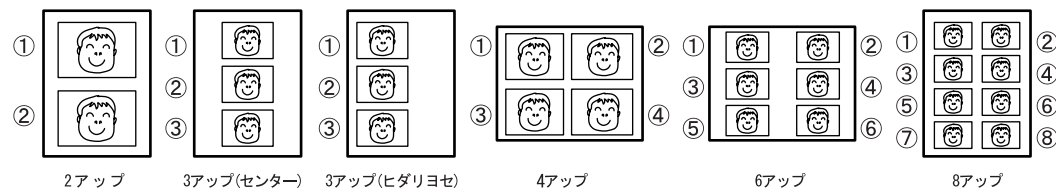
補足
・ 印刷方向は、横長（ランドスケープ）だけです。
・ 画像は、余白をとって配置されます。

[サイズシテイ（ハイルダケ）]
[ガゾウ サイズ］と［ヨウシ サイズ］の設定に応じて、1 枚の用紙に入るだけ並べて印刷されます。

補足
・ 画像は、余白なしで配置されます。
・ 印刷方向は､1ページに印刷するファイル数で決まります｡下表のグレー部分は､画像欠けが発生します｡

画像サイズ	用紙サイズ（※余白 4mm 考慮）			
	A4	8.5x11	B5	ハガキ
A4	1 画像	1 画像	1 画像	1 画像
8.5x11	1 画像	1 画像	1 画像	1 画像
シャシン　2L サイズ	2 画像	2 画像	1 画像	1 画像
ハガキ	2 画像	2 画像	2 画像	1 画像
シャシン　L サイズ	4 画像	4 画像	2 画像	2 画像

用紙に配置される画像と順番

[サイズシテイ（1 ガゾウ）]
[ヨウシ サイズ］で設定した用紙に、［ガゾウ サイズ］で設定したサイズの画像が、拡大または縮小されて印刷されます。

補足
・ 印刷方向は、横長（ランドスケープ）だけです。画像は、余白なしで配置されます。
・ オリジナル画像の縦横比はそのままで、個別画像領域に余白が出ないよう、画像を配置します。
・ オリジナル画像の縦横比はそのままで、[ガゾウ サイズ] に拡大または縮小をして、中央にレイアウトします。
・ [ガゾウ サイズ] より、有効画像エリアが小さい場合は、はみ出した画像は、画像欠けとなります。このとき、[ガゾウ サイズ] は保持されます。

[N アップ]
[N アップ］の設定に従って、複数ファイルが 1 枚の用紙に印刷されます。

用紙に配置される画像と順番

補足
・ この項目は、デジカメプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■ガゾウ サイズ（画像サイズ）

画像を印刷するときのサイズを設定します。候補値は次のとおりです。

[シャシン L サイズ]（初期値）、
[シャシン 2L サイズ]、[ハガキ]、[A4]、[8.5x11]

■N アップ

画像を N アップ印刷するときの割り付けるファイル数と位置を設定します。候補値は次のとおりです。

[3 アップ（センター）]（初期値）、
[3 アップ（ヒダリヨセ）]、
[4 アップ]、[6 アップ]、[8 アップ]、[2 アップ]

補足
・ この項目は、デジカメプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■スムージング

スムージング機能を使って、画像をなめらかに印刷する場合は［スル］を選択します。初期値は［シナイ］です。

インデックスプリントをする

インデックスプリントの手順を説明します。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ
 ﾃﾞｼﾞｶﾒ ﾌﾟﾘﾝﾄ

2. 〈▶〉ボタンで選択します。
   メディアのセットを促す画面が表示されます。

CF ｶｰﾄﾞｦ ｿｳﾆｭｳｼﾃ
[ｾｯﾄ]ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

3. メディアをセットして、〈排出 / セット〉ボタンを押します。[メディア ヨミコミ チュウ オマチクダサイ] と表示されたあと、[インデックス プリント] が表示されます。

4. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合だけ、右の画面が表示されます。
   取り付けていない場合は、[[セット] デプリントカイシ] と表示されるので、手順 6 に進んでください。

5. 〈▼〉ボタンを押して部数を入力し、〈▶〉ボタンを押します。
   印刷を開始させる画面が表示されます。

ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

6. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   印刷が開始されます。

7. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。
   「メディアを取り出す」(P. 79) を参照して、メディアを取り出してください。

メディアに格納されたデータをすべて印刷する / コマを指定して印刷する / データの範囲を指定して印刷する

印刷するファイルの指定の仕方が異なるだけで、どれも印刷の手順は同じです。

補足

・ ファイルのコマや範囲を指定して印刷する場合は、あらかじめ「インデックスプリントをする」(P. 84) を参照してインデックスプリントを印刷し、番号を確認してください。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾒﾆｭｰ
 ﾃﾞｼﾞｶﾒ ﾌﾟﾘﾝﾄ

2. 〈▶〉ボタンで選択します。
メディアのセットを促す画面が表示されます。

3. メディアをセットして、〈排出 / セット〉ボタンを押します。[メディア ヨミコミ チュウ オマチクダサイ] と表示されたあと、[インデックス プリント] が表示されます。

4. 以降は、印刷するファイルの指定の仕方によって、それぞれの手順に進んでください。
   - すべてを指定する→手順 5
   - コマを指定する　→手順 7
   - 範囲を指定する　→手順 12

■ すべてのデータを指定する場合

5. [スベテ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

6. 〈▶〉ボタンで選択します。
ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、用紙種類を指定する画面が表示されます。
手順 16 に進みます。

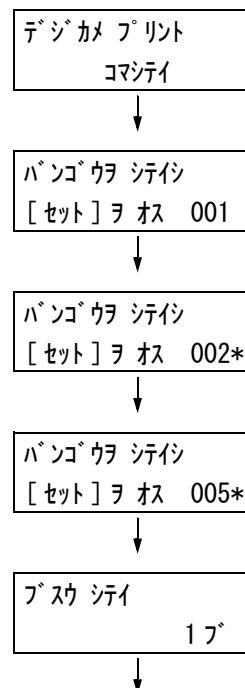
■ コマを指定する場合

7. ［コマシテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

8. 〈▶〉ボタンで選択します。
   コマ（インデックス）番号が表示されます。

9. 印刷するコマ番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

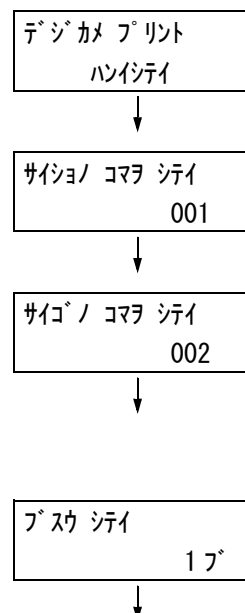
10. 複数ファイルを選択する場合は、手順 9 の操作を繰り返し、対象のコマ番号を指定します。

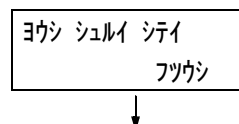
11. コマ番号の指定が終わったら、〈▶〉ボタンを押します。
    ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、用紙種類を指定する画面が表示されます。
    手順 16 に進みます。

■ 範囲を指定する場合

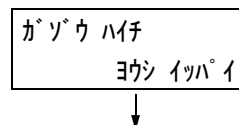
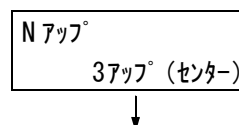
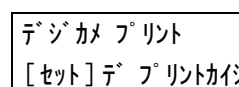
12. [ハンイシテイ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

13. 〈▶〉ボタンで選択します。
    コマ（インデックス）番号が表示されます。

14. 指定範囲の最初のコマ番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    最後のコマ番号を指定する画面が表示されます。

15. 同様に、指定範囲の最後のコマ番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、用紙種類を指定する画面が表示されます。
    手順 16 に進みます。

■ 印刷する

16. 部数指定画面が表示されている場合は、〈▼〉ボタンを何度か押して、部数を入力し、〈▶〉ボタンで選択します。
    用紙種類を選択する画面が表示されます。

17. 設定したい用紙種類が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    画像配置を選択する画面が表示されます。

ｶﾞｿﾞｳ ﾊｲﾁ
ﾖｳｼ ｲｯﾊﾟｲ

18. 設定したい画像配置が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    N アップを選択した場合は、右の N アップ画面が表示されます。
    それ以外の場合は、[[セット] デ　プリントカイシ] と表示されるので、手順 20 に進んでください。

N ｱｯﾌﾟ
3ｱｯﾌﾟ(ｾﾝﾀｰ)

19. 設定したい N アップが表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    印刷を開始させる画面が表示されます。

ﾃﾞｼﾞｶﾒ ﾌﾟﾘﾝﾄ
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

補足

・ 操作パネルの［プリントセッテイ］＞［デジカメプリント］＞［ヨウシトレイ］の設定によって、表示が異なります。

20. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
    印刷が開始されます。

21. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。
    「メディアを取り出す」(P. 79) を参照して、メディアを取り出してください。

ドキュメントプリントをする

ドキュメントプリントの種類

ドキュメントプリントには、次の4種類があります。

■ファイルリストプリント

メディアに取り込まれているファイル名の一覧を印刷します。

ファイル名（最大2行、100文字まで）、メディアへの書き込み日時、総ファイル数が印刷されます。

ファイルリストプリント

日時 : 2005/10/27 19:14
ファイル数 : 5

番号	ファイル名	日付
001	088.pdf	2005/05/02 09:20 AM
002	090.pdf	2005/05/02 10:30 AM
003	247.pdf	2005/06/10 02:20 PM
004	Appendix.pdf	2005/06/12 10:20 AM
005	AppendixA.pdf	2005/06/12 10:25 AM

■すべて

メディアに取り込まれているファイルをすべて印刷します。

補足

- メディアに格納されているファイルの種類やディレクトリー構成によっては、すべてのファイルを印刷できないことがあります。

■ファイルを指定

メディアに取り込まれているファイルの中から、印刷したいファイルを選択して印刷します。複数のファイルを選択できます。

補足

- メディアに格納されたファイルの中からファイルを指定して印刷するときは、あらかじめファイルリストプリントで一覧を印刷して、番号を確認してください。

■範囲指定

メディアに取り込まれているファイルを、002～004というように範囲を指定して印刷します。

補足

- メディアに格納されたファイルの中から範囲を指定して印刷するときは、あらかじめファイルリストプリントで一覧を印刷して、番号を確認してください。

ドキュメントプリントの設定

ドキュメントプリントをする場合、次の項目は操作パネルの［キカイ カンリシャ メニュー］＞［プリント セッテイ］＞［メディア プリント］＞［ブンショ プリント］の設定に従って印刷されます。

- カラーモード
- 両面指定 *1
- 用紙トレイ
- 手差し用紙サイズ
- N アップ *1
- スムージング

*1：これらの項目は、ドキュメントプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■カラー モード

［シロクロ］（初期値）または［カラー］に設定します。

■リョウメン シテイ（両面指定）

両面印刷について設定します。

［シナイ］（初期値）
両面印刷を行いません。

［チョウヘン トジ］
用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

［タンペン トジ］
用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

補足
・ この項目は、ドキュメントプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■ヨウシ トレイ（用紙トレイ）

手差しトレイの用紙に印刷する場合は［トレイ 5（テザシ)］を、トレイ 1 ～ 4 の用紙に印刷する場合は［ジドウ］を選択します。［ジドウ］の場合は、文書のサイズに応じて、トレイ 1 ～ 4 から、適切なトレイが自動的に選択されます。
初期値は［トレイ 5（テザシ)］です。

■テザシ ヨウシ サイズ（手差し用紙サイズ）

手差しトレイの用紙に印刷する場合は、用紙サイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

［A4 タテ］（初期値)、
［A5 タテ］、［B5 タテ］、［8.5x11 タテ］、［8.5x14 タテ］

■N アップ

N アップで印刷する場合に設定します。候補値は次のとおりです。

［シナイ］（初期値)、
［2 アップ］、［4 アップ］

補足
・ この項目は、ドキュメントプリントを実行する手順の中でも設定できます。

■スムージング

スムージング機能を使って、画像をなめらかに印刷する場合は［スル］を選択します。初期値は［シナイ］です。

ファイルリストを印刷する

ファイルリストを印刷する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

2. ［ドキュメント　プリント］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   メディアのセットを促す画面が表示されます。

4. メディアをセットして、〈排出 / セット〉ボタンを押します。[メディア ヨミコミ チュウ オマチクダサイ] と表示されたあと、[ファイルリスト プリント] が表示されます。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合だけ、右の画面が表示されます。
   取り付けていない場合は、[［セット］デ プリントカイシ］と表示されるので、手順 7 に進んでください。

6. 〈▼〉ボタンを押して部数を入力し、〈▶〉ボタンを押します。
   印刷を開始させる画面が表示されます。

7. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   印刷が開始されます。

8. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。
   「メディアを取り出す」(P. 79) を参照して、メディアを取り出してください。

すべてのファイルを印刷する / ファイルを指定して印刷する / ファイルの範囲を指定して印刷する

印刷するファイルの指定の仕方が異なるだけで、どれも印刷の手順は同じです。

補足
- あらかじめ「ファイルリストを印刷する」(P. 90) を参照してファイルリストプリントをし、番号を確認してください。

1. 操作パネルの〈◀〉ボタンを押します。

プリント メニュー
デジカメ プリント

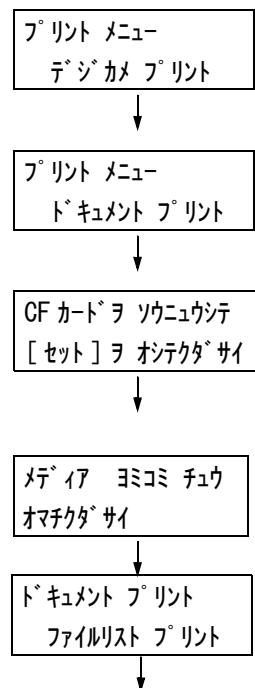
2. ［ドキュメント　プリント］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリント メニュー
ドキュメント プリント

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
メディアのセットを促す画面が表示されます。

CF カードヲ ソウニュウシテ
［セット］ヲ オシテクダサイ

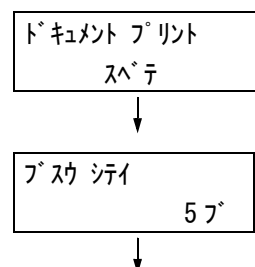
4. メディアをセットして、〈排出 / セット〉ボタンを押します。[メディア ヨミコミ チュウ オマチクダサイ] と表示されたあと、[ファイルリスト プリント] が表示されます。

5. 以降は、印刷するファイルの指定の仕方によって、それぞれの手順に進んでください。
   - すべてを指定する　→手順 6
   - ファイル番号を指定する→手順 8
   - 範囲を指定する　→手順 13

■ すべてのファイルを指定する場合

6. ［スベテ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ドキュメント プリント
スベテ

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、両面印刷を指定する画面が表示されます。
手順 17 に進みます。

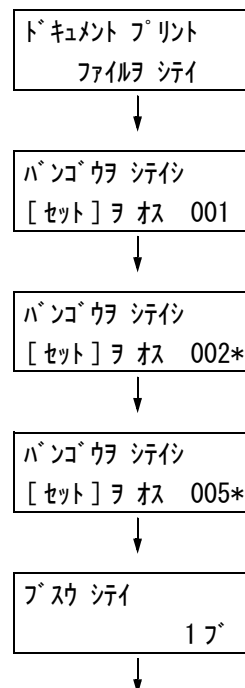
ブスウ シテイ
5 ブ

■ ファイル番号を指定する場合

8. ［ファイルヲ シテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

9. 〈▶〉ボタンで選択します。
ファイル（インデックス）番号が表示されます。

10. 印刷するファイル番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈排出 / セット〉ボタンを押します。

11. 複数ファイルを選択する場合は、手順 10 の操作を繰り返し、対象のファイル番号を指定します。

12. ファイル番号の指定が終わったら、〈▶〉ボタンを押します。
ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、両面印刷を指定する画面が表示されます。
手順 17 に進みます。

■ 範囲を指定する場合

13. ［ハンイシテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾊﾝｲｼﾃｲ

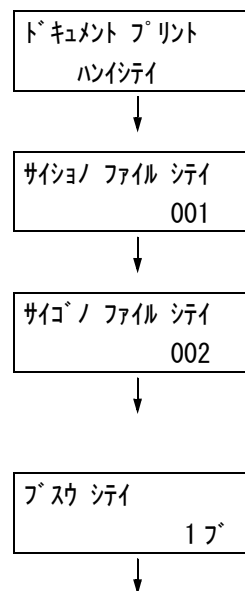
14. 〈▶〉ボタンで選択します。
ファイル（インデックス）番号が表示されます。

ｻｲｼｮﾉ ﾌｧｲﾙ ｼﾃｲ
001

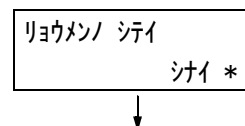
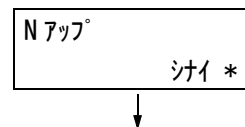
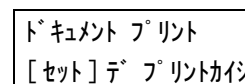
15. 最初のファイル番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
最後のファイルを指定する画面が表示されます。

ｻｲｺﾞﾉ ﾌｧｲﾙ ｼﾃｲ
002

16. 同様に、最後のファイル番号が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は右の画面、取り付けていない場合は、両面印刷を指定する画面が表示されます。
手順 17 に進みます。

ﾌﾞｽｳ ｼﾃｲ
1ﾌﾞ

■ 印刷する

17. 部数を入力する画面が表示されている場合は、〈▼〉ボタンを何度か押して、部数を入力し、〈▶〉ボタンを押します。
    両面印刷を指定する画面が表示されます。

    ﾘｮｳﾒﾝﾉ ｼﾃｲ
    ｼﾅｲ ＊

18. 設定したい両面印刷が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    N アップを選択する画面が表示されます。

    N ｱｯﾌﾟ
    ｼﾅｲ ＊

19. 設定したい N アップが表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
    印刷を開始させる画面が表示されます。

    ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
    [ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ

補足
- 操作パネルの［プリントセッテイ］＞［デジカメプリント］＞［ヨウシトレイ］の設定によって、表示が異なります。

20. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
    印刷が開始されます。

21. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。
    「メディアを取り出す」(P. 79) を参照して、メディアを取り出してください。

4 用紙について

4.1 用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に使用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

使用できる用紙

用紙のサイズと用紙種類

各トレイにセットできる用紙のサイズ、用紙種類、最大収容枚数は、次のとおりです。

用紙トレイ	サイズ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数
手差しトレイ	A4、B5、A5、 8.5×14"（Legal）、 8.5×13"（Folio）、 8.5×11"（Letter）、 はがき、 封筒（洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号、洋長形 3 号、C5）、 ユーザー定義（幅 88.9 ～ 215.9mm、長さ 139.7 ～ 355.6mm、ただし、長さ 355.7 ～ 900mm も長尺紙としてセット可）	普通紙（60 ～ 80g/m^2）、 再生紙（60 ～ 80g/m^2）、 上質紙（74 ～ 105g/m^2）、 厚紙 1（106 ～ 163g/m^2）、 厚紙 2（164 ～ 216g/m^2）、 ラベル紙、 コート紙 1（60 ～ 105g/m^2）、 コート紙 2（106 ～ 163g/m^2）、 OHP フィルム、 封筒、 はがき	150 枚（FX P 紙）、または 15mm 以下 **注記** ・コート紙は 1 枚ずつセットしてください。多数枚セットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。 ・長尺紙は、1 枚ずつセットし、用紙が正しく送られるように手で支えてください。また、長さは 900mm まで設定できますが、355.6mm を超える部分の画質は保証できません。
トレイ 1 ～ 4	A4、B5、A5、 8.5×14"（Legal）、 8.5×13"（Folio）、 8.5×11"（Letter）	普通紙（60 ～ 80g/m^2）、 再生紙（60 ～ 80g/m^2）、 上質紙（74 ～ 105g/m^2）、 厚紙 1（106 ～ 163g/m^2）	各トレイ 550 枚（FX P 紙）、または 61mm 以下

注記
- 用紙は、そのサイズや種類に応じて、必ず適切なトレイにセットしてください。また、プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択して印刷してください。用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

■ 両面印刷ができる用紙

両面印刷ができる用紙のサイズ、用紙種類は、次のとおりです。

サイズ	用紙種類
A4、B5、A5、 8.5×14"(Legal)、 8.5×13"(Folio)、 8.5×11"(Letter)、 ユーザー定義 *1 (幅 149 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm)	普通紙、 再生紙、 上質紙、 厚紙 1、 コート紙 1*1 対応メートル坪量：64 ～ 163g/m^2

*1：手差しトレイにだけ、セットできます。

補足

- 自動で両面印刷ができないサイズや種類の場合は、一度印刷した用紙（本機で片面を印刷した場合に限る）を手差しトレイにセットして、手動で裏面に印刷してください。このとき、プリンタードライバーでは、用紙種類を［xxx うら面］に設定します。
  なお、ラベル紙と OHP フィルム、封筒はうら面には印刷できません。
- 紙質や用紙の繊維方向などによっては、正常に印刷されない場合があります。次ページで紹介する標準紙の使用をお勧めします。

使用できる用紙の規格

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、下表の規格に合った用紙を購入してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次ページで紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	規格（メートル坪量）
手差しトレイ	メートル坪量：60 ～ 216g/m^2
トレイ 1 ～ 4	メートル坪量：60 ～ 163g/m^2

補足

- メートル坪量とは、1m^2 の用紙 1 枚の質量をいいます。

弊社が推奨または使用確認済みの用紙

次に、弊社が推奨、または使用できることを確認している用紙の一部を紹介します。

これ以外の用紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
P 紙 ＊標準紙	64g/m^2	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
C2（シー・ツー）紙	70g/m^2	普通紙	一般のオフィス用で、白黒、カラーのどちらにも適している、うら写りの少ない用紙
R 紙	67g/m^2	再生紙	古紙パルプ 70% 以上で長期保存性に優れた再生紙
WR100 紙	67g/m^2	再生紙	古紙パルプ 100% で上質紙と同等の白色度の高い再生紙
Green 100 紙	67g/m^2	再生紙	古紙パルプ 100% で必要最小限の白色度の再生紙
C2r（シー・ツー・アール）紙	70g/m^2	再生紙	古紙パルプ 70% 配合で、白黒 / カラーのどちらにも使用できる再生紙
J 紙	82g/m^2	上質紙	企画書や色見本など、幅広く使用できる上質紙
JD 紙	98g/m^2	上質紙	カタログやコピー冊子など幅広く活用できる両面紙
OHPフィルム（クリア） 商品コード：V516	-	OHP フィルム	枠なしの OHP フィルム 手差しトレイにセットできます。 また、排出された OHP フィルムは貼り付きのおそれがあるので、約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。
ラベル用紙 （ノーカット） 商品コード：V862	-	ラベル紙	全面シールで、カットされていないラベル紙 手差しトレイにセットできます。
長尺紙 （210x900mm）用 OK プリンス	157g/m^2	厚紙 1	手差しトレイに 1 枚ずつセットし、排出されたら、そのつど、取り出してください。
公社が発行する郵便はがき（通称：官製はがき）	190g/m^2	はがき	手差しトレイにセットできます。
封筒	-	封筒	市販の封筒。手差しトレイにセットできます。 使用できるサイズは、「用紙のサイズと用紙種類」(P. 94) を参照してください。

使用できない用紙

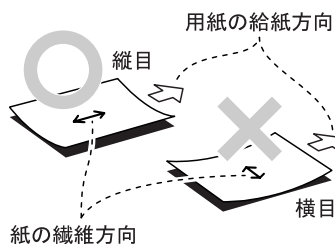
次のような用紙は、使用しないでください。紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。

- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルム（例：V556、V558、V302）のように、推奨していない OHP フィルム
- インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用郵便はがき
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- しわや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 絵入りのはがき
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に替えてください。
- 凹凸や止め金のある封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、カットされているラベル用紙
- タックフィルム
- 水転写紙
- 布地転写紙
- 横目の用紙（縦目の用紙を使用してください。* 下記補足参照)

注記

- 絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ロールに付着し、給紙できなくなることがあります。

補足

- 用紙の横目、縦目とは、用紙を製造するうえでの繊維の方向を表します。用紙を水にぬらして自然乾燥させたときに起こるカールによって、横目、縦目を判断できます。カール方向に対して、直角方向が繊維の目の方向になります。本機で使用できる用紙のカール方向と繊維方向については、下図を参考にしてください。

用紙の保管と取り扱い

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりやカール、印字品質の低下、故障の原因になります。用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

- 用紙は次のような場所に保管してください。
  温度：10 ～ 30℃、相対湿度：30 ～ 65%
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- しわ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

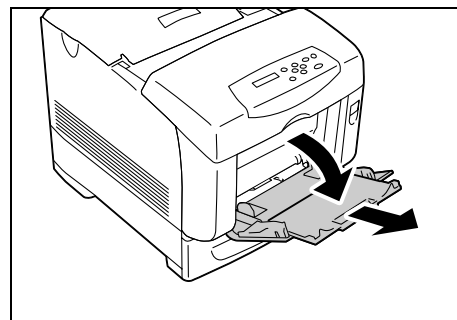
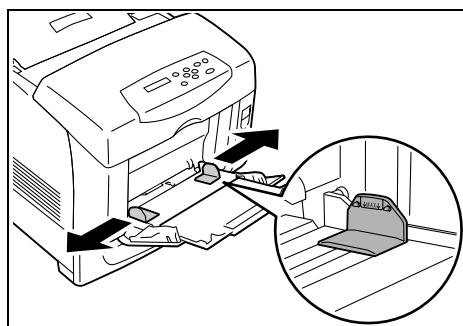
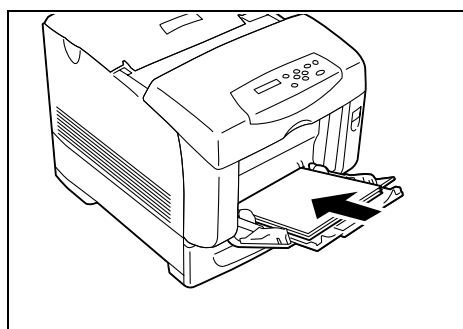
4.2　用紙をセットする

ここでは、手差しトレイ、およびトレイ１～４に用紙をセットする方法を説明します。

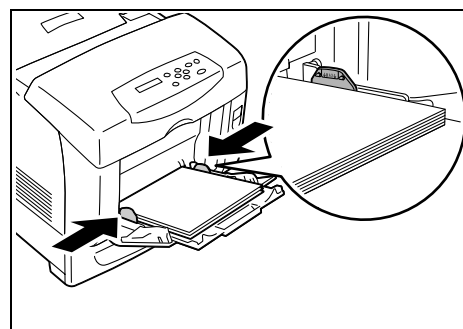
手差しトレイに用紙をセットする

注記

- 種類が違う用紙を同時にセットしないでください。
- 印刷動作中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

1. 手差しトレイカバーを手前に引いて開け、延長トレイを引き出します。

2. 用紙ガイドをトレイの端まで動かします。

3. 用紙を印刷する面を下にして、上端を奥にしてセットします。

4. 用紙ガイドを用紙の端に軽く当たるまで動かします。

注記

- 用紙ガイドが強すぎたり、ゆるかったりすると紙づまりの原因になります。
- セットした用紙が、用紙上限線を超えていないことを確認します。

補足

- 手差しトレイの用紙に印刷する場合は、印刷時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定する必要があります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- PDF ファイルを lpr などで印刷する場合や、メディアから PDF ファイルなどの文書を直接印刷する場合のように、プリンタードライバーを使用しないで印刷する場合は、操作パネルで用紙種類を設定します。詳しくは、「[トレイノ ヨウシシュルイ]（トレイの用紙種類）」(P. 134) を参照してください。

手差しトレイに封筒やはがきをセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きを注意してください。

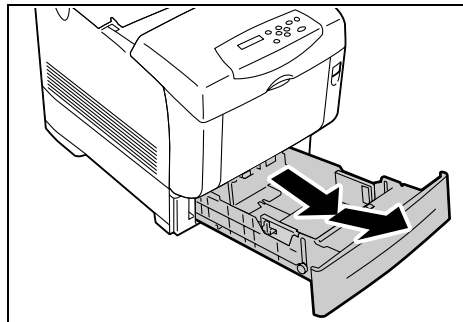
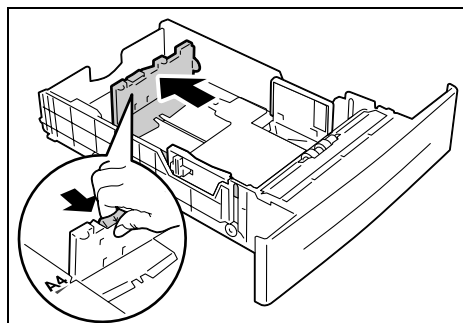
はがきの場合	封筒（C5）	封筒 （洋形 2 号 /3 号 /4 号、洋長形 3 号）
印刷面を下にし、郵便番号記入欄が奥側になるようにセットする。	あて名面を下にし、フラップを開いて、フラップ部分が手前にくるようにセットする。このとき、フラップを完全に開いてからセットする。	あて名面を下にし、フラップを閉じて、フラップ部分が右側になるようにセットする。

トレイ 1 〜 4 に用紙をセットする

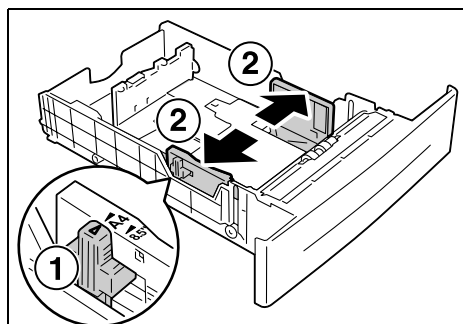
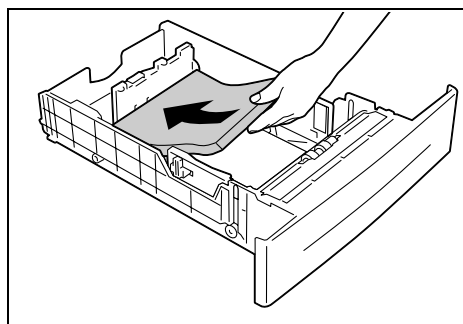
ここでは、トレイ 1 に用紙をセットする例で説明します。用紙をセットする方法は、どのトレイも同じです。

注記

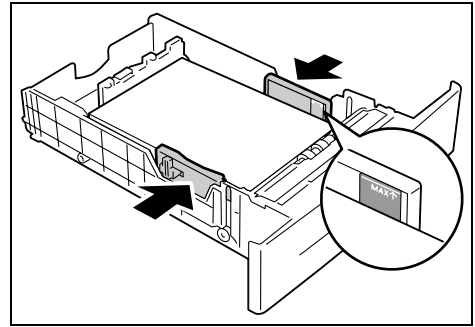
・ 印刷動作中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因となります。

1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。最後、トレイを両手で持ち、正面を少し持ち上げて、プリンターから取り外します。

2. 縦の用紙ガイドを指でつまみながら動かし、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

3. 左の用紙ガイドのつまみが A4 に合っていることを確認してから、横の用紙ガイドをトレイの端まで動かします。

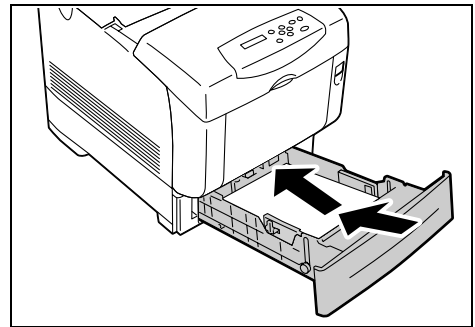
補足

・ レター、リーガル等 8.5 インチ幅の用紙をセットするときだけ、右図のつまみを 8.5" に合わせてください。

4. 印刷する面を上にして用紙をセットします。

5. 横の用紙ガイドを、用紙の端に軽く当たるまで動かします。

注記

- 用紙ガイドが強すぎたり、ゆるかったりすると紙づまりの原因になります。
- セットした用紙が、用紙上限線を超えていないことを確認します。

6. トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

- トレイは無理に押し込まないでください。トレイやプリンター内部が破損するおそれがあります。

トレイ１～４にセットする用紙の種類について

用紙トレイにセットした用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は、設定が必要です。通常、各トレイは、普通紙が設定されています。ほかの種類の用紙をセットする場合は、設定を変更してください。

参照

・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 103)

トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなることがあります。

次の表を参考にして、必ず操作パネルで用紙種類の設定をしてください。

注記

・ 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に設定を変更して印刷してみてください。

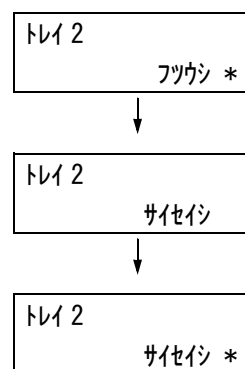
主な用紙	メートル坪量 (単位：g/m^2)	設定値
普通紙（P 紙、C2 紙など）	60 ～ 80	フツウシ (初期値)
再生紙（R 紙、WR 紙、Green 100 など）	60 ～ 80	サイセイシ
上質紙（J 紙、JD 紙など）	74 ～ 105	ジョウシツシ
市販の厚紙	106 ～ 163	アツガミ 1

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. ［プリント セッテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ヨウシ ノ オキカエ］が表示されます。
6. ［トレイノ　ヨウシシュルイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［トレイ 1］が表示されます。
8. 設定するトレイが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：トレイ 2）

9. 〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。

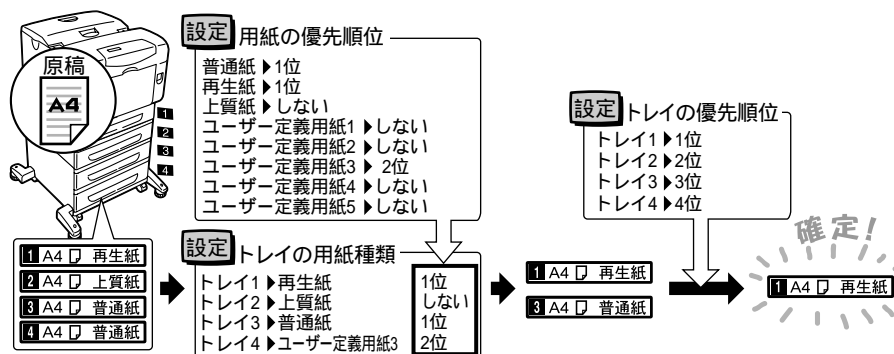
10. 設定する用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：サイセイシ）

11. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

12. ほかのトレイも設定する場合は、〈◀〉ボタンを押して、手順 8 に戻り、同様に設定します。
    設定を終了する場合は、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にして印刷を指示すると、機械は印刷する原稿のサイズと向きから、該当するトレイを選択します。これを、「自動トレイ選択」と呼びます。

この自動トレイ選択で、該当するトレイが複数ある場合は、操作パネルの [トレイノ ヨウシシュルイ] に設定されている値を [ヨウシノ ユウセン ジュンイ] にあてはめ、優先順位が高いトレイを選択します。このとき、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] を [セッテイシナイ] に設定しているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] がまったく同じ場合は、[トレイノ ユウセン ジュンイ] で決定されます。

たとえば‥‥

補足
- 手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
- 自動トレイ選択で該当するトレイがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するように設定することもできます（用紙の置き換え機能）。
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます（自動トレイ切り替え機能）。このとき、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] を [セッテイシナイ] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。
- 同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「フツウシ Blue」といった名前を付けると、他の普通紙と区別できます。

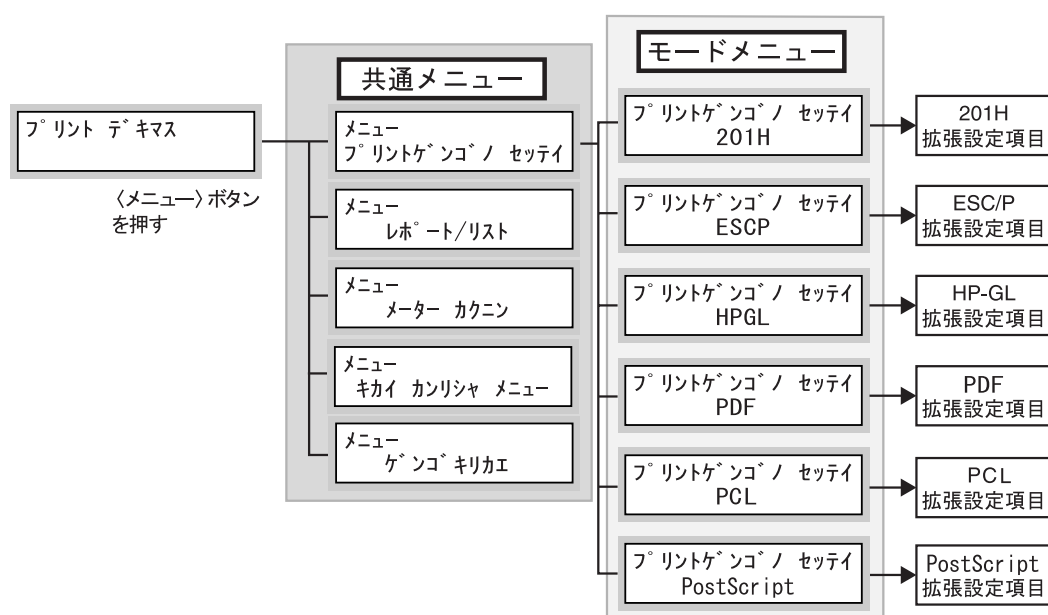
参照
- 「[プリント セッテイ]（プリント設定）」(P. 134)

5　操作パネルでの設定

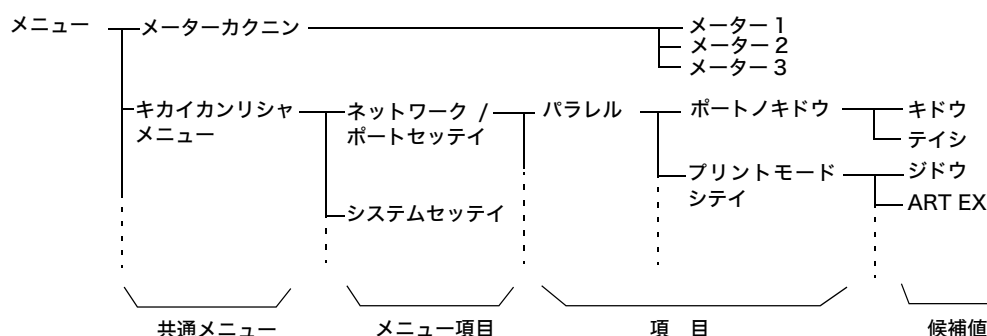
5.1　共通メニューの概要

メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。本書では、主に共通メニューについて説明します。

補足
・ モードメニューの [201H]、[HPGL]、[PCL] は、エミュレーションキット（オプション）または、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
・ [PostScript] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。
共通メニューは、次のような階層で構成されています。

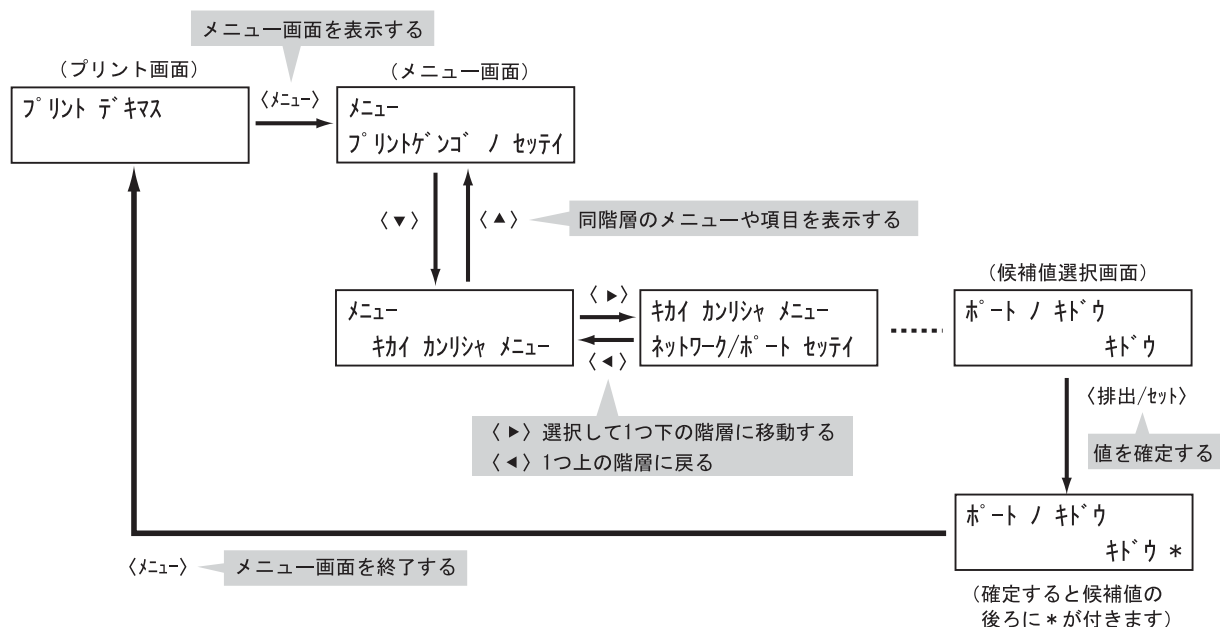
・ 共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。

共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

共通メニュー	内容
プリントゲンゴノ セッテイ （プリント言語の設定）	201H、ESC/P、HP-GL（HP-GL®、HP-GL/2®）、PCL エミュレーションモードの設定、PDF ファイルを直接印刷するための設定、および、PostScript に関する設定を行うためのモードメニューがあります。 補足 ・ PDF ファイルを直接印刷するための設定項目と PostScript に関する設定項目については、「［プリントゲンゴノ セッテイ］（プリント言語の設定）」(P. 110) を参照してください。基本操作については、「設定を変更する」(P. 107) を参照してください。 ・ 各エミュレーションについては、本機に同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM 内の各エミュレーション設定ガイドを参照してください。
レポート / リスト	オプション装着時のエミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、出力の集計など本機内部の情報を印刷します。 参照 ・「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 184)
メーター カクニン （メーター確認）	印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。 参照 ・「カラーモード別に総印刷枚数を確認する（メーター）」(P. 198)
キカイ カンリシャ メニュー （機械管理者メニュー）	ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、低電力 / スリープモードなど）、プリント設定、メモリー設定、画質補正、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定します。 補足 ・［テイシ］に設定されているポートの各種設定はできません。 ・ 機械管理者メニューの設定項目については、「［キカイ　カンリシャ　メニュー］（機械管理者メニュー）」(P. 114) を参照してください。基本操作については、「設定を変更する」(P. 107) を参照してください。
ゲンゴ キリカエ （言語切り替え）	操作パネルの表示言語を切り替えます。 補足 ・ 言語切り替えの設定項目については、「［ゲンゴ　キリカエ］（言語切り替え）」(P. 143) を参照してください。基本操作については、「設定を変更する」(P. 107) を参照してください。

設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンターの設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。

補足
- 一度〈排出 / セット〉ボタンを押して確定した値（* が付きます）を変更するときは、はじめから設定し直してください。

設定した値を、初期値に戻すには

初期値に戻したい項目を表示させて、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押します。

変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。〈排出 / セット〉ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する

共通メニューの操作を、低電力モードを無効にし、スリープモードへの移行時間を 60 分後に設定する場合を例に説明します。

補足
・ この例は、最も節電モードにならないようにするための設定です。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

補足
・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
下の階層に移動します。

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ / ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

補足
・ 間違って、違う項目で〈▶〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉ボタンで前の画面に戻ります。
・ 最初からやり直したい場合は、〈メニュー〉ボタンを押します。

4. ［システム セッテイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
下の階層に移動します。

6. ［テイデンリョク　モード］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
最下の階層に移動した場合は、現在の設定値が表示されます。

8. ［ムコウ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

9. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
値が確定されると、右側の＊が付きます。

これで、低電力モードに移行しなくなりました。
続けて、スリープモードへの移行時間を変更します。

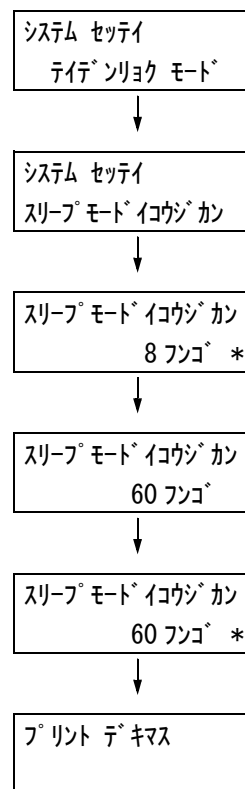
10. 〈◀〉ボタンで、1つ上の階層（手順6の画面）に戻ります。

11. ［スリープモードイコウジカン］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

12. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

13. 〈▲〉〈▼〉ボタンで押して、［60　フンゴ］を表示します。

14. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
値が確定されます。

15. これで設定が完了です。
〈メニュー〉ボタンを押すと、プリント画面に戻ります。

5.2　共通メニュー項目の説明

ここでは、共通メニューの中の［プリントゲンゴノ セッテイ］、［キカイ カンリシャ メニュー］、［ゲンゴ キリカエ］で設定できる項目について説明します。

補足
- ［メーター カクニン］については、「カラーモード別に総印刷枚数を確認する（メーター）」(P. 198) を参照してください。
- ［レポート / リスト］については、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 184) を参照してください。
- メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 107) を参照してください。
- CentreWare Internet Services でも、一部操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- 共通メニューの全体については、巻末の「操作パネルメニュー一覧」を参照してください。

［プリントゲンゴノ セッテイ］（プリント言語の設定）

［プリントゲンゴノ セッテイ］には、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PCL エミュレーションモードの設定、PDF ファイルを直接印刷するための設定、および PostScript に関する設定を行うためのモードメニューがあります。

［201H］

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『201H エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

［ESCP］

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『ART Ⅳ、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

［HPGL］

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。

[プリントショリモード] で、PDF ファイルの印刷処理を本機搭載の PDF Bridge を使って行うか、PostScript の機能を使って行うかを選択します。

[ブスウ]、[リョウメン]、[インサツ モード]、[パスワード]、[ソート]、[ヨウシサイズ]、[レイアウト] の設定は、ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合に有効になります。

参照

・「3.8 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 69)

[プリントショリモード](プリント処理モード)

PDF ファイルの印刷処理をするモードを選択します。

補足

・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット(オプション)が取り付けられている場合に表示されます。
・[PDF Bridge] を選択した場合と [PS] を選択した場合では、印刷結果が異なることがあります。
・[PS] を選択した場合は、[レイアウト] は表示されません。

[PDF Bridge](初期値)
PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。

[PS]
PDF ファイルを、Adobe 社製の PostScript の機能を使用して処理します。

[ブスウ](部数)

印刷する部数を、1 〜 999 部の間で設定します。初期値は、[1 ブ] です。

補足

・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

[リョウメン](両面)

両面印刷について設定します。

[シナイ](初期値)
両面印刷を行いません。

[チョウヘントジ]
用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

[タンペントジ]
用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

[インサツ モード](印刷モード)

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。

[ヒョウジュン](初期値)
標準的な速度、画質で印刷します。

[コウガシツ]
印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。

[コウソク]
速度を優先して印刷します。

[パスワード] *5 の No.1、3、4、5 の文字使用可(参照 P. 143)

PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。

設定できる文字は、英数半角で 32 文字までです。

[ソート]

複数部数を、1 部ごとにソート(1、2、3...1、2、3...)して印刷するかどうかを設定します。初期値は、[シナイ]です。

[ヨウシサイズ](用紙サイズ)

出力する用紙サイズを設定します。

[A4]または[8.5×11"](初期値)
[キカイ カンリシャ メニュー] > [プリント セッテイ] > [キホン ノ ヨウシ サイズ]の設定によって、[A4]または[8.5×11"]のどちらかが表示されます。

[ジドウ]
印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

[レイアウト]

印刷するときのレイアウトについて設定します。

補足
・ この項目は、[プリントショリモード]が[PS]に設定されている場合は表示されません。

[ジドウ バイリツ](初期値)
印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A4 またはレターサイズのどちらかを自動的に判別し、印刷されます。

[100%(トウバイ)]
印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。

[カタログ(ショウサッシ)]
印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのようにページを割り付けて両面印刷します。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、[ジドウ バイリツ]で印刷されます。

補足
・ A4 サイズの用紙に印刷されます。

[2 アップ]
1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。

[4 アップ]
1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。

[カラー モード]

カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。

[カラー(ジドウ)](初期値)

原稿のページごとにカラーか白黒か自動的に判断されます。白黒以外の色が使われている場合はカラーで印刷され、白黒だけが使われている場合は白黒で印刷されます。

[シロクロ]

白黒で印刷されます。

[PCL]

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足

- このメニューで設定できる項目については、PostScript ソフトウエアキット（オプション）に同梱されている CD-ROM 内の『PostScript 設定ガイド』でも説明しています。

[ヨウシ センタク モード]（用紙選択モード）

PostScript の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。

[ジドウ］または［トレイ カラ センタク］から選択します。初期値は［ジドウ］です。

[カラーモード]

PostScript、PDF 用のカラーモードの初期値を設定します。

[カラー］または［シロクロ］から選択します。初期値は［カラー］です。

[フォント ミトウサイジ ノショリ]（フォント未搭載時の処理）

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。

[フォントヲ オキカエル］（初期値）
ジョブで指定されたフォントを置き換えて印刷します。置き換えられるフォントは Courier です。置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しく印刷されません。日本語フォントでプリントする場合は［フォント オキカエ］で［ATCx ヲ シヨウスル］を選択してください。

[プリントヲ チュウシスル]
印刷を中止します。

[フォント オキカエ]（フォント置き換え）

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATC x 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えて印刷する機能です。[ATCx ヲ シヨウシナイ］または［ATCx ヲ シヨウスル］から選択します。初期値は［ATCx ヲ シヨウスル］です。

[キカイ カンリシャ メニュー]（機械管理者メニュー）

［キカイ カンリシャ メニュー］は、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、節電モード、システム時計など）、プリント設定、メモリー設定、画質補正、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定するためのメニューです。

[ネットワーク / ポート セッテイ]（ネットワーク / ポート設定）

［ネットワーク / ポート セッテイ］は、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

[パラレル]

パラレルポートを使う場合に設定します。

■［ポート ノ キドウ］（ポートの起動）

電源を入れたときに、パラレルポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、パラレルポートを使う設定になっています。

注記
- メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■［プリントモード シテイ］（プリントモード指定）*1（参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4（参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■［PJL］*2（参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [Adobe ツウシンプロトコル]（Adobe 通信プロトコル）

PostScript の通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［ヒョウジュン］（初期値）
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。

［バイナリー］
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が［ヒョウジュン］に比べて速くなることがあります。

［TBCP］
通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足
・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
・ 通常は、初期値の［ヒョウジュン］で使用してください。
・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。

■ [ジドウ ハイシュツ ジカン]（自動排出時間）*3 （参照 P. 143）

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。

時間は 5 〜 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は［30 ビョウ］です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ [ソウホウコウ ツウシン]（双方向通信）

パラレルインターフェイスの双方向送信（IEEE1284）を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

[LPD]

LPD を使う場合に設定します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、LPD を使う設定になっています。

補足
・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード シテイ]（プリントモード指定）*1（参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4（参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2（参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [コネクション タイムアウト] *3（参照 P. 143）

印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 〜 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。初期値は［16 ビョウ］です。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。初期値は［ムコウ］です。

■ [ポートバンゴウ]（ポート番号）

ポート番号を、1 〜 65535 の間で設定します。初期値は［515］です。

補足
・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[NetWare]

NetWare を使う場合に設定します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに､NetWare ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。NetWare を使う場合、［キドウ］に設定してください。

注記

・ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [トランスポート プロトコル]

NetWare で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX/SPX、TCP/IP のどちらか、または両方が選択できます。初期値は［TCP/IP,IPX/SPX］です。

補足

・TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■ [プリントモード シテイ]（プリントモード指定）*1 （参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4 （参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2 （参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [ケンサク カイスウ]（検索回数）*3 （参照 P. 143）

ファイルサーバーを検索する回数を設定します。

1 ～ 100 回の間で 1 回単位、または上限なしを設定します。検索間隔は 1 分です。初期値は［ジョウゲン ナシ］です。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。初期値は［ムコウ］です。

[SMB]

SMB を使う場合に設定します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、SMB ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、SMB を使う設定になっています。

注記

・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [トランスポート プロトコル]

SMB で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。NetBEUI、TCP/IP のどちらか、または両方が選択できます。初期値は［TCP/IP,NetBEUI］です。

補足

・ TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■ [プリントモード シテイ]（プリントモード指定）*1 （参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4 （参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2 （参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。初期値は［ムコウ］です。

[IPP]

IPP を使う場合に設定します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。IPP を使う場合、［キドウ］に設定してください。

補足

・ IPP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記

・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード シテイ]（プリントモード指定）*1（参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4（参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2（参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [アクセスケン セイギョ]（アクセス権制御）

印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

■ [DNS シヨウ]（DNS 使用）

本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］で、DNS 名を使用するようになっています。［ムコウ］にすると、IP アドレスを使って本機を認識します。

■ [ツイカポートバンゴウ]（追加ポート番号）*3（参照 P. 143）

追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

補足

・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP ポートは、同じポート番号を共用できます。

■［タイムアウト］

印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。初期値は［60 ビョウ］です。

■［TBCP フィルター］

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。初期値は［ムコウ］です。

［EtherTalk］

EtherTalk を使う場合に設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■［ポート ノ キドウ］（ポートの起動）

電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。EtherTalk を使う場合、［キドウ］に設定してください。

注記

・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■［PJL］ *2 （参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

［USB-1（1.1）］

USB1.1 ポート（Full Speed）を使う場合に設定します。

■［ポート ノ キドウ］（ポートの起動）

電源を入れたときに、USB1 ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、USB1.1 ポートを使う設定になっています。

注記

・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■［プリントモード シテイ］（プリントモード指定） *1 （参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］ *4 （参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2（参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [ジドウ ハイシュツ ジカン]（自動排出時間）*3（参照 P. 143）

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。

時間は 5 〜 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は［30 ビョウ］です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ [Adobe ツウシンプロトコル]（Adobe 通信プロトコル）

PostScript の通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［ヒョウジュン］（初期値）
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。

[バイナリー]
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が［ヒョウジュン］に比べて速くなることがあります。

[TBCP]
通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足
・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
・ 通常は、初期値の［ヒョウジュン］で使用してください。
・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。

［USB-2（2.0）］

USB 2.0 ポート（High Speed）を使う場合に設定します。

設定項目と内容は、[USB-1（1.1）］と同じです。

[Port9100]

Port9100 を使う場合に設定します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、Port9100 を使う設定になっています。

補足
- Port9100 ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード シテイ]（プリントモード指定）*1（参照 P. 143）

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。

［ART EX］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［PCL］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。
［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［201H］［HP-GL/2］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）、または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［HexDump］*4（参照 P. 143）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■ [PJL] *2（参照 P. 143）

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ [コネクション タイムアウト] *3（参照 P. 143）

印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 〜 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。初期値は［60 ビョウ］です。

■ [ポートバンゴウ]（ポート番号）

ポート番号を、1 〜 65535 の間で設定します。初期値は［9100］です。

補足
- 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。初期値は［ムコウ］です。

［UPnP］

UPnP (Universal Plug and Play) の設定をします。

■［ポート ノ キドウ］（ポートの起動）

電源を入れたときに、UPnP の状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。UPnP を使用する場合は、［キドウ］に設定してください。

補足
・ UPnP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■［ポートバンゴウ］（ポート番号）

ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

補足
・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP ポートは、同じポート番号を共用できます。

[SOAP]

SOAP(Simple Object Access Protocol) ポートの設定をします。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。SOAP ポートを使用する場合は、［キドウ］に設定してください。

補足

・ SOAP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記

・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [ポートバンゴウ]（ポート番号）

ポート番号を、1 〜 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

補足

・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP ポートは、同じポート番号を共用できます。

[SNMP セッテイ]（SNMP 設定）

SNMP を使う場合に設定します。SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

■ [ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、SNMP を使う設定になっています。

注記

・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [トランスポート プロトコル]

SNMP で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDP のどちらか、または両方が使えます。初期値は［UDP］です。

補足

・ UDP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。
・ IPX、UDP どちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

■ [コミュニティトウロク (R)]（コミュニティ登録 (R)）*5 の No.1 〜 4 の文字使用可（参照P. 143）

プリンターの管理情報（MIB）を読み出すためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 〜 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

■ [コミュニティトウロク (R/W)]（コミュニティ登録 (R/W)）*5 の No.1 〜 4 の文字使用可（参照P. 143）

プリンターの管理情報（MIB）を読み書きするためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 〜 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

■ [コミュニティトウロク (Trap)]（コミュニティ登録 (Trap)）*5 の No.1 〜 4 の文字使用可（参照P. 143）

トラップで使用するコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 〜 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

[TCP/IP セッテイ]（TCP/IP 設定）

■[IP アドレス シュトクホウホウ]（IP アドレス取得方法）

TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を AutoIP 機能付きの DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー、DHCP サーバー、BOOTP、または RARP から自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は［DHCP/Autonet］です。

補足
・［DHCP/Autonet］、［DHCP］、［BOOTP］、または［RARP］から、［シュドウ］に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。

■[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] *3 （参照 P. 143）

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 〜 255 までの数値です。

注記
・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
・サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを“0”に設定した場合など）、数値の設定後に〈メニュー〉ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
・明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

[インターネットサービス]

インターネットサービスを使うかどうかを設定します。

［キドウ］に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。初期値は［キドウ］です。

■[ポート ノ キドウ]（ポートの起動）

電源を入れたときに、ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］です。

補足
・インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー セッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■[ポートバンゴウ]（ポート番号）

ポート番号を、1 〜 65535 の間で設定します。初期値は、［80］です。

補足
・他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP ポートは、同じポート番号を共用できます。

[WINS サーバー セッテイ]（WINS サーバー設定）

■ [DHCP カラ アドレスシュトク]（DHCP からアドレス取得）

WINS（Windows Internet Name Service）を利用するために必要な、WINS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかしないかを指定します。自動的に取得しない場合、手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は［スル］です。

補足

・［スル］から［シナイ］に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
・IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、［シナイ］で固定です。

■ [プライマリー IP アドレス]、[セカンダリー IP アドレス] *3 （参照 P. 143）

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。プライマリー IP アドレスが無効の場合、セカンダリー IP アドレスも無効になります。

注記

・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

[Ethernet セッテイ]（Ethernet 設定）

Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクターの種類を設定します。

[ジドウ]（初期値）
100M(全二重)、100M(半二重)、10M(全二重)、10M(半二重)を自動的に切り替えます。

[100M（ゼンニジュウ)]
100M（全二重）に固定して使う場合に選択します。

[100M（ハンニジュウ)]
100M（半二重）に固定して使う場合に選択します。

[10M（ゼンニジュウ)]
10M（全二重）に固定して使う場合に選択します。

[10M（ハンニジュウ)]
10M（半二重）に固定して使う場合に選択します。

[IPX/SPX フレームタイプ]

IPX/SPX のフレームタイプを設定します。

[ジドウ]（初期値）
フレームタイプを自動で設定します。

[Ethernet II]
Ethernet 仕様のフレームタイプを使います。

[Ethernet 802.3]
IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使います。

[Ethernet 802.2]
IEEE802.3/IEEE802.2 仕様のフレームタイプを使います。

[Ethernet SNAP]
IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使います。

[ウケツケ セイゲン]（受け付け制限）

■ [IP ポート セイゲン]（IP ポート制限）

印刷を受け付ける IP アドレスを制限するかしないかを設定します。[スル] に設定すると、登録されている IP アドレス以外からの印刷を受け付けません。初期値は［シナイ］です。

補足
・［スル］に設定しても、登録されている IP アドレスがすべて 000.000.000.000 の場合は、無効となります。

■ [ウケツケ IP アドレスセッテイ]（受け付け IP アドレス設定）*3 （参照 P. 143）

受け付けるIPアドレスを制限する場合に、印刷を受け付けるIPアドレスを登録します。IPアドレスは、10個まで登録できます。登録したIPアドレスには、フィルターアドレスを設定します。IPアドレス、フィルターアドレスは、xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。たとえば、[IPアドレス]：129.249.110.23、[フィルターアドレス]：255.255.255.0と設定した場合、印刷を受け付けるIPアドレスは、129.249.110.*（1～254）です。

[SNTP セッテイ]（SNTP 設定）

SNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して、本機のシステム時計の時刻合わせをする場合に設定します。

■ [NTP サーバー トノ ドウキ](NTP サーバーとの同期)

NTPサーバーと同期して時刻を合わせるか合わせないかを指定します。初期値は［シナイ］です。

■ [セツゾク カンカク]（接続間隔）

NTP サーバーに接続する間隔を1 ～ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。初期値は［168 ジカン］です。

■ [NTP サーバー IP アドレス]

NTP サーバーのIP アドレスを設定します。IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は0 ～ 255 までの数値です。初期値は［000.000.000.000］です。

[HTTP-SSL/TLS ツウシン]（HTTP-SSL/TLS 通信）

SSL/TLSプロトコルを使用して、HTTPの通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機にサーバー証明書が登録されている場合に表示されます。

補足
・HTTP 通信の暗号化、および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP 通信の SSL 暗号化について」(P. 191) を参照してください。

■ [ユウコウ / ムコウ ノ セッテイ]（有効／無効の設定）

[ユウコウ] に設定すると、SSL/TLSプロトコルを使用してHTTP通信を行います。初期値は [ムコウ] です。

■ [ポートバンゴウ]（ポート番号）

ポート番号を1～65535の間で設定します。初期値は [443] です。

補足
・他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[システム セッテイ]（システム設定）

[システム セッテイ] は、警告音、節電モードなど、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[イジョウ ケイコクオン]（異常警告音）

本機に異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は［ナラサナイ］です。音量の調整はできません。

[ソウサパネル セッテイ]（操作パネル設定）*3（参照 P. 143）

■ [ソウサパネル セイゲン]（操作パネル制限）

メニュー操作に、暗証番号による制限をかけるかどうかを設定します。［スル］に設定すると、メニュー操作時に暗証番号の入力が必要になります。初期値は［シナイ］です。

補足

- ［スル］に設定すると、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として 12 桁の数字を、〈▼〉、〈▲〉ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉ボタンで桁を移動できます。
- 暗証番号として、［000000000000］は設定できません。

■ [アンショウバンゴウ セッテイ]（暗証番号設定）

操作パネル制限を設定している場合の暗証番号を変更できます。新しい暗証番号を 12 桁の数字で入力してください。2 回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。

補足

- ［ソウサパネル セイゲン］を［スル］に設定しないと、暗証番号を変更できません。

■ [ニンショウエラー アクセスキョヒ]（認証エラーアクセス拒否）

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。初期値は［シナイ］です。

■ [ニンショウ カイスウ]（認証回数）

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を 1 〜 10 回の間で、1 回単位に設定します。初期値は［5 カイ］です。

補足

- [ニンショウエラー アクセスキョヒ] が［スル］に設定されている場合に表示されます。

[メニュー ジドウカイジョ]（メニュー自動解除）*3（参照 P. 143）

メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を 1 〜 30 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は［シナイ］です。

[テイデンリョク モード]（低電力モード）

低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的にフューザー部の温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

補足

- ［スリープ　モード］の設定が［ムコウ］になっている場合は、［テイデンリョク　モード］を［ムコウ］に設定できません。

参照

- 「2.3 節電モードについて」(P. 43)
- 「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 108)

[テイデンリョク イコウジカン]（低電力移行時間）

低電力モードに移行するまでの時間を 3 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。低電力モードになると、操作パネルのディスプレイが消灯し、〈節電〉ボタンのランプが点灯します。初期値は［3 フンゴ］です。

参照
- 「2.3 節電モードについて」(P. 43)
- 「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 108)

[スリープ モード]

スリープモードは、低電力モードよりもさらに機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

補足
- ［テイデンリョク　モード］の設定が［ムコウ］になっている場合は、［スリープ　モード］を［ムコウ］に設定できません。

参照
- 「2.3 節電モードについて」(P. 43)
- 「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 108)

[スリープモードイコウジカン]（スリープモード移行時間）*3（参照 P. 143）

スリープモードに移行するまでの時間を 8 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。節電モードになると、操作パネルのディスプレイが消灯し、〈節電〉ボタンのランプが点灯します。初期値は［8 フンゴ］です。

参照
- 「2.3 節電モードについて」(P. 43)
- 「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 108)

[ジドウ ジョブリレキ]（自動ジョブ履歴）

処理を行った印刷データに関する情報（ジョブ履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。

[プリント シナイ]（初期値）
ジョブ履歴レポートを自動的に印刷しません。

[プリント スル]
過去に自動で排出されていない印刷データの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点 (50件）で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちの印刷データは記録されません。

[レポート リョウメンプリント]（レポート両面プリント）

レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。初期値は［カタメン］です。

[バナーシート セッテイ]（バナーシート設定）

■ [バナーシート シュツリョク]（バナーシート出力）

バナーシートを出力するかどうかを設定します。出力する場合は、文書の始めに出力するか、終わりに出力するか、または、始めと終わりに出力するかを設定します。初期値は［シュツリョクシナイ］です。

■ [バナーシート トレイ]

バナーシートを出力するトレイを、トレイ 1 ～ 4 から設定します。

[セキュリティープリント ソウサ]（セキュリティープリント操作）

セキュリティープリント機能を使用するかどうかを設定します。

[ユウコウ]（初期値）
セキュリティープリント機能を使用できます。

[ムコウ]
セキュリティープリントを印刷できなくなります。

補足
・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[システムトケイ]（システム時計）*3 （参照 P. 143）

本機のシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦（4 桁、2000 ～ 2099 年の範囲）、24 時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。

■ [ヒヅケ]（日付）

2002 年 01 月 01 日のように、YYYY/MM/DD の形式で設定します。

■ [ジコク]（時刻）

12 時 02 分のように、HH/MM の形式で設定します。

■ [ヒヅケ ヒョウジ キリカエ]（日付表示切り替え）

日付の表示順序を、YYYY/MM/DD（年 / 月 / 日）、MM/DD/YYYY（月 / 日 / 年）、DD/MM/YYYY（日 / 月 / 年）から設定します。

■ [ジコク ヒョウジ キリカエ]（時刻表示切り替え）

時刻表示を、12 時間表示、24 時間表示から設定します。

■ [タイムゾーン]

必要に応じて、タイムゾーンを設定します。

■ [サマータイム セッテイ]、[サマータイム カイシビ]、[サマータイム シュウリョウビ]（サマータイム設定、サマータイム開始日、サマータイム終了日）

必要に応じて、サマータイムについて設定します。

[ドラムジュミョウドウサ]（ドラム寿命動作）

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージ表示後、約 2,000 ページは正常に印刷できます。

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、印刷を停止するかしないかを選択します。

[プリント テイシ スル]（初期値）
ドラム / トナーカートリッジ交換時期のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷は停止されます。

[プリント テイシ シナイ]
ドラムカートリッジ交換時期になっても、すぐに印刷は停止されません。しばらくの間は、継続して使用できます。ただし、交換時期が過ぎても印刷を続けると、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

[ミリ / インチ キリカエ]（ミリ / インチ切り替え）

操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。

初期値は［ミリ (mm)] です。

[データ アンゴウカ]（データ暗号化）

システム内部（ハードディスク）のデータを暗号化するための設定を行います。
[データ アンゴウカ] の設定を変更した場合、ハードディスクが初期化されます。

補足

・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

■[アンゴウカ ショリ]（暗号化処理）

データの暗号化をするかしないかを設定します。初期値は [シナイ] です。暗号化を [スル] に設定した場合は、さらに暗号キーを設定します。

■[アンゴウカ キー]（暗号化キー）

データを暗号化する場合の暗号化キーを数字 12 桁で設定します。
初期値は [000000000000] です。

補足

・ [アンゴウカ キー] は、セキュリティー対策上の必要から、設定を行っても、必ず設定画面には初期値の [000000000000] が表示されます。

[HDD ノ ウワガキ ショウキョ]（HDD の上書き消去）

ハードディスク内のデータを上書き消去してよいかどうか、消去してよい場合の回数を [シナイ]、[1 カイ]（1 回）、[3 カイ]（3 回）で設定します。初期値は [3 カイ] です。

補足

・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

[プリントジョブ ノ オイコシ]

プリントジョブの追い越しを許可するか禁止するかを設定します。初期値は[キンシ]です。

補足

・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

[ソフトウェア ダウンロード]

ソフトウエアダウンロードを許可するか禁止するかを設定します。初期値は[キョカ]です。

[ニンショウ / シュウケイカンリ]（認証 / 集計管理）

本機の使用を許可されたユーザーかどうかを確認（認証）し、認証されたユーザーの印刷枚数などを集計できます。本機に登録されたパスワードで認証する「本体認証」と、ネットワーク上のサーバーなどにある認証情報を使って認証する「ネット認証」があります。また、認証をする場合は、認証情報の保存先、認証失敗の記録について設定します。

補足

・ 本機の認証機能、および必要な設定方法については、「7.7 認証と集計管理機能について」(P. 201) を参照してください。

■ [ニンショウ / シュウケイ ウンヨウ]（認証 / 集計運用）

本体認証またはネット認証をするかしないかを設定します。

[ネットニンショウ / シュウケイ]
ネット認証を行います。

[ホンタイニンショウ / シュウケイ]
本体認証を行います。

[ニンショウ シナイ]（初期値）
認証を行いません。

補足

・［ネットニンショウ / シュウケイ］は、ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

■ [ニンショウジョウホウ セッテイ]（認証情報設定）

[ジョウホウ ホゾンサキ]（情報保存先）

認証情報を NV メモリー（[NVM]）とハードディスク（[HDD]）のどちらに保存するかについて設定します。初期値は［NVM］です。

補足

・ この項目は、［ネットニンショウ／シュウケイ］が設定されている場合に表示されます。

[ニンショウシッパイノ キロク]（認証失敗の記録）

不正なアクセスを検知するために、10 分間に設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート］に認証失敗を記録するかどうかを設定します。初期値は［スル］です。

補足

・ 認証に失敗しても、［エラー履歴レポート］に記録が残るだけで、「［ソウサパネル セッテイ］（操作パネル設定）」(P. 128) のようなアクセス拒否は行われません。

[シッパイ カイスウ]（失敗回数）

[ニンショウシッパイノ キロク］を［スル］に設定している場合、認証失敗を記録する、失敗回数を設定します。初期値は［10 カイ］です。

[ホゾンブンショ セッテイ]（保存文書設定）

蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。

補足
・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [ブンショノ ホゾンキカン]（文書の保存期間）

蓄積文書を一定期間後に削除するかどうかを設定します。

[セッテイ シナイ]（初期値）
保存したままにします。

[セッテイ スル]
一定期間後に削除します。

■ [ホゾンキカン]（保存期間）

保存期間（日数）を設定します。初期値は［7 ニチ］です。

補足
・ この項目は、[ブンショノ ホゾンキカン] が［セッテイ スル］の場合に表示されます。

■ [ケイカゴノ サクジョジコク]（経過後の削除時刻）

文書を削除する時刻を設定します。初期値は午前 3 時（[03:00AM] または [03:00]）です。

■ [セキュリティプリントサクジョ]（セキュリティプリント削除）

セキュリティープリント文書を削除対象にするかどうかを設定します。
初期値は［ムコウ ］（対象にしない）です。

■ [サンプルプリント サクジョ]（サンプルプリント削除）

サンプルプリント文書を削除対象にするかどうかを設定します。初期値は［ムコウ ］（対象にしない）です。

[プリント セッテイ]（プリント設定）

[プリント セッテイ] は、自動トレイ選択や用紙トレイ、メディアプリントについて設定するためのメニューです。

[ヨウシノ オキカエ]（用紙の置き換え）

自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。

[シナイ]（初期値）
置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。

[オオキイサイズヲ センタク]
選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。

[チカイサイズヲ センタク]
選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[テザシトレイ カラ キュウシ]
手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。

補足
・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

[ヨウシシュルイエラー ノ ショリ]（用紙種類エラーの処理）

印刷ジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。

[セッテイヘンコウ ヒョウジ]（初期値）
設定変更を促すメッセージを表示します。

[カクニンガメン ヒョウジ]
用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。

[プリント スル]
メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類で印刷します。

[トレイノ ヨウシシュルイ]（トレイの用紙種類）

用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべてのトレイで [フツウシ] です。ユーザー1～5には、[ヨウシ メイショウ セッテイ]で設定した名称が表示されます。

■ [トレイ 1] ～ [トレイ 4]

[フツウシ]、[サイセイシ]、[ジョウシツシ]、[アツガミ 1]、[ユーザー 1 ～ 5] から選択します。

■ [トレイ 5（テザシ)]

[フツウシ]、[フツウシ ウラ]、[サイセイシ]、[サイセイシ ウラ]、[ジョウシツシ]、[ジョウシツシ ウラ]、[アツガミ 1]、[アツガミ 1 ウラ]、[アツガミ 2]、[アツガミ 2 ウラ]、[OHP フィルム]、[コートシ 1]、[コートシ 1 ウラ]、[コートシ 2]、[コートシ 2 ウラ]、[ラベルシ]、[フウトウ]、[ハガキ]、[ハガキ ウラ]、[ユーザー 1 ～ 5] から選択します。

[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]（用紙の優先順位）

自動トレイ選択によって選択されるトレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。ユーザー１～５には、[ヨウシ メイショウ セッテイ] で指定した名称が表示されます。

■ [フツウシ]、[サイセイシ]、[ジョウシツシ]、[ユーザー１～5]（普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー１～5）

それぞれの用紙種類について、優先順位を [セッテイシナイ]、[1 ～８バンメ] から選択します。異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、[トレイノ ユウセン ジュンイ] によって決定します。[セッテイシナイ] に設定すると、その用紙種類が設定されているトレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙 [1 バンメ]、再生紙 [2 バンメ]、上質紙 [3 バンメ]、それ以外は [セッテイシナイ] です。

参照
・「自動トレイ選択について」(P. 104)

[トレイノ ユウセン ジュンイ]（トレイの優先順位）

自動トレイ選択によって選択されるトレイの優先順位を設定します。手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。

補足
・ この項目は、オプションのトレイが取り付けられている場合に表示されます。

■ [1 バンメ] ～ [3 バンメ]（1 番め～３番め）

[1 バンメ] ～ [3 バンメ] に任意のトレイを設定します。各優先順位に同じトレイは設定できません。[2 バンメ] が設定できるトレイは、[1 バンメ] で設定したトレイ以外で、[3 バンメ] が設定できるトレイは、[1 バンメ] と [2 バンメ] で設定したトレイ以外になります。残りのトレイが優先順位４になります。初期値の優先順位はトレイ１～４の順番です。

[ヨウシノ ガシツ ショリ]（用紙の画質処理）

[ユーザー１～5] に対する画質処理を、[B]（普通紙）、[C]（再生紙）、[A]（上質紙）から設定します。

たとえば、青色の普通紙を使用する場合、[ヨウシ メイショウ セッテイ] で [ユーザー 1] の名称を [フツウシ Blue] と設定し、[フツウシ Blue] の [ヨウシノ ガシツ ショリ] を [B] に設定します。

このように設定しておくと、[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] で普通紙が最優先で給紙される設定になっていても、青色の普通紙は給紙されません。[ヨウシノ ユウセン ジュンイ] の [フツウシ Blue]（ユーザー 1）に設定されている優先順位で給紙されます。

[ヨウシ メイショウ セッテイ]（用紙名称設定）

[ヨウシノ ユウセン ジュンイ]、[トレイノ ヨウシシュルイ]、[ヨウシノ ガシツ ショリ] などに表示されるユーザー１～５を、任意の名称に変更できます。

■ [ユーザー１～5] *5 の No.1 ～４の文字使用可（参照 P. 143）

英数 / 半角カタカナ文字を使って、１～８文字の間で設定します。

[ID インジ キノウ]（ID 印字機能）

特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。ユーザー ID を印刷する位置は、[ヒダリウエ]、[ミギウエ]、[ヒダリシタ]、[ミギシタ] の中から選択できます。

初期値は [シナイ] です。

[キスウページ ノ リョウメン]（奇数ページの両面）

枚数が奇数ページの文書を印刷する場合に、最初のページを片面印刷にするか両面印刷にするかを設定します。初期値は [カタメン] です。

[ミトウロクフォームヘノ インジ]（未登録フォームへの印字）

印刷時に指定されたフォームが未登録だった場合に、印刷を中止するか、データのみ印刷するかを設定します。

初期値は［スル（データ ノミ）］です。

[キホン ノ ヨウシ サイズ]（基本の用紙サイズ）

各プリントモードの［ヨウシ サイズ］の初期値を［A4］または［8.5×11"］に切り替えることができます。

初期値は［A4］です。

[サイズ ケンチ キリカエ]（サイズ検知切り替え）

トレイ 1 〜 4 から、用紙サイズを自動検知するときの、サイズ検知モードを設定します。

使用する国に合わせて、[AB ケイ]、[AB ケイ（8 カイ / 16 カイ)]、[AB ケイ（8 x 13 / 8x14)]、[インチ ケイ]、[AB ケイ（8x13")］の中から選択します。日本国内で使用する場合は、[AB ケイ]（初期値）に設定します。

自動検知できるサイズの組み合わせについては、次の表を参考にしてください。

補足
・ 自動検知できるサイズの用紙でも、お使いの機種によって使用できない場合があります。本機で使用できる用紙のサイズは、「使用できる用紙」(P. 94) を参照してください。

	AB 系 (8x13")	AB 系	AB 系 (八開 / 十六開)	AB 系 (8x13/8x14)	インチ系
A5	○	○	○	○	○
A4	○	○	○	○	○
B5	○	○	○	○	○
8.5x14"（Legal）	○	○	○	○	○
8.5x13"（Folio）	○	○	○	○	○
8.5x11"（Letter）	○	○	○	○	○
7.25x10.5"（Executive）	○	×	○	○	○

[メディア プリント]

メディアプリント機能に関する設定をします。

補足
・ この項目は、メディアプリントキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [デジカメ プリント]

デジカメプリントの設定をします。ここで設定した項目が、メディアプリントのデジカメプリントメニューに、初期値として表示されます。

補足
・ 設定項目の詳細については「デジカメプリントをする」(P. 80) を参照してください。

■ [ブンショ プリント]（文書プリント）

文書プリントの設定をします。

補足
・ 設定項目の詳細については「ドキュメントプリントをする」(P. 88) を参照してください。

［メモリー セッテイ］（メモリー設定）*3（参照 P. 143）

［メモリー セッテイ］は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更などを行うためのメニューです。

本機では、下表の用途にメモリーが割り当てられます。なお、オプション品の装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準構成時	エミュレーションキット装着時	PostScript ソフトウエアキット装着時
PS 使用メモリー	×	×	○
ART EX フォームメモリー	△	△	△
ART IV フォームメモリー	△	△	△
ART IV ユーザー定義メモリー	○	○	○
HPGL オートレイアウトメモリー	×	△	△
受信バッファ容量	○	○	○
プリントページバッファ	○	○	○

○ ：設定可
× ：設定不可
△ ：ハードディスク（オプション）装着時は設定不可

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレル、USB-1（1.1）、USB-2（2.0）ポートは自動的に停止することはありません。

補足

- メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- プリントページバッファは、実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。
  解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。
  実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、［機能設定リスト］で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。

[PS シヨウ メモリー]（PS 使用メモリー）

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

16.00 ～ 96.00MB の間で、0.25MB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［24.00M］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足

・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ART EX フォームメモリー]

ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。

128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は、［128K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

注記

・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

[ART 4 フォームメモリー]

ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。

128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［128K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

注記

・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

[ART4 ユーザテイギメモリー]（ART4 ユーザー定義メモリー）

ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。

32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［32K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

注記

・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

[HPGL オートレイアウトメモリー]

HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。

64 ～ 5120KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［64K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

補足

・ この項目は、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ジュシンバッファ ヨウリョウ]（受信バッファ容量）

インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。LPD、SMB、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。

受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足
- ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。
- コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。

■[パラレル メモリー]、[NetWare メモリー]、[IPP メモリー]、[USB-1（1.1）メモリー]、[USB-2（2 .0）メモリー]、[Port9100 メモリー]

64 ～ 1024KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレル、USB-1（1.1）、USB-2（2.0）は［64K］、そのほかは［256K］です。

補足
- [IPP メモリー］は、ハードディスク（オプション）が取り付けられていないときに表示されます。ハードディスクが取り付けられている場合は、[IPP スプール］が表示されます。

■[EtherTalk メモリー]

1024 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［1024K］です。

補足
- [EtherTalk メモリー］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■[LPD スプール]、[SMB スプール]

[スプール シナイ］（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの LPD、SMB の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。

LPD の場合は、LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ～ 2048KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［1024K］です。

SMB の場合は、SMB 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［256K］です。

[ハードディスクスプール]
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[メモリースプール]
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。

この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5 ～ 32.00MB の間で 0.25MB 単位に設定します。初期値は［1.00M］です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、[ハードディスクスプール]、または［スプール シナイ］を選択してください。

注記
- Windows 2000 で、LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。
  この場合には、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックス→［ポート］タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。

■[IPP スプール]

[スプール シナイ]（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの IPP の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。

IPP 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 〜 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［256K］です。

[ハードディスクスプール]
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

補足
・[IPP スプール]は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。ハードディスク（オプション）が取り付けられていないときは、[IPP メモリー]が表示されます。

[ガシツ ホセイ]（画質補正）

[ガシツ ホセイ] は、印刷画質が悪いときに調整するためのメニューです。

[カラーレジ ホセイ]（カラーレジ補正）

本機を移動したときやドラムカートリッジなどの消耗品を交換したあとで、色版がずれて印刷された場合は、カラーレジ補正チャートを印刷し、本機のカラーレジを補正します。

■[カラーレジ ホセイ チャート]（カラーレジ補正チャート）

カラーレジ補正チャートを印刷し、イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）の版がずれていないかを確認し、補正値を読み取ります。

■[シュソウサ ホウコウ ホセイ]（主走査方向補正）

補正値を設定します。

参照
・「7.8 カラーレジを補正する」(P. 206)

[BTR チョウセイ]（BTR 調整）

画像の一部が白点になる、画像周辺にトナーが飛び散る、画像全体が青みがかかっている、といった症状が頻繁に発生する場合は、転写電圧の設定を調整します。

■[フツウシ]、[ジョウシツシ]、[OHP フィルム]、[アツガミ 1]、[アツガミ 2]、[ラベルシ]、[コートシ 1]、[コートシ 2]、[フウトウ]、[ハガキ]

-20 〜 30 までの値で、1 単位に指定できます。初期値は［0］です。

[フューザー チョウセイ]（フューザー調整）

トナーがすぐにはがれる、文字や画像が約 80mm ずれたところに二重に印字される、といった症状が頻繁に発生する場合は、フューザーの定着温度の設定を調整します。

■[フツウシ]、[ジョウシツシ]、[OHP フィルム]、[アツガミ 1]、[アツガミ 2]、[ラベルシ]、[コートシ 1]、[コートシ 2]、[フウトウ]、[ハガキ]

-4 〜 2 までの値で、1 単位に設定できます。初期値は［0］です。

[ショキカ / データサクジョ]（初期化 / データ削除）

[ショキカ / データサクジョ] は、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除するためのメニューです。

補足
・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。

[NV メモリー ショキカ]（NV メモリー初期化）

NV メモリーを初期化します。NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。

NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

[ハードディスク ショキカ]（ハードディスク初期化）

ハードディスクを初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダー、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書です。セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントの各ログは、消去されません。

補足
・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[データ イッカツ サクジョ]（データ一括削除）

NV メモリー、ハードディスク（装着時）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

また、ハードディスクを初期化すると、追加フォント、201H、ART EX、ART IV、HP-GL、HP-GL/2、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダー、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントの各ログは、消去されません。

注記
・ ハードディスクが装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。

[シュウケイ レポート ショキカ]（集計レポート初期化）

集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。

参照
・「プリンター集計のデータを初期化する」(P. 200)

[キノウベツカウンター ショキカ]（機能別カウンター初期化）

機能別カウンターを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。

参照
・「プリンター集計のデータを初期化する」(P. 200)

[フォームノ サクジョ]（フォームの削除）

登録されているフォームがない場合は、[フォームトウロク ハ アリマセン] と表示されます。

■[ART EX フォーム サクジョ]（ART EX フォーム削除）
ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。

■[ART4 フォーム サクジョ]（ART4 フォーム削除）
ART IV 用フォームを削除します。

■[201H フォーム サクジョ]（201H フォーム削除）
エミュレーションの 201H 用フォームを削除します。

補足
- この項目は、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■[ESC/P フォーム サクジョ]（ESC/P フォーム削除）
エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。

■[PCL フォーム サクジョ]（PCL フォーム削除）
エミュレーションの PCL 用フォームを削除します。

補足
- この項目は、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[フォント サクジョ]（フォント削除）

登録されているフォントがない場合は、[フォントトウロク ハ アリマセン] と表示されます。

補足
- この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■[PCL フォント サクジョ]（PCL フォント削除）
エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。

[セキュリティブンショサクジョ]（セキュリティ文書削除）

セキュリティープリントとして蓄積されている文書を削除します。文書がない場合は、[ブンショ ハ アリマセン] と表示されます。

補足
- この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[エンジン クリーニング]

プリンター内部のクリーニングができます。

注記
- クリーニングを実行するときは、他のメニュー項目を同時に変更しないでください。
- クリーニングが開始して [ジュンビチュウ デス] と表示されているときは、メニューを変更したり電源を切ったりしないでください。

■[ヒョウジュン クリーニング]（標準クリーニング)
プリンターエンジンのクリーニングをします。
トナーの色が混じって印刷される場合に使用します。

[ゲンゴ キリカエ]（言語切り替え）

操作パネルの表示言語を、[ニホンゴ]、[English]から選択します。初期値は［ニホンゴ］です。

*1　［ジドウ］設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

*2
- ［ユウコウ］の設定時、プリントモード指定が［HexDump］に設定されている場合、PJL コマンドも［HexDump］で出力されます。
- PJL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*3　〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

*4　ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count	ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16 進数表記コード	印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。
ASCII コード	印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD と印刷されます。

*5　文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	ｱｧｲｨｳｩｴｪｵｫｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔｬﾕｭﾖｮﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝｰﾞ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#$%&'()*+,-./:;〈=〉?@［¥］^_`
6	ESC/P 拡張子文字（このメニューは常に 1 文字間隔のスクロールとする	!"#$%&'()*+,-./0123456789:;〈=〉?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ［¥］^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

6　困ったときには

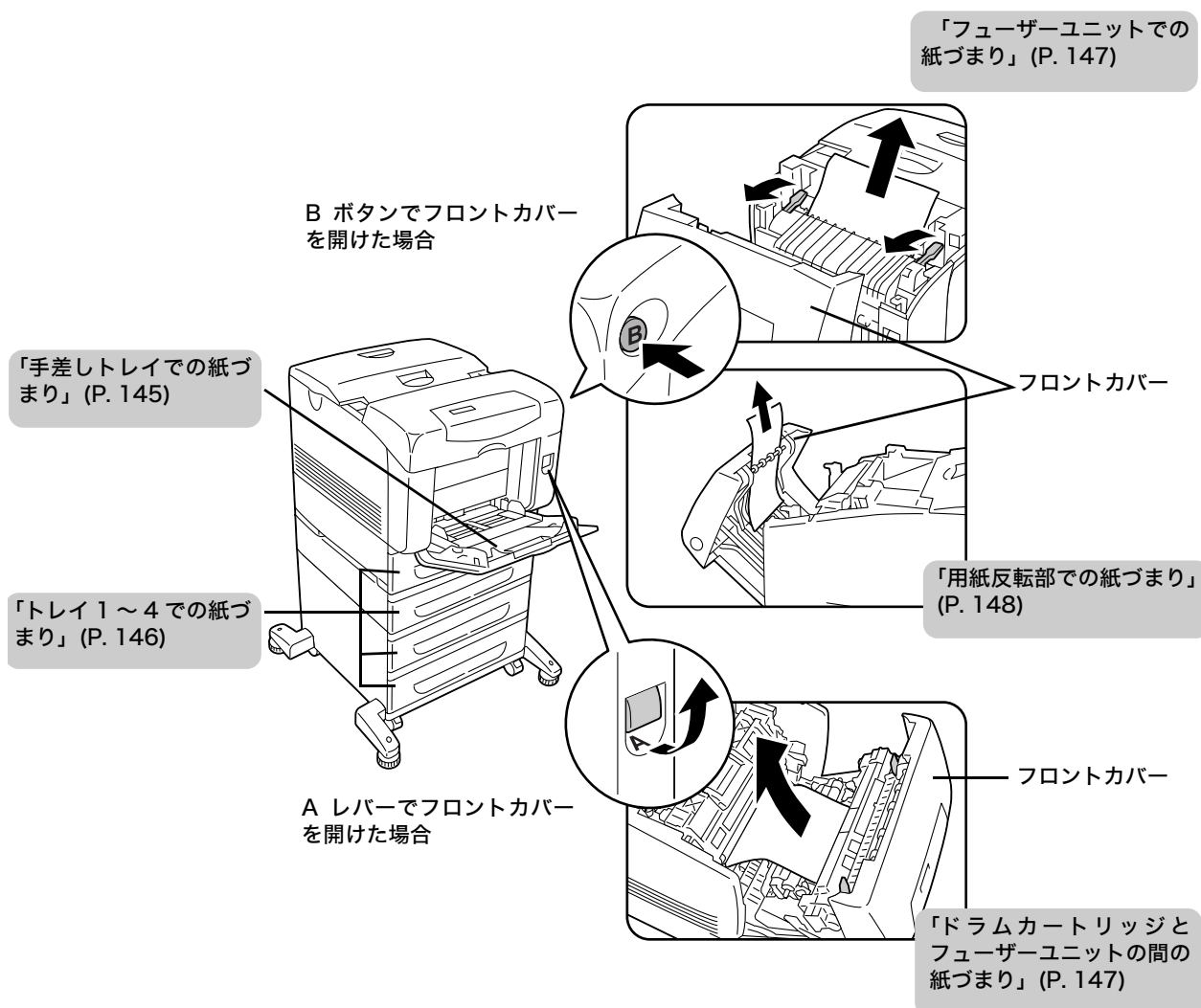
プリンターの使用中にトラブルが発生し、どのように対処したらよいかわからないときには、まず、以降の症状の中に該当するものがないかを探してください。

該当する項目があったら、「処置」の説明を参照して対処してください。

該当する項目がない、または該当する処置をしても改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

6.1　紙づまりの処置

操作パネルのメッセージに従って、カバーを開けたら、紙づまりの位置を確認します。

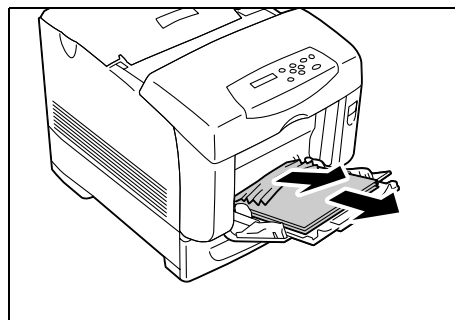
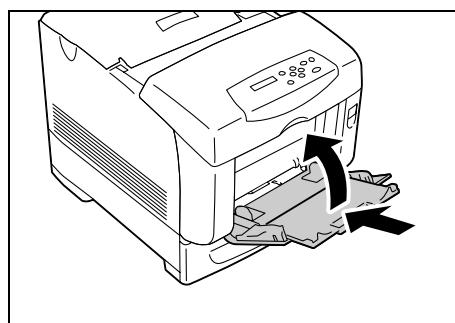
そのあと、次ページから説明している各位置の対処方法を参照して、用紙を取り除いてください。

■ 長尺紙が詰まったときには

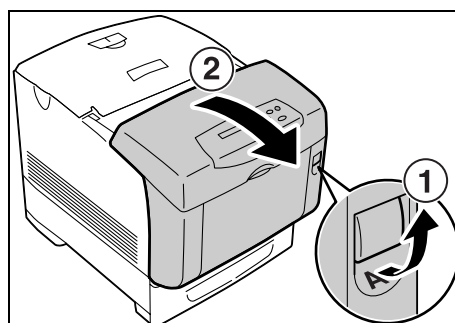
長尺紙 (長さ 355.7mm 以上) がプリンター内部で詰まったときは､必要に応じて長尺紙をカットし、詰まった箇所に適した方法で取り除いてください。フロントカバーが開けにくいときは、無理をしないで、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

⚠ 注意

- つまった用紙を取り除くときは､機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお､紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り､お買い求めの販売店、またはサービス窓口に連絡してください。
- 「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

手差しトレイでの紙づまり

1. 手差しトレイから詰まっている用紙を引き抜きます。

2. 手差しトレイにある残りの用紙を取り除き、いったん手差しトレイを閉じます。

3. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。内部に破れた紙片が残っていないかを確認します。

4. フロントカバーを閉じます。

トレイ１～４での紙づまり

1. トレイをゆっくりと引き出し、プリンターから取り外します。オプションのトレイが取り付けられている場合は、詰まっている用紙が見つかるまで、下から順にトレイを引き抜きます。

注記

・トレイにセットされた用紙は、トレイの手前側を経由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下のトレイから順に抜き出さないと上段のトレイが抜き出せないことがあります。

2. 詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。

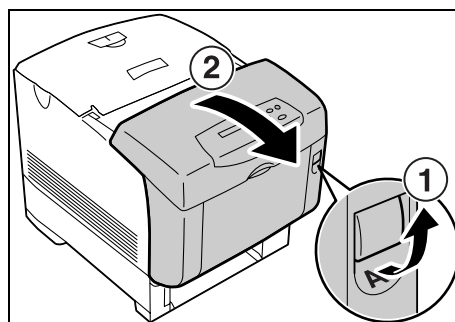
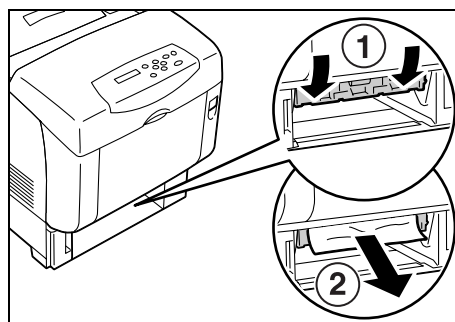
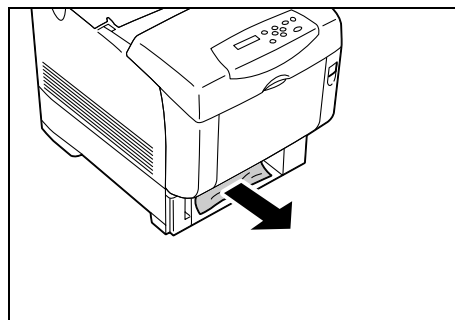
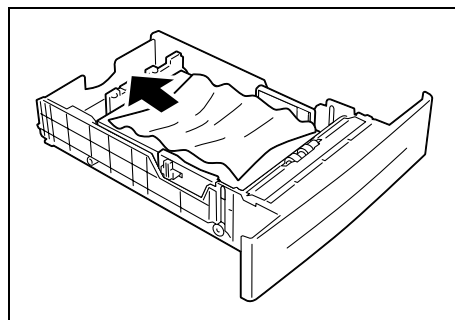
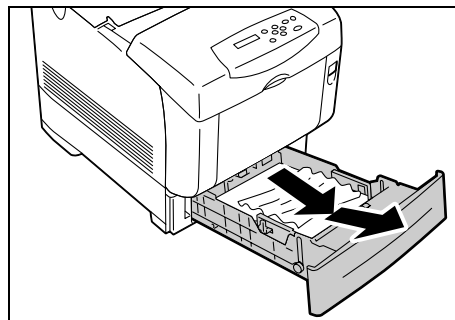
3. プリンター内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。

4. 詰まっている用紙が見つからない場合は、トレイがセットされていた開口部の上部にある２か所の▽マークの奥のくぼみを指で押して緑色のカバーを下ろし、詰まっている用紙を引き出します。

5. 緑色のカバーを上に押し上げて、元に戻します。

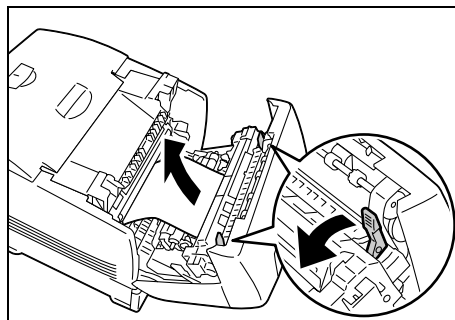
6. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。内部に破れた紙片が残っていないかを確認します。

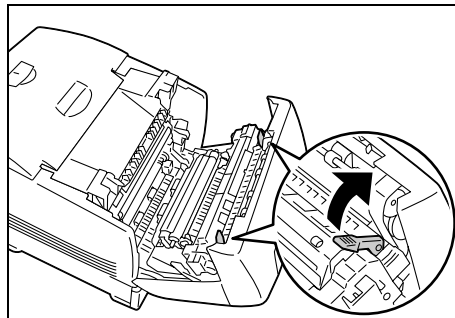
7. フロントカバーを閉じます。

8. トレイをプリンターの奥までしっかり押し込みます。

ドラムカートリッジとフューザーユニットの間の紙づまり

1. フューザーユニットの両端にあるレバーを押し下げ、詰まっている用紙を取り除きます。用紙が破れた場合は、プリンター内部に残っている用紙も取り除きます。

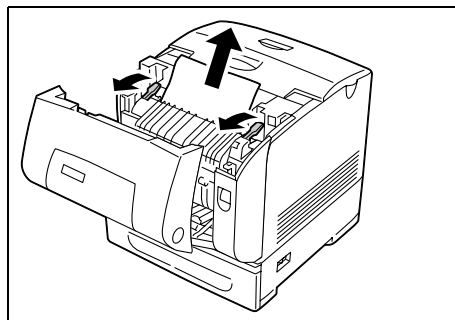
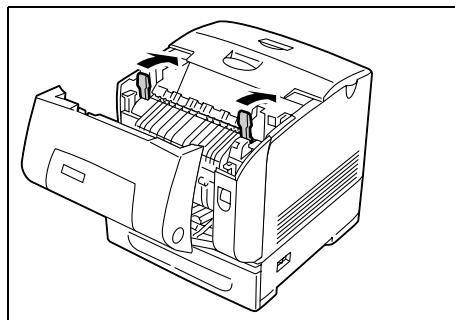
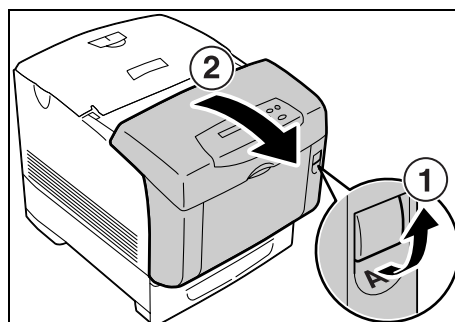
注記

・フューザー部は高温なので触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

2. フューザーユニットの両端にあるレバーを元に戻します。

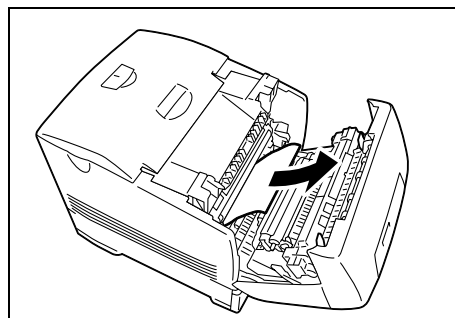
3. フロントカバーを閉じます。

フューザーユニットでの紙づまり

1. フューザーユニットの両端にあるレバーを押し上げて、詰まっている用紙を取り除きます。用紙が破れた場合は、プリンター内部に残っている用紙も取り除きます。

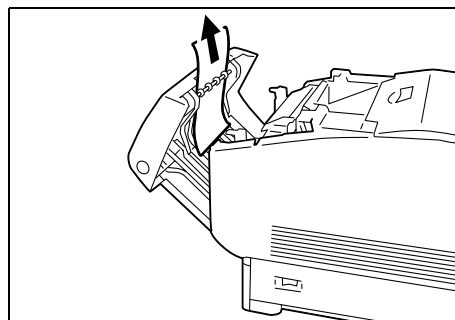
注記

・詰まっている用紙の一部しか見えていない場合は、取り除くことが難しいので、フロントカバーをいったん閉じます。
  次に、A レバーを引いてフロントカバーを開け、「ドラムカートリッジとフューザーユニットの間の紙づまり」(P. 147) の方法を試してください。
・フューザー部は高温なので触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

2. フューザーユニットの両端にあるレバーを元に戻し、フロントカバーを閉じます。

3. 次に、A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。

4. 詰まっている用紙が見える場合は、取り除き、手順 5 に進みます。
   詰まっている用紙が見えない場合は、フロントカバーを閉じます。以降の手順は不要です。

5. フロントカバーを閉じます。

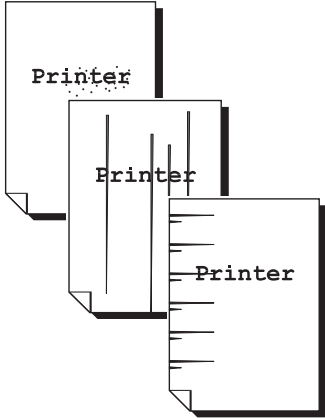
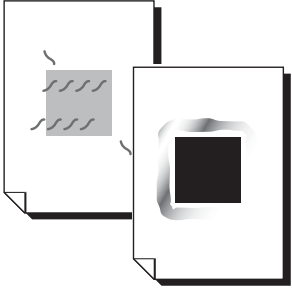
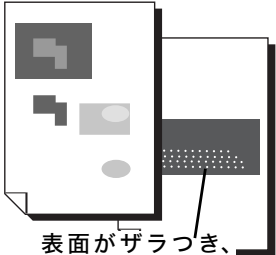
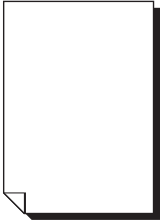
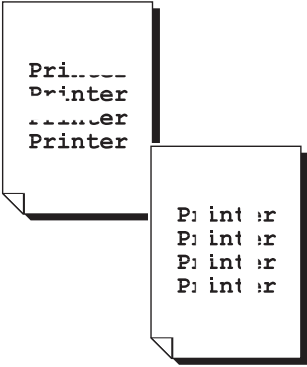
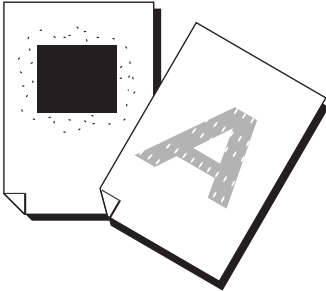
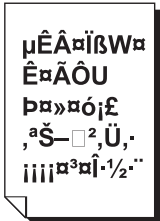
6. フューザー部で紙が詰まった場合は、すでにトレイから次の用紙が送られていることがあります。「トレイ 1 ～ 4 での紙づまり」(P. 146) に従って、プリンター内部に用紙が残っていないかを確認してください。

用紙反転部での紙づまり

1. 詰まっている用紙を取り除きます。 用紙が破れた場合は、プリンター内部に残っている用紙も取り除きます。

2. フロントカバーを閉じます。

6.2 電源、異常音など、機械本体のトラブル

⚠ 警告
- ネジで固定されているパネルやカバーなどは、マニュアルで指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

症状	原因 / 処置
電源が入らない	プリンターの電源が切れていませんか？ 電源スイッチの〈｜〉側を押して、電源を入れてください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ プリンターの電源を切り、電源コードを電源コンセントとプリンターに差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。
	正しい電圧のコンセントに接続していますか？ プリンターは、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。
パネルに何も表示されない	節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの〈節電〉ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直します。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
異常な音がする	プリンターの設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。
	トレイが外れていませんか？ トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	本機内に異物が入っていませんか？ 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
プリンター内部に結露が発生した	操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 1 時間以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。 参照 ・「[システム セッテイ]（システム設定）」(P. 128)

6.3 印刷が正しくできないトラブル

補足
・ 印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、［ジョブ履歴レポート］に保存されます。印刷処理がされていない場合は、［ジョブ履歴レポート］を印刷して、印刷処理状況を確認してください。［ジョブ履歴レポート］の印刷方法については、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 184) を参照してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

症状	原因 / 処置
〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？ 操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
印刷を指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？ 電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	操作パネルに［オフライン］またはメニュー画面が表示されていませんか？ 本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっています。表示状態に応じて、処置してください。 ・［オフライン］ 〈オンライン〉ボタンを押して、オフライン状態を解除します。 ・ その他 〈メニュー〉ボタンを押して、メニューを設定している状態を解除します。
	使用するプロトコルの設定が正しくされていますか？ 使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルの設定が正しくされているかを確認してください。 参照 ・「［ネットワーク / ポート セッテイ］（ネットワーク / ポート設定）」(P. 114) ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？ プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。印刷の中止、または残っているデータの強制排出をします。 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、印刷を中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、〈排出 / セット〉ボタンを押してください。中止および排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。 補足 ・ パラレル /USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〈排出 / セット〉ボタンを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとに印刷されます。またそのとき、正常に印刷されないことがあります。

症状	原因 / 処置
印刷できない	パラレルケーブルで接続している場合、コンピューターは双方向通信に対応していますか？ 工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、［ユウコウ］になっています。コンピューターが双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を［ムコウ］にしてから印刷してください。 参照 ・「[パラレル]」(P. 114)
	ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。 参照 ・「IP アドレスを設定する」(P. 28) ・「IP アドレスによる受信制限」(P. 196)
	1 回の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている可能性があります。 受信バッファの設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 1 つの印刷ファイルでメモリーの上限を超えてしまう場合には、印刷ファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示します。 印刷するデータファイルが複数ある場合には、1 回に印刷するファイルの量を減らして印刷してください。
印刷に時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書を印刷するときは、操作パネルの［メモリーセッテイ］で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。 参照 ・「[メモリー セッテイ]（メモリー設定)」(P. 137)
	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［高精細］が選択されていませんか？［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、印刷にかかる時間を短縮できることがあります。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	TrueType® フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
印刷を指示していないのに、［プリントシテイマス］が表示される（パラレル /USB インターフェイス使用時）	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？ 〈プリント中止〉ボタンを押して、印刷を中止します。 補足 ・ 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が 欠ける 思った位置に印刷されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 99)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

6.4 印字品質や画質のトラブル

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因 / 処置</th></tr>
<tr><td rowspan="6">印刷がうすい
（かすれる、不鮮明）</td><td>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</td></tr>
<tr><td>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。

参照
・「使用できる用紙」(P. 94)</td></tr>
<tr><td>ドラムカートリッジまたは転写ロールカートリッジが劣化、損傷しています。各カートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。</td></tr>
<tr><td>トナーセーブ機能が有効になっていませんか？
プリンタードライバーの［詳細設定］タブで、トナーセーブのチェックを外してください。

参照
・ プリンタードライバーのヘルプ</td></tr>
<tr><td>もっと濃く印刷したい場合は、印刷時にプリンタードライバーで［グラフィックス］タブ→［画質調整］または［カラーバランス］を選択し、各設定を変更して印刷してみてください。

参照
・ プリンタードライバーのヘルプ</td></tr>
<tr><td>別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">色点や色線が印刷される
等間隔に汚れが起きる</td><td>用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚印刷してください。</td></tr>
<tr><td>ドラムカートリッジまたは転写ロールカートリッジが劣化、または損傷しています。各カートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。
また、フューザーユニットが劣化、または損傷している可能性もあります。この場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>約 30mm 間隔で色点が印刷される</td><td>等間隔（約 30mm）に同じ色点が印刷される場合は、ドラムカートリッジが汚れています。ドラムカートリッジを清掃してください。

参照
・「ドラムカートリッジを清掃する」(P. 215)</td></tr>
</table>

症状	原因 / 処置
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される 黒ベタの周りに影のようなものが印刷される 	開封したまま長時間放置した用紙を使っている可能性があります（特に湿度が低い場合)。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	転写ロールカートリッジが劣化、または損傷しています。転写ロールカートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。
文字のふちの色がずれて印刷される 	カラーレジのずれが生じています。カラーレジを補正してください。 参照 ・「7.8 カラーレジを補正する」(P. 206)
トナーが定着しない 指でこするとかすれる 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	PostScript プリンタードライバーで [印刷モード] を [光沢] に設定して、普通紙や再生紙に印刷していることが考えられます。 普通紙や再生紙以外の用紙（上質紙、厚紙 1、厚紙 2、コート紙 1、コート紙 2 など）を使用してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
文字や画像が約 80mm ずれたところに二重に印刷される 光沢がない 	フューザーの定着温度が適切でない可能性があります。 操作パネルで、フューザー温度を調節してください。 参照 ・「7.10 フューザー温度を調整する」(P. 210)

症状	原因 / 処置
トナーの色が混じって汚い	色の異なるトナーが混じって印刷される場合には、現像器が汚れている可能性もあります。 操作パネルからエンジンクリーニングを実施してください。 参照 ・「[エンジン クリーニング]」(P. 142)
用紙全体がぬりつぶされて印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	ドラムカートリッジまたは転写ロールカートリッジが劣化、または損傷しています。各カートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。
白抜けや白筋が出る	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	ドラムカートリッジや転写ロールカートリッジが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。
	ドラムカートリッジまたは転写ロールカートリッジが劣化、または損傷しています。各カートリッジの状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。 また、フューザーユニットが劣化、または損傷している可能性もあります。この場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
画像の一部が抜けて白点になる 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている	転写電圧の設定が適切でない可能性があります。 操作パネルで電圧を調整してください。 参照 ・「7.9 転写電圧を調整する」(P. 209)
	別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。

症状	原因 / 処置
文字がにじむ Printer Printer Printer Printer	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	プリンター内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 1 時間以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。 参照 ・「[システム セッテイ]（システム設定)」(P. 128)
文字化けする 画面表示と印刷結果が一致しない µÊÂ¤ÏßW¤ Ê¤ÃÔU Þ¤»¤ó¡£ ,ªŠ–□²,Ü,· ¡¡¡¤³¤Î·½·¨	本機に標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。アプリケーションで使用しているフォントを確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、必要なフォントをダウンロードしてください。
	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
斜めに印刷される Printer Printer Printer	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 99)
写真などがぼやける	元画像がぼやけていませんか？ 元画像のシャープネスを調整してから印刷してください。 元画像を調整できない場合は、プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［詳細項目］で［シャープネス調整］を設定し、印刷してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
カラー文書なのに白黒で印刷される	印刷時にプリンタードライバーの［基本］タブで［カラーモード］が［白黒］になっていませんか？ ［カラーモード］を［カラー（自動判別)］に設定してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

症状	原因 / 処置
OHP フィルム / はがき / 封筒にきれいに印刷されない	本機で使用できない種類の OHP フィルム、はがき、封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 ・「[トレイノ ヨウシシュルイ]（トレイの用紙種類）」(P. 134) ・ プリンタードライバーのヘルプ
	プリンタードライバーで、トナーセーブ機能が有効になっていたり、解像度が低く設定されています。プリンタードライバーの［詳細設定］タブで、設定を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

6.5 用紙トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。
	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、OHP フィルム、はがき、封筒などを手差しトレイにセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 94)
	用紙トレイが外れていませんか？ トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターは水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 99)
	用紙の継ぎ足しをしています。トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイ 1 ～ 4 から用紙トレイが正しく選択されない	用紙トレイを引き抜いた状態で本機の電源をいれませんでしたか？ その場合、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。電源を切 / 入してください。
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブ→［用紙トレイ選択］を［自動］にしていませんか。手差しトレイは自動トレイ選択の対象ではありません。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

6.6 主なメッセージとエラーコード

主なメッセージ（50 音順）

操作パネルに表示される主なメッセージについて説明します。***-*** といったエラーコードが表示されている場合は、「エラーコード」(P. 164) を参照してください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
HDD ファイル フリョウ [セット] キーデショキカシマス	ハードディスク（オプション）を取り付けている場合で、機械の使用中に停電などでいったん電源が切られたために、ハードディスク内のデータが壊れたことが考えられます。 操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押してください。ハードディスクが初期化されます。 **注記** ・ ハードディスクを初期化すると、登録したフォームやロゴ、セキュリティープリントのデータなどが消去されます。 また、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合は、PostScript のダウンロードフォントも消去されます。
PostScript ショキカ チュウデス	PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に、本機のシステム状態を初期化しています。電源スイッチを入れたときやシステムリセット時に表示されます。
xxxx.xxxx プリント シテイマス トレイ *	セキュリティープリントのジョブを印刷しています。コンピューターからの印刷データを受信できます。
xxxx プリント シテイマス トレイ *	レポート / リストを印刷しています。 補足 ・ レポート / リストを印刷中は、コンピューターからの印刷データを受信できません。
エラー シュウリョウ シマシタ (***-***)	エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。 ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 参照 ・「エラーコード」(P. 164)
オフライン オフライン データ アリ	〈オンライン〉ボタンを押したために、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〈オンライン〉ボタンを押してください。 補足 ・ オフライン状態のときは、コンピューターからの印刷データは受信できません。
オマチクダサイ	システム状態を診断 / 初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、[プリントデキマス] のメッセージに変わります。 また、本機内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウオームアップ中です。 このとき、コンピューターからの印刷データは受信できません。
ガシツチョウセイセンサー ヲ クリーニング シテクダサイ	画質調整センサーが汚れています。清掃してください。 参照 ・「画質調整センサーを清掃する」(P. 213)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
カミヅマリデス A ヲ ヒキ カバーヲアケ ヨウシジョキョ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 A レバーを引いてフロントカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 144)
カミヅマリデス A マタハ B デ カバーヲアケ ヨウシジョキョ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 A レバーまたは B ボタンを使ってフロントカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 144)
カミヅマリデス B ヲ オシテ カバーヲアケ ヨウシジョキョ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 B ボタンを押してフロントカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 144)
コウカンジキ ***-*** セツメイショ ヲ カクニン	部品の交換時期になりました。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
シバラク オマチクダサイ xxxx	内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。印刷待ちのジョブがある場合は、xxxx にポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
スベテ ノ データ ヲ チュウシ シテイマス	内部に残っている印刷データを破棄中です。 このとき、コンピューターからの印刷データは受信できません。
スベテ ノ データ ヲ ハイシュツ シテイマス トレイ *	内部に残っている印刷データを強制排出中です。このとき、コンピューターからの印刷データは受信できません。
スベテノ トレイヲ ヒキダシ オクリカケノ ヨウシヲジョキョ ↓↑ ジョキョシタアト A マタハ B デ カバーヲ アケテ トジル	用紙トレイで紙づまりが発生しています。 用紙トレイをすべて引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、A レバーまたは B ボタンを使ってフロントカバーを開け閉めしてください。カバーを開け閉めすると、エラーが解除されます。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 144)
ソウニュウサレタ メディアハ コショウ シテイマス	メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。 コンピューターでメディアに記録されている内容を確認してください。
チクセキ シテイマス xxxx HDD	セキュリティー / 時刻指定プリントの印刷ジョブを蓄積しています。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
チュウシ シテイマス xxxx トレイ *	印刷中のデータを破棄しています。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
データ マチデス xxxx	印刷データを待っている状態です。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
テザシ ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx ↓↑ テザシ ニ ヨウシヲ ホキュウ XXXX	手差しトレイのサイズと方向がxxxxで、用紙種類がXXXXの用紙は、用紙切れです。 手差しトレイに、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 99)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
テザシ ノ ヨウシヲ カクニン xxxx ↓↑ テザシ ノ ヨウシヲ カクニン XXXX	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 手差しトレイにサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットしてください。また、本機で使用できない白枠付きの OHP フィルムをセットしている場合も、このメッセージが表示されます。適切な OHP フィルムをセットしてください。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 99)
テザシヲ カクニンシ［セット］ xxxx　XXXX	エミュレーションモードで［テザシ カクニンマチ］を指定して、印刷を指示しています。 手差しトレイにサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙がセットされていることを確認してください。そのあと、操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押すと、印刷が開始されます。
デンゲンヲ オフ - オン シテクダサイ (***-***)	エラーが発生しました。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「***-***」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
テンシャロールカートリッジヲ コウカン シテクダサイ	転写ロールカートリッジの交換時期です。 新しい転写ロールカートリッジに交換してください。 参照 ・「転写ロールカートリッジを交換する」(P. 182)
テンシャロールカートリッジヲ セットシテクダサイ	転写ロールカートリッジがセットされていません。 転写ロールカートリッジをセットしてください。 参照 ・「転写ロールカートリッジを交換する」(P. 182)
トナー カートリッジ ヲ コウカン シテクダサイ：X (X：K、C、M、Y のいずれか 1 つ、または複数が表示)	X のトナーカートリッジのトナーがなくなりました。 表示されたトナーカートリッジを新しいものに交換してください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 177)
トナー カートリッジ ヲ セット シテクダサイ：X (X：K、C、M、Y のいずれか 1 つ、または複数が表示)	X のトナーカートリッジがセットされていません。 X のトナーカートリッジをセットしてください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 177)
トナー ノ テープ ヲ ハガシテ クダサイ：X (X：K、C、M、Y のいずれか 1 つ、または複数が表示)	X のトナーカートリッジのトナーシールがついたままです。 表示されたトナーカートリッジからトナーシールをまっすぐ上に引き抜いて取り外してください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 177)
ドラム カートリッジ ヲ コウカン シテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジに交換してください。このメッセージは、操作パネルの［システム セッテイ］＞［ドラムジュミョウソウサ］が［プリント テイシ スル］に設定されている場合に表示されます。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 179)
ドラム カートリッジ ヲ セット シテクダサイ	ドラムカートリッジがセットされていません。または、本機に適したドラムカートリッジではありません。 本機に適したドラムカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 179) ・「消耗品の種類と購入について」(P. 175)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
トレイ *(ユウセン) ニ セット xxxx ↓ ↑ トレイ *(ユウセン) ニ セット XXXX	用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 ・「トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 101)
トレイ * ノ ヨウシ コトナリマス XXXX ↓ ↑ [セット] デ ヘンコウ / インサツ [チュウシ] デ キャンセル	指定した用紙種類の用紙がセットされたトレイがありません。トレイ * に、指定した用紙種類の用紙をセット後、操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押すと、トレイの設定を変更して印刷できます。印刷を中止する場合は、〈プリント中止〉ボタンを押します。
トレイ * ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx ↓ ↑ トレイ * ニ ヨウシヲ ホキュウ XXXX	用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。または、印刷時に指示された用紙を機械がトレイの中から検知できませんでした。 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 ・「トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 101)
トレイ * ノ ヨウシヲ カクニン xxxx XXXX ↓ ↑ トレイ * ノ ヨウシヲ カクニン XXXX	用紙トレイ * に正しい用紙がセットされていません。 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットしてください。 参照 ・「トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P. 101)
トレイ * ヲ オシコンデ クダサイ	用紙トレイ * が引き出されています。 用紙トレイ * を正しくセットしてください。
ハイシュツ シテイマス xxxx トレイ *	印刷データを排出しています。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
ハイシュツトレイノ ヨウシヲ トリダシテクダサイ	排出トレイの容量がいっぱいになりました。排出トレイ上の用紙を取り出してください。
ブヒン コウカン ヲ イライ シテクダサイ ***-***	部品の交換時期です。「***-***」の表示内容をお買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
プリント シテイマス xxxx	印刷データ処理中です。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
プリント シテイマス xxxx トレイ *	トレイ * を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください。xxxx にはポート名が表示されます。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
プリント デキマス	コンピューターからの印刷データを受信できる状態です。
プリント デキマス ***-***	本機に故障が発生しています。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 参照 ・「エラーコード」(P. 164)
プリント デキマス DNS サーバ コウシン フカ	DNS の IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の IP アドレスについて、取得方法の設定を確認してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
プリント デキマス IP アドレス シュトク フカ	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗しました。 IP アドレスの取得方法を変更し、手動で IP アドレスを設定してください。 参照 ・「IP アドレスを設定する」(P. 28)
プリント デキマス HDD ウワガキショウキョチュウ	ハードディスクの上書き消去処理中です。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
プリント デキマス IP アドレス チョウフク	IP アドレスが重複しています。IP アドレスを変更してください。 参照 ・「IP アドレスを設定する」(P. 28)
プリント デキマス オナジ SMB ホストメイ アリ	同じ SMB ホスト名が存在しています。 ホスト名を変更してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
プリント デキマス ガシツセンサー テンケンジキ	画質調整センサーが汚れています。清掃してください。 参照 ・「画質調整センサーを清掃する」(P. 213)
プリント デキマス コウカン ジキ ***-***	部品の交換の時期が近づいています。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
プリント デキマス テンシャロール コウカンジキ	転写ロールカートリッジの交換時期が近づいています。新しい転写ロールカートリッジを準備してください。このメッセージが表示されてからも、約 1,800 ページ *1 は通常どおり印刷できます。
プリント デキマス トナーコウカン ジキ : X (X : K、C、M、Y のいずれか 1 つ、または複数が表示)	X のトナーカートリッジの残量が少なくなっています。表示された X の新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージが表示されてからも、ブラックは約 900 ページ (大容量トナーカートリッジ使用時は約 1,800 ページ)、シアン、マゼンタ、イエローは約 800 ページ (大容量トナーカートリッジ使用時は約 1,600 ページ) *1 は通常どおり印刷できます。
プリント デキマス ドラム コウカン	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジに交換してください。このメッセージは、操作パネルの [システム セッテイ] > [ドラムジュミョウソウサ] が [プリント テイシ シナイ] に設定されている場合に表示されます。
プリント デキマス ドラム コウカンジキ	ドラムカートリッジの交換の時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを準備してください。このメッセージが表示されてからも、約 2,000 ページ *1 は通常どおり印刷できます。
フロントカバー ヲ トジテ クダサイ	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。
メディアガ ソウニュウ サレテ イマセン	メディアが正しく挿入されていません。 メディアが正しく挿入されているかを確認してください。
メディアスロットガ ミセツゾクカ コショウデス	メディアプリントキットの接続ケーブルが正しく接続されていません。 接続ケーブルを正しく接続し、本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
メディアニ プリントデキル ファイルガ ミツカリマセン	メディア内にファイルがありません。 コンピューターでメディアに記録されている内容を確認してください。
メディアプリント デ エラーガ ハッセイ シマシタ	メディアプリントキットにエラーが発生しました。 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
ヨウシ シュルイガ ナイタメ ホカノ ヨウシニ ヘンコウ ↓ ↑ ［セット］デ プリントカイシ ［チュウシ］デ キャンセル	用紙トレイに、プリンタードライバーの［トレイの用紙種類］で指定した用紙種類の用紙がセットされていません。操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押して、異なる種類の用紙に印刷するか、〈プリント中止〉ボタンを押して印刷を中止してください。
ログファイル フリョウ ［セット］キーデショキカシマス	ハードディスク（オプション）を取り付けている場合で、本機の使用中に停電などでいったん電源が切られたために、ハードディスク内のデータが壊れたことが考えられます。 操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押してください。ログファイルが初期化されます。 **注記** ・ ログファイルの初期化には、数十秒かかります。初期化中に本機の電源を切らないでください。

*1：印刷できるページ数は、印刷条件や原稿の内容によって、大きく変化します。詳細は、「消耗品と定期交換部品の寿命について」(P. 228) を参照してください。

エラーコード

操作パネルや［ジョブ履歴レポート］の［ジョブ処理状態］欄にエラーコードが表示された場合は、下表でエラーコードを参照し、処置してください。

ｴﾗｰ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ
016-705

ジョブ履歴レポート

ｼﾞｮﾌﾞ 処理状態
異常終了 (016-749):JCL ｺﾏﾝﾄﾞ ｴﾗｰ

また、本書に記載されていないエラーコードが表示された場合は、お客様で対処できないエラーが発生しています。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

注記

・ エラーコードが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

エラーコード	原因 / 処置
010-340 010-341 010-397	部品（フューザーユニット）が正しく取り付けられていない、または故障の可能性があります。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-420	部品の交換時期が近づきました。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-906	部品の交換時期になりました。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-503	メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 ・「メールプリントをするための環境設定」(P. 71)
016-504	メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 ・「メールプリントをするための環境設定」(P. 71)
016-505	メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、POP3 で使用するユーザー名とパスワードが正しいかを確認してください。 参照 ・「メールプリントをするための環境設定」(P. 71)
016-701	メモリーが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、再度印刷を指示してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

エラーコード	原因 / 処置
016-702	プリントページバッファが不足したため、ART EX または PostScript の印刷データを処理できませんでした。 次のいずれかの方法で対処してください。 ・［印刷モード］が［高精細］の場合は、［標準］にする ・［詳細設定］タブの［ページ印刷モード］を［する］にする（ART EX のみ） ・プリントページバッファを増やす ・増設メモリ（オプション）を取り付けて、メモリーを増設する 参照 ・［印刷モード］/［ページ印刷モード］：プリンタードライバーのヘルプ ・プリントページバッファ：「［メモリー セッテイ］（メモリー設定）」(P. 137)
016-705	ハードディスク（オプション）が取り付けられていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 セキュリティープリント機能を使用するには、ハードディスク（オプション）を取り付ける必要があります。
016-706	セキュリティー / サンプルプリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度印刷を指示してください。
016-707	ハードディスク（オプション）が取り付けられていないか、またはハードディスクの故障などで、サンプルプリントが印刷できませんでした。 サンプルプリント機能を使用するには、ハードディスクが必要です。
016-708	ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できませんでした。 ハードディスク（オプション）内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART EX 処理でエラーが発生しました。 印刷ジョブを一度削除して、印刷し直してください。
016-710	ハードディスク（オプション）が取り付けられていないか、またはハードディスクの故障などで、時刻指定プリントができませんでした。 時刻指定プリント機能を使用するには、ハードディスクが必要です。
016-716	ハードディスクの容量が不足したので、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ハードディスク（オプション）内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718	メモリーが不足したため、PCL6 の印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、もう一度印刷を指示してください。
016-719	プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	PCL の印刷データに処理できないコマンドが含まれています。 印刷データを確認して、印刷し直してください。
016-721	印刷処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 1　操作パネルで［プリント セッテイ］の［ヨウシノ ユウセンジュンイ］が、すべての用紙で［セッテイシナイ］に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している 2　ESC/P のコマンドエラー 1 については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、［ヨウシノ ユウセンジュンイ］で、用紙のどれかを［セッテイシナイ］以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に［ヨウシノ ユウセンジュンイ］が［セッテイシナイ］に設定されてしまうので、注意してください。2 については、印刷データを確認してください。 参照 ・用紙の優先順位の設定：「［ヨウシノ ユウセン ジュンイ］（用紙の優先順位）」(P. 135)

エラーコード	原因 / 処置
016-726	操作パネルで［プリントモード シテイ］が［ジドウ］に設定されている場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。次の原因が考えられます。 1　PostScript　ソフトウエアキット（オプション）が装着されていない状態で、PostScript データを送信した 2　エミュレーションキットまたは PostScript ソフトウエアキット（両方ともオプション）が装着されていない状態で、HP-GL/2、201H、PCL データを送信した 必要なオプションを装着してください。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 印刷データを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、印刷できませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度印刷を指示してください。
016-730	ART IVでサポートされていないコマンドを検知しました。 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていて印刷できませんでした。 もう一度印刷を指示してください。
016-732	エミュレーションで、指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度印刷を指示してください。
016-746	PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、印刷できませんでした。 Adobe Reader を使って PDF ファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］から印刷を指示してください。
016-748	ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。 また、ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
016-749	JCL コマンドの構文エラーが発生しました。 印刷設定を確認するか、JCL コマンドを訂正してください。
016-751	PDF ファイルを、PDF Bridge 機能を使用して印刷できませんでした。 Adobe Reader を使って PDF ファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］から印刷を指示してください。
016-752	メモリーが不足しているため、PDF ファイルを PDF Bridge 機能を使用して印刷できませんでした。 ContentsBridge Utility を使用している場合は、［印刷設定］ダイアログボックスで［印刷モード］の設定を次のように変更してください。 ・［高画質］が選択されていた場合は、［標準］に変更する ・［標準］が選択されていた場合は、［高速］に変更する 補足 ・ ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを直接印刷している場合は、「[PDF]」(P. 111) を参照して操作パネルで［PDF］の設定を変更してください。
016-753	PDF ファイルのパスワードが、プリンターに設定されている暗証番号、または ContentsBridge Utility で設定した暗証番号と一致しません。 正しい暗証番号を、プリンター、または ContentsBridge Utility で設定して、もう一度印刷を指示してください。 補足 ・ ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを直接印刷している場合は、「[PDF]」(P. 111) を参照して操作パネルで［PDF］の設定を変更してください。
016-755	印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。 Adobe Acrobat を使用して、PDF ファイルの印刷禁止の指定を解除してから、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・ Adobe Acrobat に付属のマニュアル

エラーコード	原因 / 処置
016-756	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機に印刷できるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。
016-757	入力した暗証番号が間違っています。正しい暗証番号を入力してください。
016-758	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、カラー印刷を利用できるユーザーとして登録されていません。機械管理者にご相談ください。
016-759	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、印刷できる上限ページ数に達しました。機械管理者にご相談ください。
016-760	PostScript の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。 ・PostScript　プリンタードライバーで［印刷モード］の［高画質］が選択されていた場合は、［標準］に変更する ・PS 使用メモリーを増やす 参照 ・［印刷モード］：プリンタードライバーのヘルプ ・PS 使用メモリー：「［メモリー セッテイ］（メモリー設定）」(P. 137)
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。 ［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［高精細］の場合は［標準］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、［詳細設定］タブの［ページ印刷モード］を［する］に設定して印刷してください。 参照 ・［印刷モード］/［ページ印刷モード］：プリンタードライバーのヘルプ
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。 本機は標準で、ART EX、ART IV、ESC/P、TIFF、PDF データを処理できます。PostScript データを送信したい場合は、オプションの PostScript ソフトウエアキットを取り付けてください。また、201H、HP-GL、HP-GL/2 データを送信したい場合は、オプションの PostScript ソフトウエアキットまたはエミュレーションキットを取り付けてください。
016-789	メール処理に必要なハードディスクの容量を超えたため、処理が中断されました。 解像度や倍率を低くしてデータ量を少なくしたり、数回に分けて送信してください。
016-792	集計レポートを印刷する場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。ジョブの履歴は存在しません。
016-793	ハードディスクの容量が不足しました。ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やすか、ハードディスクを初期化してください。
016-794	メディアが正しく挿入されていません。メディアを正しく挿入してください。
016-795 016-796 016-797	メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。プリントデータとプリントオプションを確認し、もう一度印刷を指示してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面印刷のどれか）が指定されました。 印刷データを確認してください。
024-747	非定形サイズを指定して［用紙トレイ選択］を［自動］に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。印刷データを確認してください。
027-500	応答メール送信時の SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。
027-501	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-796	メール受信時に添付文書だけを印刷するように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報なども印刷したい場合は、CentreWare Internet Services の［プロパティ］タブで設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
061-321	機械内部に結露が発生している可能性があります。1 時間ほど放置して、再度試してください。それでも状態が改善されない場合は、機械の故障が考えられます。「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
093-414 093-415 093-416 093-417	部品の交換時期になりました。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
094-417 094-935	部品の交換時期になりました。 「***-***」の表示内容を、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-388	ハードディスク（オプション）が取り付けられていません。ハードディスクを取り付けてください。
116-389	増設メモリ（オプション）が必要です。増設メモリを取り付けてください。
116-701	メモリーが不足したため、両面印刷ができません。 メモリーを増設することをお勧めします。
116-702	文書中に使用されている TrueType フォントを PostScript フォントを使用して印刷しました。そのため、予期しない改行やハイフンによって、思った結果と印刷結果が異なる場合があります。その場合は、PostScript プリンタードライバーの［デバイス設定］にある［フォント代替表］の設定を変更してください。
116-703	PostScript（オプション）でエラーが発生しました。 印刷データを確認するか、プリンタードライバーの［詳細］タブのスプールの設定で、双方向通信のチェックを外してください。
116-708 116-709	メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。
116-710	受信データが HP-GL、HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やすか、内蔵増設ハードディスク（オプション）を取り付けることをお勧めします。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 用紙サイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ハードディスクがいっぱいになったため、ジョブを分割して印刷しました。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL、HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-717	メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、［ART EX フォーム登録リスト］で確認できます。 参照 ・「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 184)

エラーコード	原因 / 処置
116-720	PCL メモリーが不足したため、印刷できません。 不要なポートを停止するか、各メモリーのバッファサイズを調整してください。 または、メモリーを増設することをお勧めします。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	印刷データにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 ART IV フォームメモリーの領域を増やすか、内蔵増設ハードディスク（オプション）を取り付けることをお勧めします。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 の印刷データに描画データがありません。 印刷データを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。 参照 ・「3.9 電子メールを使って印刷する - メールプリント -」(P. 71)

6.7 ネットワーク関連のトラブル

ネットワーク環境で印刷できないなどのトラブルについては、本機に同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM 内の『マニュアル（HTML 文書)』を参照してください。

ここでは、CentreWare Internet Services とメール機能を使用している場合に、発生しやすいトラブルについて、原因と処置方法を説明します。操作パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されている場合は、「6.6 主なメッセージとエラーコード」(P. 158) を参照して処置してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ ［機能設定リスト］を印刷して確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例）http://printer1.example.com:80/
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
Web ブラウザーに［しばらくお待ちください］などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
［表示更新］が機能しない	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 32) を参照して、使用している OS や Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない	
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない	［表示更新］をクリックしてください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。使用しないでください。
［新しい設定を適用］をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
［新しい設定を適用］を押すと、Web ブラウザーに［無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました］や［データがありません］などのメッセージが表示される	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	本機の電源を切り、入れ直します。
ジョブを削除できない	しばらく待ってから、［表示更新］をクリックしてください。

症状	原因 / 処置
パスワード入力画面が表示される	CentreWare Internet Services の機械管理者のパスワードの初期値は、次のとおりです。 ・ ユーザー名：11111 ・ パスワード：x-admin

メール機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
メールプリントができない	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で確認してください。 ・ 本体メールアドレスは設定されていますか。 ・［メール受信］の［起動］にチェックが付いていますか。 ・ SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 ・ POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、自分のドメインを受信許可ドメインに設定してください。受信許可ドメインの設定は、［受信許可ドメインリスト］で確認できます。詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メールプリントで添付の PDF ファイルが印刷されない	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、メモリーを増設することをお勧めします。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で確認してください。 ・ 本体メールアドレスは設定されていますか。 ・［メール通知］の［起動］にチェックが付いていますか。 ・ SMTP サーバーの IP アドレスなどが、正しく設定されていますか。 ・ POP　ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 ・ 送信する通知項目が正しく設定されていますか。 ・ 送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

6.8 メディアプリントキット使用時のトラブル

メディアプリントキット（オプション）を使用している場合のトラブルについて、原因と処置方法を説明します。操作パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されている場合は、「6.6 主なメッセージとエラーコード」(P. 158) を参照して処置してください。

症状	原因 / 処置
メディアプリントキットのアクセスランプが点灯しない	USB ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 本機の電源を切り、USB ケーブルをいったん抜いてから、再度コネクターの奥まで挿入してください。
メニュー画面に［デジカメプリント］、［ドキュメントプリント］が表示されない	メディアプリントキットが正しく認識されていません。 本機の電源を切り、USB ケーブルをいったん抜いてから、再度コネクターの奥まで挿入してください。
白紙が印刷される	印刷を指示したファイルの中に、印刷できないファイル（Exif フォーマットでない画像ファイル）が含まれています。 印刷できないフォーマットのファイルは、インデックスプリントをすると印刷されません。インデックスプリントで印刷されないファイルを除いて、再度印刷を指示してください。 補足 ・ Exif フォーマットの画像ファイルをコンピューターで編集、または保存すると、Exif フォーマットではなくなります。注意してください。

6.9 カスタムモードについて

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、[トナー カートリッジヲ コウカン シテクダサイ] のメッセージが表示されます。

カスタムモードでプリンターを使用したい場合は、次の手順に従って、カスタムモードに設定してから、新しいトナーカートリッジに交換してください。

注記

・ カスタムモードによるプリンターの使用は、本来のプリンター機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。プリンターの故障となった場合は、有償修理となります。

補足

・ カスタムモードから通常のモードに戻すには、下記の手順３で［オフ］を選択します。

1. 操作パネルの〈▼〉と〈排出 / セット〉ボタンを同時に押します。
   消耗品メニュが表示されます。
2. 〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンを押して、カーソルを［オン］に合わせます。
4. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   確認画面が表示されます。
5. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   変更処理が開始され、終了すると右の画面が表示されます。
6. 電源を切り、10 秒ほどたってから、電源を入れます。
   起動後にカスタムモードに切り替わります。

6.10 修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

1. 電源コードおよびインターフェイスケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。

2. 定期的な清掃を行っていたか、トナーカートリッジやドラムカートリッジ、転写ロールカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。

3. 本章の「6.1 紙づまりの処置」(P. 144) ～「6.8 メディアプリントキット使用時のトラブル」(P. 172) をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのメッセージ表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるメッセージ表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、修理にお出しいただくときは、「7.12 プリンターを移動するときは」(P. 217) や梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

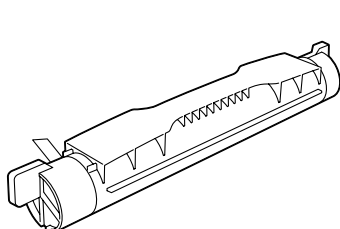
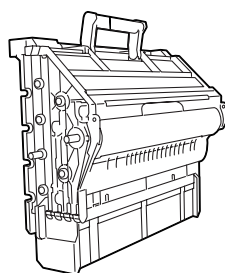
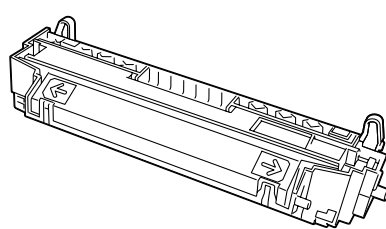
6.11 プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC 製トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みの NEC 製トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジは捨てずに、トナーカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はトナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよび転写ロールカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、「使用済み消耗品の回収」(P. 176)、「消耗品の種類と購入について」(P. 175) を参照してください。

7　日常管理

7.1　消耗品を交換する

消耗品の種類と購入について

本機には、次のような消耗品が用意されています。消耗品のご注文は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までご連絡ください。

トナーカートリッジ　　ドラムカートリッジ　　転写ロールカートリッジ

注記

・本機は、純正の消耗品を使用しているときに印刷品質やプリンター性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、プリンター本体が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品の使用をお勧めします。

消耗品の種類	型番	印刷可能ページ数（参考値）	備考
トナーカートリッジ（ブラック）	PR-L7600C-14	約 4,500 ページ	
トナーカートリッジ（シアン）	PR-L7600C-13	約 4,000 ページ	
トナーカートリッジ（マゼンタ）	PR-L7600C-12	約 4,000 ページ	
トナーカートリッジ（イエロー）	PR-L7600C-11	約 4,000 ページ	
大容量トナーカートリッジ（ブラック）	PR-L7600C-19	約 9,000 ページ	
大容量トナーカートリッジ（シアン）	PR-L7600C-18	約 8,000 ページ	
大容量トナーカートリッジ（マゼンタ）	PR-L7600C-17	約 8,000 ページ	
大容量トナーカートリッジ（イエロー）	PR-L7600C-16	約 8,000 ページ	
ドラムカートリッジ	PR-L7600C-31	約 35,000 ページ	
転写ロールカートリッジ	PR-L7600C-32	約 35,000 ページ	

補足

・印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と定期交換部品の寿命について」(P. 228) を参照してください。

■ 消耗品の取り扱いについて

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温多湿の場所
  - 火気がある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
- 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

使用済み消耗品の回収

ご使用済みの NEC 製トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みの NEC 製トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジは捨てずに、トナー回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、および転写ロールカートリッジ回収に関する Web ページ「ECOROGY & TECHNOLOGY」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html ）

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジには、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 種類があります。

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	残り印刷可能ページ数 *2	処置
プリント デキマス トナーコウカン ジキ : X*1	・ ブラックの場合 約 900 ページ（大容量トナーカートリッジ使用時は約 1,800 ページ） ・ シアン、マゼンタ、イエローの場合 約 800 ページ（大容量トナーカートリッジ使用時は約 1,600 ページ）	すぐに交換する必要はありませんが、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。
トナー カートリッジヲ コウカンシテクダサイ : X*1	-（本機は停止し、印刷できなくなります）	表示されたトナーカートリッジを交換してください。

*1: X には C、M、Y、K のいずれかが表示されます。それぞれトナーカートリッジの色で、C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエロー、K はブラックを表します。

*2 : 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と定期交換部品の寿命について」(P. 228) を参照してください。

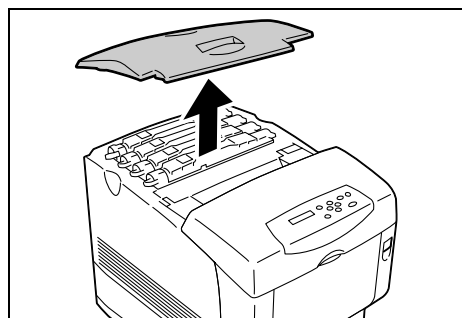
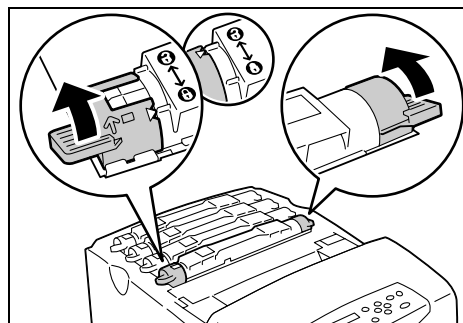
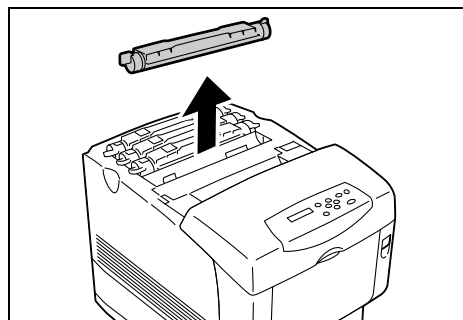
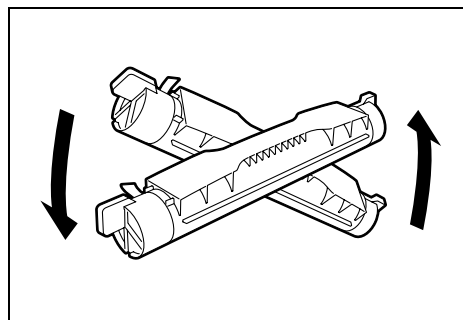
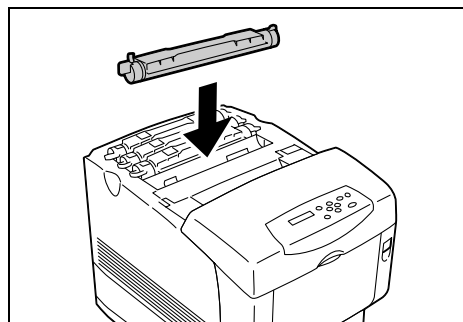
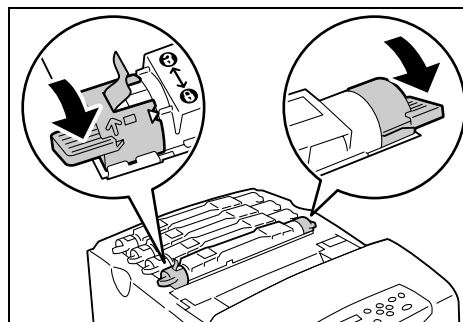
⚠ 警告

・ トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
・ 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等でふき取ってください。掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、粉じん発火となる可能性があります。

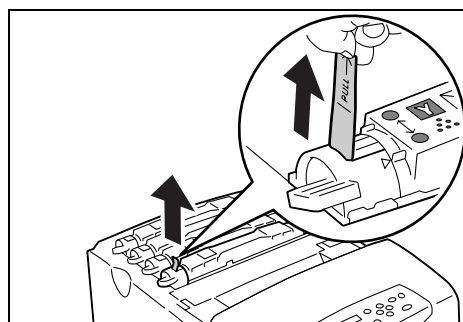
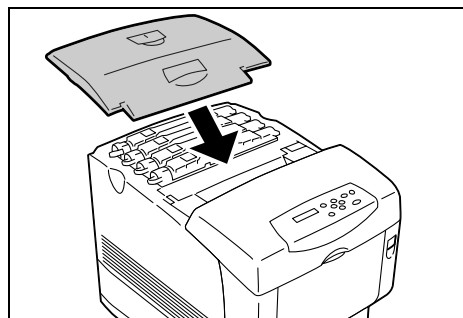
注記

・ トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
・ トナー残量が少なくなってきている場合、交換時期が近いというメッセージが表示されないまま、印刷中に本機が停止してトナーカートリッジ交換のメッセージが表示されることがあります。その場合は、表示されている色のトナーカートリッジを交換すると、印刷は継続されます。
・ トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
・ 一度プリンターから取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
・ 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。

交換手順は、次のとおりです。

1. 排出トレイから用紙を取り除き、トップカバーを取り外します。

2. 交換したい色のトナーカートリッジ両端のつまみを持って上方向に回し、ロックを外します。

3. トナーカートリッジを持ち上げて、取り外します。

4. 取り出したものと同じ色のトナーカートリッジを用意します。
図のように、軽く３～４回振って、中のトナーを均一にします。

5. トナーカートリッジを、プリンター本体の取り付け位置に合わせて、差し込みます。

6. トナーカートリッジ両端のつまみを、上から強めに押しながら手前に回して固定します。

7. トナーシールを真上に引き抜きます。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあるので、注意してください。

補足

- トナーカートリッジをセットしてからトナーシールを引き抜くまでに時間がかかると（5 秒以上）、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、手順 6 の操作を再度行うか、電源を切って入れ直してください。

8. トップカバーを元に戻します。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	残り印刷可能ページ数*1	処置
プリント デキマス ドラム コウカン ジキ	約 2,000 ページ	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。
ドラム カートリッジ ヲ コウカンシテクダサイ	-（本機は停止し、印刷できなくなります）*2	ドラムカートリッジを交換してください。

*1: 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と定期交換部品の寿命について」(P. 228) を参照してください。

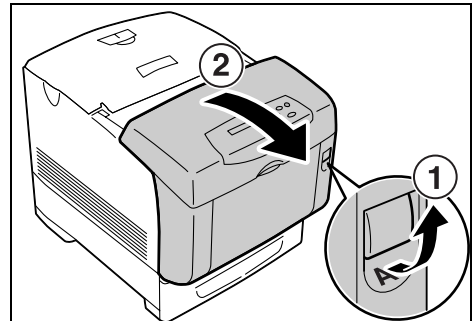
*2 : 交換時期になっても、印刷を停止しないこともできます。この場合は、［プリント デキマス ドラム コウカン］と表示されます。設定については、「［ドラムジュミョウドウサ］（ドラム寿命動作）」(P. 130) を参照してください。ただし、ドラムカートリッジの寿命を過ぎても交換しないで印刷を続けると、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。

⚠ 警告

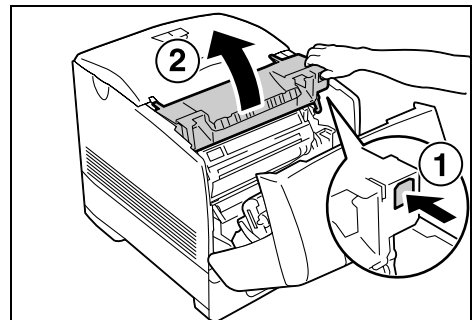
- ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

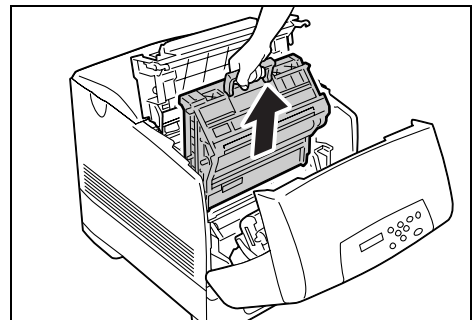
注記

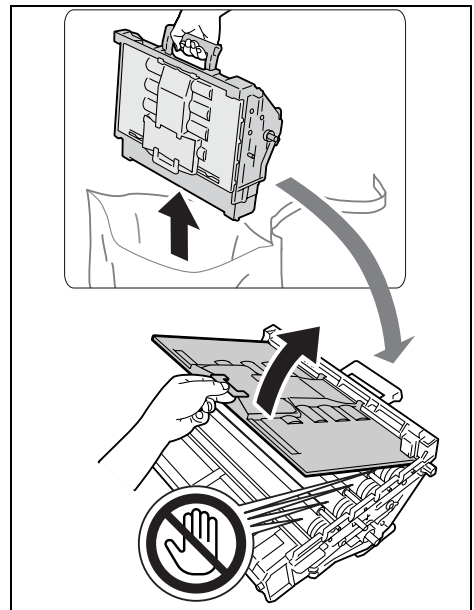
- ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 直射日光や強い光に当てないでください。
- 感光ドラムの表面（緑色のローラー）には手を触れないでください。また、感光ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。

交換手順は、次のとおりです。

1. 排出トレイから用紙を取り除き、手差しトレイを閉じます。

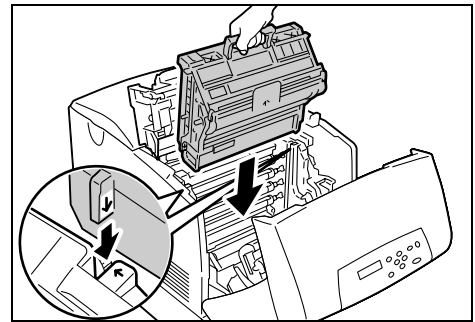
2. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。

3. 図のボタンを押して、排出トレイカバーを開けます。

4. ドラムカートリッジを、ハンドルを持って引き出します。

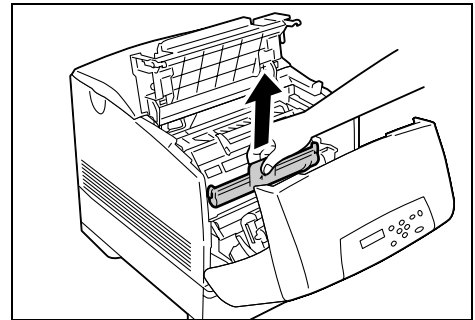
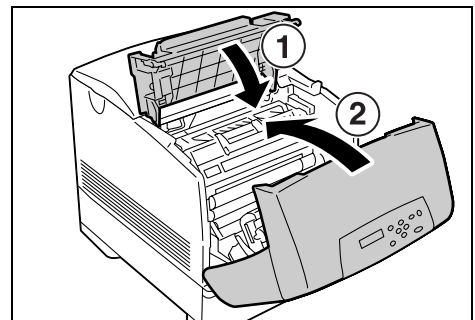
注記
- プリンター内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものもあります。
- ドラムカートリッジが落下しないように、必ず上部の取っ手を持ってください。

5. 新しいドラムカートリッジを取り出し、保護カバーを取り外します。

注記
- 感光ドラムの表面（緑色のローラー）や帯電ローラー（黒いローラー）に、触れないでください。感光ドラム表面や帯電ローラーに引っかき傷、汚れ、または手の脂が付くと、印刷品質が低下します。

6. ドラムカートリッジの平らな方を、プリンターの背面に向けてハンドルを持ち、ドラムカートリッジ両側にある矢印がついた突起部を、プリンターの矢印ラベルが示す溝に合わせます。ドラムカートリッジを静かにプリンターに挿入します。

注記

・ドラムカートリッジ両側の突起部と溝の位置を正確に合わせずにドラムカートリッジをプリンターに挿入すると、ドラムカートリッジが損傷するおそれがあります。

7. ドラムカートリッジの保護カバーを真上に引いて取り外します。

注記

・中間転写ローラー（黒い部分）には触れないでください。ローラーの表面に何も触れたり当たらないように注意してください。ローラーに引っかき傷や手の脂が付くと、印刷品質が低下します。

8. 排出トレイカバー、フロントカバーの順に、カバーを閉じます。

転写ロールカートリッジを交換する

転写ロールカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

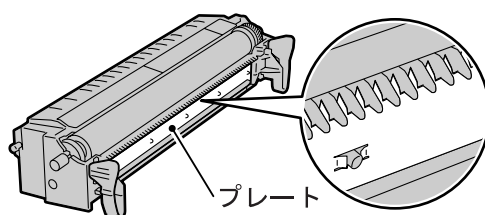
メッセージ	残り印刷可能ページ数*1	処置
プリント デキマス テンシャロール コウカンジキ	約 1,800 ページ	すぐに交換する必要はありませんが、転写ロールカートリッジの予備を用意してください。
テンシャロールカートリッジヲ コウカン シテクダサイ	-（本機は停止し、印刷できなくなります）	転写ロールカートリッジを交換してください。

*1: 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と定期交換部品の寿命について」(P. 228) を参照してください。

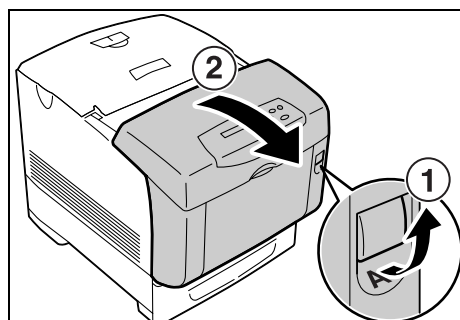
⚠ 警告

- 転写ロールカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

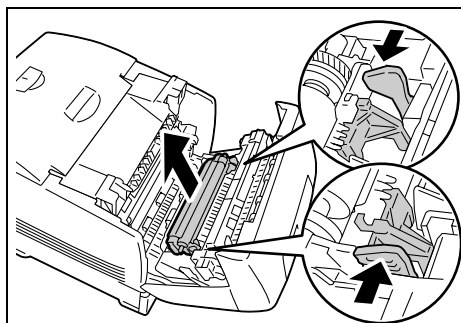
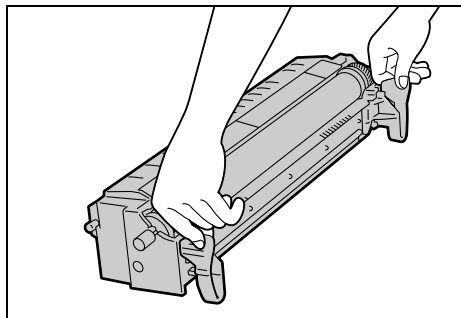
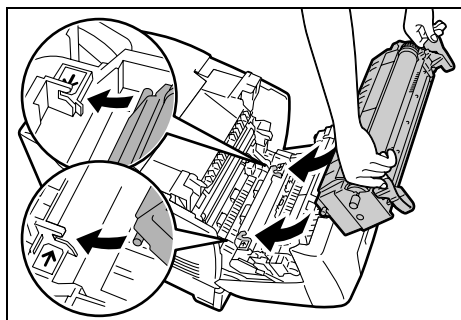
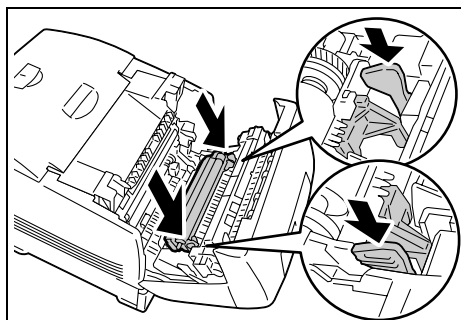
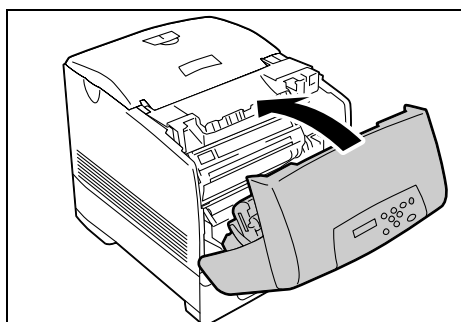
注記

- 転写ロールカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- トナー回収ボックスに回収したトナーは再利用しないでください。
- 一度プリンターから取り外した転写ロールカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 転写ロールカートリッジの上部にあるプレートの周辺部は鋭利なので、このプレートには触らないでください。

交換手順は、次のとおりです。

1. 排出トレイから用紙を取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。

3. 転写ロールカートリッジ両端のタブをしっかりとつかみ、静かに持ち上げて外します。

注記

・ プリンター内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものもあります。

4. 新しい転写ロールカートリッジを梱包から取り出して、図のようにタブをつかみます。

5. 転写ロールカートリッジの矢印とプリンターの矢印を合わせて、プリンター本体に挿入します。

6. カチッと音がするまで、しっかりと転写ロールカートリッジを押し込みます。

7. フロントカバーを閉じます。

7.2　レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法を説明します。

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

レポート名 （操作パネルでの表示名）	印刷に必要なオプション品	説明
ジョブ履歴レポート （ジョブリレキ レポート）	−	コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。［ジョブ履歴レポート］には、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。 この［ジョブ履歴レポート］は、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。「［ジドウジョブリレキ］(自動ジョブ履歴)」(P. 129) を参照してください。 また、［ジョブ処理状態］欄にエラー終了の内容が印字されることがあります。エラー終了の内容については「エラーコード」(P. 164) を参照してください。
エラー履歴レポート （エラーリレキ レポート）	−	本機に発生した最新の 50 件までのエラーに関する情報が印刷されます。
プリンター集計レポート （シュウケイ レポート）	−	コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。 本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。 なお、認証 / 集計管理機能を使用している場合は、本レポートは印刷できません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。 参照 ・ 認証 / 集計管理機能について :「7.7 認証と集計管理機能について」(P. 201)
プリンター集計管理レポート （シュウケイ レポート）	−	認証 / 集計管理機能を使用している場合に、[シュウケイ レポート] を選択すると、本レポートが印刷されます。 登録ユーザー別に、今まで印刷した白黒累積ページ数、カラー累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。 本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。 参照 ・ 認証 / 集計管理機能について :「7.7 認証と集計管理機能について」(P. 201)
機能設定リスト （キノウ セッテイ リスト）	−	本機のハードウエア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。オプション品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどに印刷します。
フォントリスト （フォント リスト）	− （PR201H、HP-GL/2、PCL で使用できるフォントの一覧は、PostScript ソフトウエアキットまたはエミュレーションキット装着時）	ART EX、ART IV、ESC/P、PR201H、HP-GL/2、PCL で使用できるフォントの一覧が印刷されます。 補足 ・ PDF Bridge で使用できるフォントも印刷されます。PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合は、［プリントショリモード］で［PDF Bridge］が選択されている必要があります。
PostScript® フォントリスト （PS フォント リスト）	PostScript ソフトウエアキット	PostScript で使用できるフォントが印刷されます。

レポート名 （操作パネルでの表示名）	印刷に必要な オプション品	説明
ART　IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト （ユーザー テイギ リスト）	－ （PR201H については、PostScript ソフトウエアキット または エミュレーションキット装着時）	ART IV、PR201H、および ESC/P プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容が印刷されます。
ART EX フォーム登録リスト （ART EX フォーム リスト）*1	－	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・ フォームの登録：プリンタードライバーのヘルプ
PostScript® 論理プリンター登録リスト （PS トウロク リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット	PostScript で作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 20 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PC-PR201H 設定リスト （201H セッテイ リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、または、エミュレーションキット	PR201H プリントモードでの各設定が印刷されます。
PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト （201H トウロク リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、または、エミュレーションキット	PR201H プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 5 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
ESC/P 設定リスト （ESC/P セッテイ リスト）*1	－	ESC/P プリントモードでの各設定が印刷されます。
ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト （ESC/P トウロク リスト）*1	－	ESC/P プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 20 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
HP-GL/2® 設定リスト （HP-GL/2 セッテイ リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、または、エミュレーションキット	HP-GL/2 プリントモードでの各設定が印刷されます。
HP-GL/2® 論理プリンター・メモリー登録リスト （HP-GL/2 トウロク リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、または、エミュレーションキット	HP-GL/2 プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 20 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

レポート名 （操作パネルでの表示名）	印刷に必要な オプション品	説明
HP-GL/2 パレットリスト （HP-GL/2 パレット リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、 または、 エミュレーションキット	HP-GL/2 プリントモードでのカラーパレットの設定値を確認できます。
TIFF 設定リスト （TIFF セッテイ リスト）*1	−	TIFF プリントモードでの各設定が印刷されます。
TIFF 論理プリンター 登録リスト （TIFF トウロク リスト）*1	−	TIFF プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 20 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PDF 設定リスト （PDF セッテイ リスト）*1	−	操作パネルの［PDF］の設定が印刷されます。 ContentsBridge Utilityを使用しないでPDFファイルを直接印刷する場合の設定を確認できます。 補足 ・［プリント処理モード］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に印刷されます。 ・［レイアウト］は操作パネルの［プリントショリモード］で［PS］が選択されている場合は、印刷されません。
PCL 設定リスト （PCL セッテイ リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、 または、 エミュレーションキット	PCL プリントモードでの各設定が印刷されます。
PCL フォーム登録リスト （PCL フォーム リスト）*1	PostScript ソフトウエアキット、 または、 エミュレーションキット	PCL プリントモードで登録されたフォームの一覧が印刷されます。
蓄積文書リスト （チクセキブンショ リスト）	ハードディスク	セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。 参照 ・「3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 60) ・「3.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 64) ・「3.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」(P. 67)
受信許可ドメインリスト （ドメインセイゲン リスト）	ハードディスク	設定されている受信許可ドメインの一覧が印刷されます。
機能別カウンターレポート （キノウベツカウンター レポート）	−	機能別の出力枚数一覧が印刷されます。
メディアプリント設定リスト （メディアプリント リスト）	メディアプリントキット	メディアプリントの設定の一覧が表示されます。

*1: これらの項目は、［レポート / リスト］メニューで［プリントゲンゴ］を選択すると表示されます。

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、操作パネルを操作して印刷します。ここでは、機能設定リストを印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様に印刷を指示してください。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

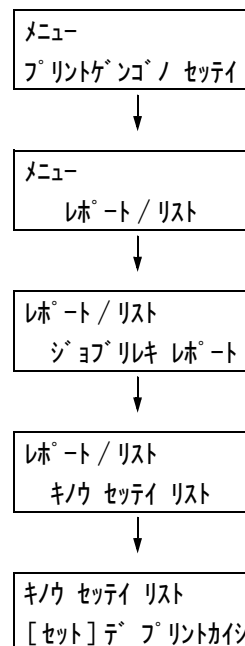
2. [レポート / リスト]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [ジョブリレキ レポート] が表示されます。

4. [キノウ セッテイ リスト] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

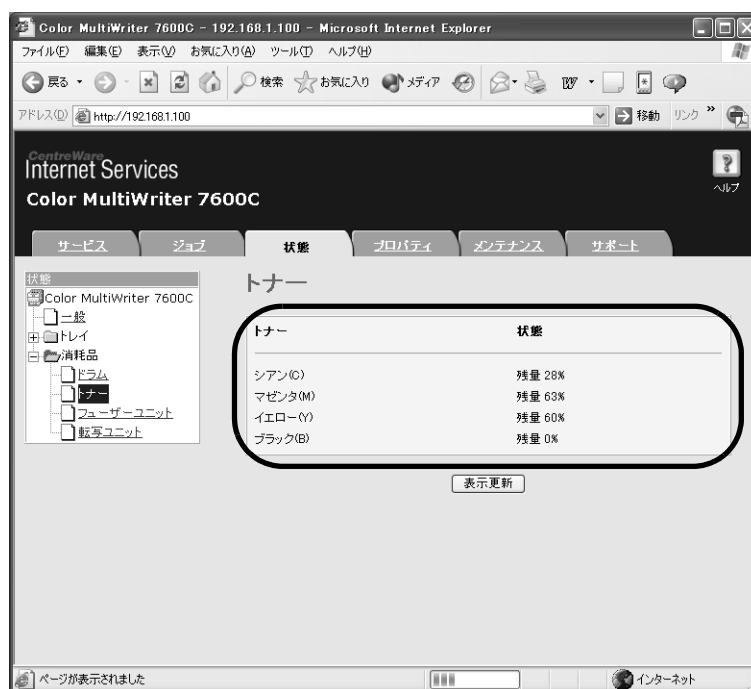
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   印刷を開始させる画面が表示されます。

6. 〈排出 / セット〉ボタンで印刷します。
   レポートが印刷されます。

7. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

7.3 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量も確認できます。

補足

・詳しい CentreWare Internet Services の使用方法については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 32) を参照してください。

7.4　電子メールでプリンターの状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピューターから印刷を指示したジョブの終了をメールで知らせたり、消耗品や用紙などの状況などを、指定したメールアドレスに通知したりするように設定できます。

この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のようなものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの終了通知	コンピューターから印刷が指示されたジョブの結果（正常終了、中止、要確認）を通知します（ART EX プリンタードライバー使用時のみ）。
消耗品などの状態通知	あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙の状態など）を指定されたあて先へメールで通知します。 トナーやドラムカートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。 あて先は、ネットワーク管理者、または共用のアドレスを登録することをお勧めします。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。設定が済んでいるかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク環境

- メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、[プロパティ] の次の項目を設定します。

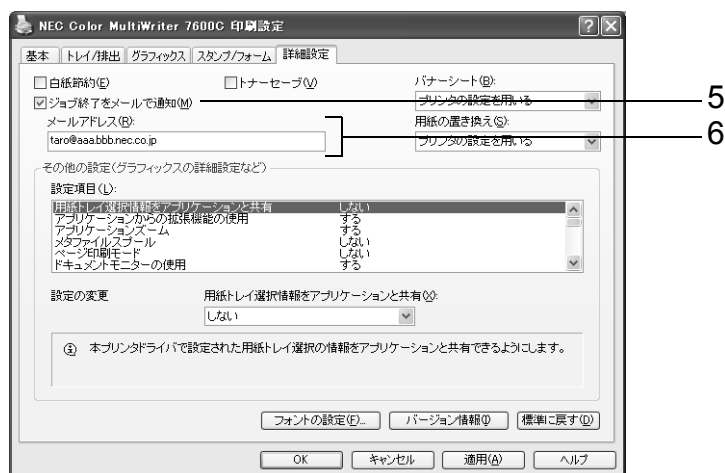
補足
- 設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
- [メール通知設定] は、[ポート起動] で [メール通知] の [起動] にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直すと表示されます。

項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、本体メールアドレス	「メールプリントをするための環境設定」の「本体説明」(P. 72)を参照してください。
ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
プロトコル設定 > TCP/IP	ホスト名、DNS サーバーアドレス取得方法、DNS サーバーアドレス 1 ～ 3、DNS ドメイン名、ドメイン検索リストの自動作成、検索ドメイン名、タイムアウト、DNS の動的更新	「メールプリントをするための環境設定」の「プロトコル設定 > TCP/IP」(P. 72) を参照してください。

項目	設定項目	説明
プロトコル設定＞メール	SMTPサーバーアドレス、SMTPポート番号、SMTP 送信の認証、SMTP 認証ユーザー、SMTP 認証パスワード	「メールプリントをするための環境設定」の「プロトコル設定＞メール」(P. 72) を参照してください。
メール通知設定	メールアドレス、通知設定	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128 バイト以内で設定します。 メールアドレスは、3 つまで設定できます。
	通知状態設定	通知する内容をあて先別に設定できます。 ・ 消耗品の状態 ・ 交換部品の状態 ・ 用紙の状態 ・ 排出先の状態 ・ ジャムの状態 ・ インターロック状態 ・ フォルトの通知
	定期通知設定	メール通知を行う間隔などについて設定します（設定任意）。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

印刷を指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで以下の設定をします。ここでは、Windows XP を例に説明します。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックします。
2. 本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
3. ［全般］タブで［印刷設定］をクリックします。
   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
4. ［詳細設定］タブをクリックします。
5. ［ジョブ終了をメールで通知］のチェックを付けます。

6. ［メールアドレス］に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力します。
7. ［OK］をクリックします。

7.5 セキュリティー機能について

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。詳しくは、それぞれの参照先をごらんください。

機能	説明	参照先
HTTP 通信の SSL 暗号化	コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに、通信経路を SSL で暗号化して送信することができます。	「HTTP 通信の SSL 暗号化について」(P. 191)
ハードディスクの上書き消去 / データの暗号化	出力終了後、ハードディスク（オプション）上の残存データを上書きしたり、デバイス内に蓄積されている情報を暗号化したりして、外部からの解析を防ぎます。	「[データ アンゴウカ]（データ暗号化）」(P. 131) 「[HDD ノ ウワガキ ショウキョ]（HDD の上書き消去）」(P. 131)
セキュリティープリント	第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。	「3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 60)
IPアドレスによる受信制限	使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。	「[ウケツケ セイゲン]（受け付け制限）」(P. 127) または、 「IP アドレスによる受信制限」(P. 196)
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「［ソウサパネル セッテイ］（操作パネル設定）」(P. 128)
認証機能によるユーザー制限	本機の認証機能によって、CentreWare Internet Services へアクセスしたり、コンピューターから印刷したりすることができるユーザーを限定できます。	「7.7 認証と集計管理機能について」(P. 201)

HTTP 通信の SSL 暗号化について

SSL 機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化することができます。

HTTP を利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービスポート、IPP ポートがあります。

本機能を利用すると、CentreWare Internet Services で設定・変更情報を通信するときや、IPP ポートを使用した印刷のときに通信データを暗号化できます。

通信データの暗号化には、SSL/TLS プロトコルが使用されます。また、暗号化された通信を解読するには、SSL/TLS で利用する証明書が必要です。

証明書は、CentreWare Internet Services で作成することができます。作成した証明書の有効期限は 1 年です。また、作成済みの証明書を本機に取り込んで使用することもできます。

補足

・ 作成済みの証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services を使って証明書をインポートしてください。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

・ 本体で生成した自己証明書、または証明書の文字コードが UTF-8 で記載された証明書を使って SSL 通信を行う場合、以下の現象が発生します。これは、証明書の文字コード (UTF-8) を OS が認識できないためです。上記 OS 環境でご利用の場合は、Netscape 7 を使用してください。
  ・ Windows 98SE 以前の OS 環境で Internet Explorer を利用すると証明書の発行者 / 発行先が正しく表示されません。
  ・ MacOS X 10.2 の OS 環境で Internet Explorer を利用すると SSL で接続できません。

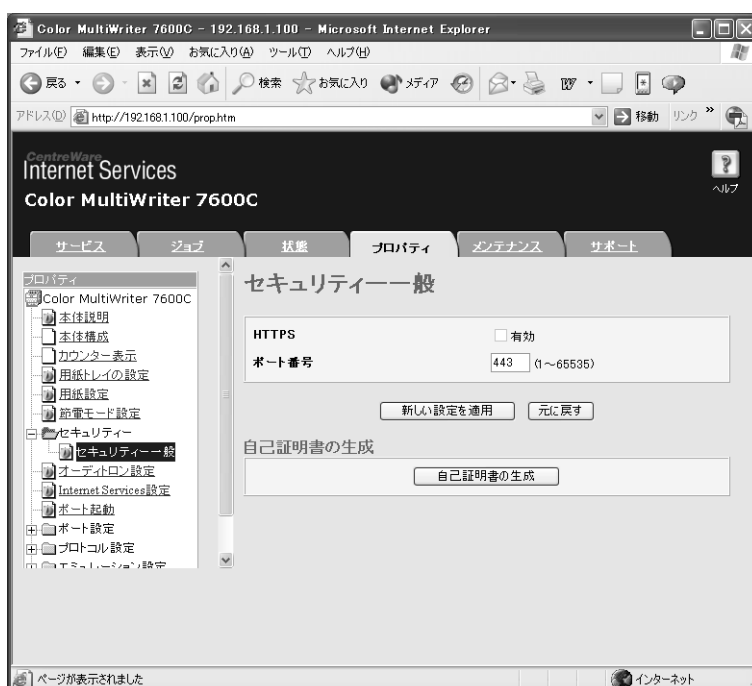
暗号化のための設定

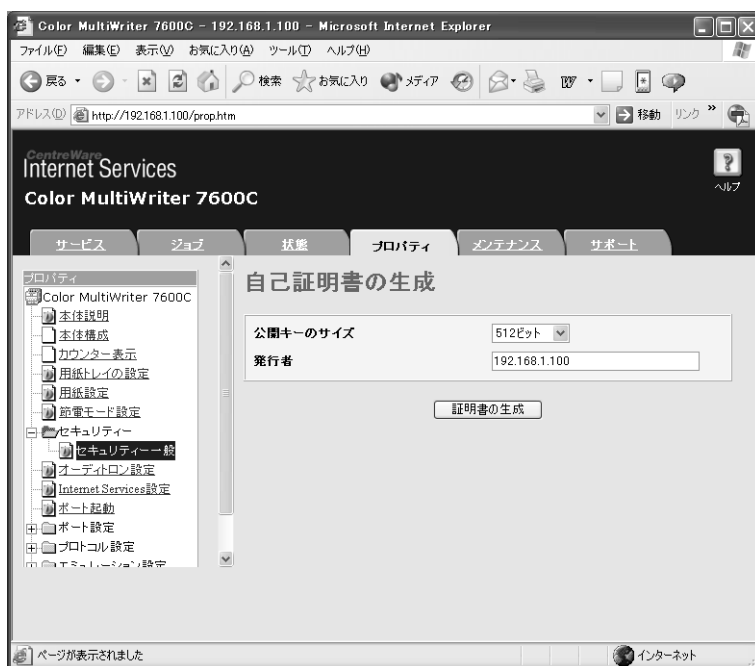
ここでは、証明書を CentreWare Internet Services で作成し、暗号化通信を行うための設定をする手順を説明します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足
・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 32) を参照してください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。

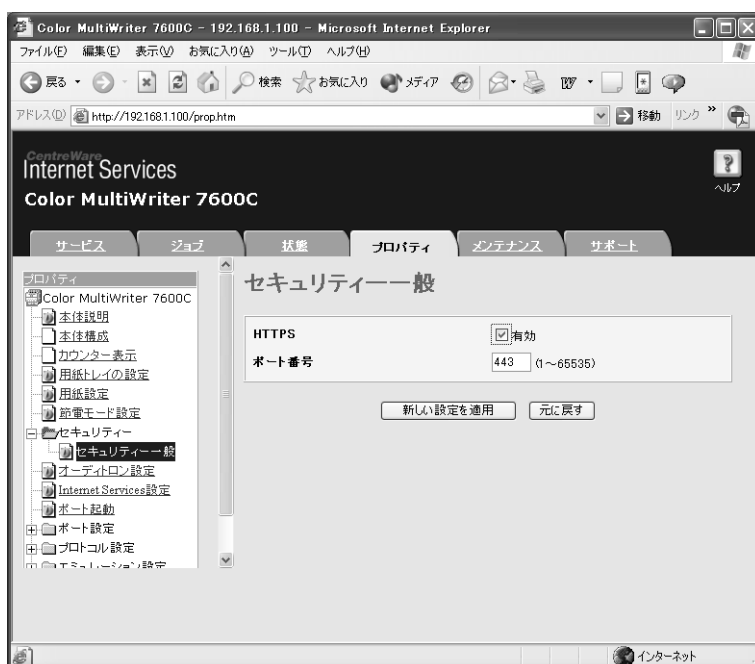
3. 左側のメニューから、［セキュリティー］の左側にある［+］→［セキュリティー一般］の順にクリックします。
   [セキュリティー一般] 画面が表示されます。

4. 証明書を生成します。［自己証明書の生成］ボタンをクリックします。

5. 表示された画面で、［公開キーのサイズ］と［発行者］を設定し、［証明書の生成］ボタンをクリックします。

6. ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されるので、機械管理者のユーザーIDとパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

補足
・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

7. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

8. 再度、［セキュリティー］の左側にある［+］→［セキュリティー一般］の順にクリックして、［セキュリティー一般］画面を表示します。

9. ［HTTPS］の［有効］にチェックを付けます。

10. ［ポート番号］を設定します。

補足
・ 他のポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

11. ［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。

12. Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザーのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

・ IP アドレスの入力例

https://192.168.1.100/

・ インターネットアドレスの入力例

https://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足
・ CentreWare Internet Services を起動すると、［プロパティ］の［セキュリティー］の下に［証明書管理］が表示され、証明書の情報を確認したり、削除したりすることができます。

通信暗号化して印刷するための設定

印刷時に通信データを暗号化するには、IPP ポートを使用します。

プリンター側の設定で、IPP ポートが［キドウ］に設定されていない場合（初期値：［テイシ］）は、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 31) を参照して起動してください。

次に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

以下に、Windows XP の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

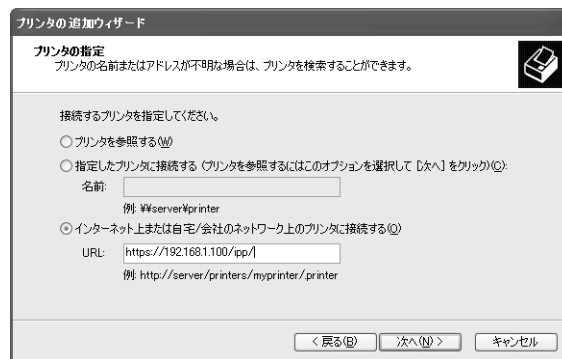
補足
・ インストール手順についての詳細は、CentreWare の CD-ROM 内の『マニュアル（HTML）』を参照してください。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］を選択します。

2. ［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］を選択します。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピューターに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

5. [インターネットまたは自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択し、[URL] に次の URL を入力して [次へ] をクリックします。
「https://(お使いの機種の IP アドレス)/ipp/」

6. [ディスク使用] をクリックします。

7. 表示された画面で「(CD-ROM のドライブ名):¥Art_ex¥Win2000_XP」と入力し、[OK] をクリックします。

8. 本プリンターのドライバーを選択して、[OK] をクリックします。

9. 通常使うプリンターに設定する場合は [はい] を、設定しない場合は [いいえ] を選択して、 [次へ] をクリックします。

10. [完了] をクリックします。

IP アドレスによる受信制限

本機では、使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。ここでは、CentreWare Internet Services を使用した設定方法を説明します。

補足
- 操作パネルを使った設定については、「[ウケツケ セイゲン]（受け付け制限）」(P. 127) を参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足
- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 32) を参照してください。

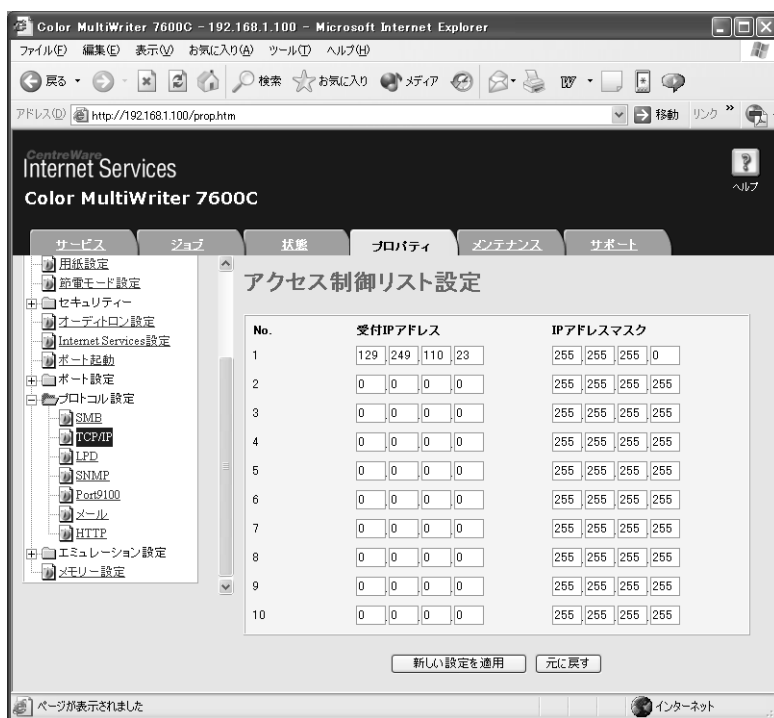
1. ［プロパティ］タブをクリックします。

2. 左側のメニューから［プロトコル設定］の左側にある［+］→［TCP/IP］の順にクリックします。

3. 右側フレームの下部にある［アクセス制御リスト］を表示させたら、［アクセス制御］の [有効] にチェックを付け、[編集] ボタンをクリックします。

補足
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

4. 表示された画面で、［受付 IP アドレス］に、TCP/IP で接続を許可する IP アドレスを設定します。

5. [IP アドレスマスク] に、[受付 IP アドレス] で登録した IP アドレスに対するアドレスマスクを設定します。
たとえば、[受付 IP アドレス] を 129.249.110.23、[IP アドレスマスク] を 255.255.255.0 に設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.*(* は 1 ～ 254) になります。

6. 設定ができたら、[新しい設定を適用] をクリックします。

7. Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。[再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

7.6　印刷枚数を確認する

印刷の総枚数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

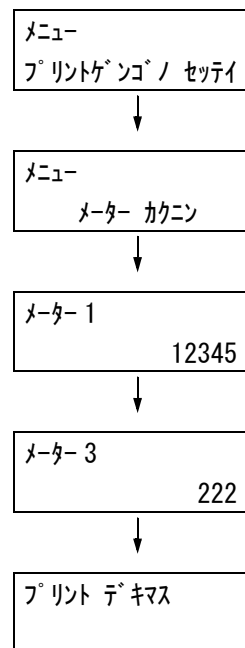
カラーモード別に総印刷枚数を確認する（メーター）

メーターは、カラーモードによって区分されています。操作パネルのディスプレイの表示で、メーター別の総印刷枚数を確認できます。

メーター１	白黒印刷
メーター２	通常は使用しません
メーター３	カラー印刷

補足
- アプリケーション側で ICC プロファイルなどを使って色変換した印刷データを、［カラー（自動判別）］で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。
  また、その場合、メーターはメーター３（カラー印刷）がカウントされます。
- 両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は１ページとしてカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［メーター　カクニン］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［メーター１］が表示されます。
4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。
5. 確認が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

コンピューター別に印刷枚数を確認する（プリンター集計レポート）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、カラーと白黒それぞれについて、プリンター集計レポートで確認できます。プリンター集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

プリンター集計レポートの印刷やデータの初期化は、操作パネルから行います。

補足
・ 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、［プリンター集計レポート］は印刷できません。代わりに、［プリンター集計管理レポート］が印刷されます。

参照
・ 印刷方法 :「レポート / リストを印刷する」(P. 187)
・ データの初期化 :「プリンター集計のデータを初期化する」(P. 200)

プリンター集計レポートの印刷結果について

プリンター集計レポートには、次の項目が印刷されます。

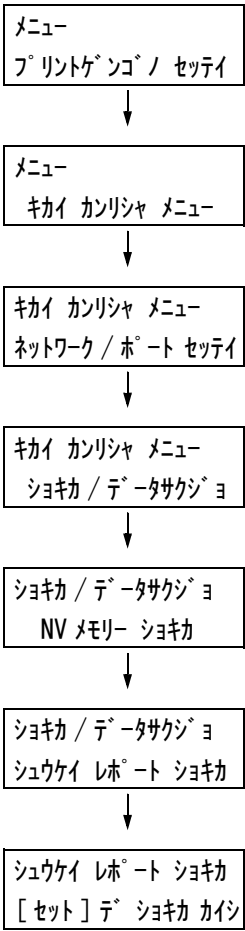
初期化日時 2005/07/08 09:00 AM　　レポート印刷日時 : 2005/07/08 10:01 PM
ページ : 1(最終)

	ページ数								枚数		
	カラー						白黒		カラー	白黒	
	サイズ					カラー	白黒		カラー	白黒	
ジョブオーナー名	A3	A4	B4	B5	その他	総ページ数	総ページ数	総ページ数	総枚数	総枚数	総枚数
UnknownUser	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Report/List	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3
総合計	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3

初期化日時	プリンター集計のデータを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンター集計レポートを印刷した日時です。
ジョブオーナー名	最大 200 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象になるユーザー名はプリンタードライバーの［ジョブオーナーの指定］で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 201 人め以降のユーザーの印刷ジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
カラー A3 ページ数	A3 以上のサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。本機ではカウントされません。
カラー A4 ページ数	A4 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー B4 ページ数	B4 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。本機ではカウントされません。
カラー B5 ページ数	B5 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーその他ページ数	B5 より小さなサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー総ページ数	カラーで印刷した総ページ数です。
白黒総ページ数	白黒で印刷した総ページ数です。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
カラー総枚数	カラーで印刷に使用した用紙の枚数です。
白黒総枚数	白黒で印刷に使用した用紙の枚数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

プリンター集計のデータを初期化する

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. [ショキカ / データサクジョ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［NV メモリー ショキカ］が表示されます。
6. [シュウケイ レポート ショキカ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   処理を開始させる画面が表示されます。

8. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   データが初期化されます。
9. 処理が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

機能別に印刷枚数を確認する（機能別カウンターレポート）

本レポートでは、2 アップ機能や両面印刷機能を使用した場合のプリントページ数や、プリント枚数も確認できます。

参照
・「レポート / リストを印刷する」(P. 187)

プリンター関連カウンター

項目	
プリントページ数	
総ページ数	4
カラー	
総ページ数	0
プリンター	0
レポート	0
2アップ	0
2アップ以外	0
白黒	
総ページ数	4
プリンター	0
レポート	4
2アップ	0
2アップ以外	0
プリント枚数	
総プリント枚数	4
プリンター	0
レポート	4
両面プリント枚数	
総プリント枚数	0
プリンター	0
レポート	0
うら紙プリント枚数	
総プリント枚数	0
プリンター	0
レポート	0

7.7 認証と集計管理機能について

本機には、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

認証 / 集計管理機能の概要

本機で認証機能を使用した場合は、本機を使用できるユーザーを限定し、その印刷枚数を管理したり、集計したりできます。

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって、次の機能が制限されます。

■ CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要になります。本機に登録されているユーザー、または機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

■ コンピューターからの印刷

ジョブの種類によって、次のように印刷が制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用した印刷	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、印刷できます。 また、本機でカラー印刷が禁止されている場合は白黒印刷しかできません。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降の印刷はできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（メールプリント、ContentsBridge Utility 使用時など）	本機で、［ユーザー指定なしの印刷の許可］が［有効］になっている場合だけ、印刷できます。初期値は無効になっています。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今まで印刷した白黒累積ページ数、カラー累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

・ 印刷方法 :「レポート / リストを印刷する」(P. 187)
・ データの初期化 :「プリンター集計のデータを初期化する」(P. 200)

初期化日時　2005/07/08　05:40 PM

User IDのないジョブの出力許可　しない

No.	ユーザー名	User ID	上限ページ数 白黒	上限ページ数 カラー	累積ページ数 白黒	累積ページ数 カラー	累積枚数
	No Job Owner				1	1	0
	No Job Owner				1	1	3
	総合計				2	2	3

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

ユーザーの認証方法

ユーザーを確認（認証）するには、次の 2 つの方法があります。どちらの方法を使用するかを、操作パネルの [キカイカンリシャメニュー] ＞ [システムセッテイ] ＞ [ニンショウ / シュウケイカンリ] で、設定します。

・ 本体認証
  CentreWare Internet Services を使って、本機にあらかじめ、利用するユーザーの認証情報を登録しておきます。そこで設定されたユーザー ID やパスワードによって認証管理をします。

・ ネット認証
  ネットワーク上のサーバーなどにある、外部アカウンティングサービスで管理されているユーザー情報を使って認証管理をします。
  外部アカウンティングサービスから本機に管理しているユーザー情報を送信し、本機に登録します。ネット認証は、複数台の本機で、ユーザー情報を一元管理する場合に向いています。

補足
・ ネット認証には、ハードディスク（オプション）が必要です。
・ 本機が対応している外部アカウンティングサービスには、CentreWare EasyAdmin などがあります。ネット認証の場合は、ユーザー情報や制限の設定、集計管理は、外部アカウンティングサービスで行います。各サービスのマニュアルを参照してください。

本機への認証情報の登録

操作パネルで［ホンタイニンショウ］に設定すると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。以下に手順を簡単に説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

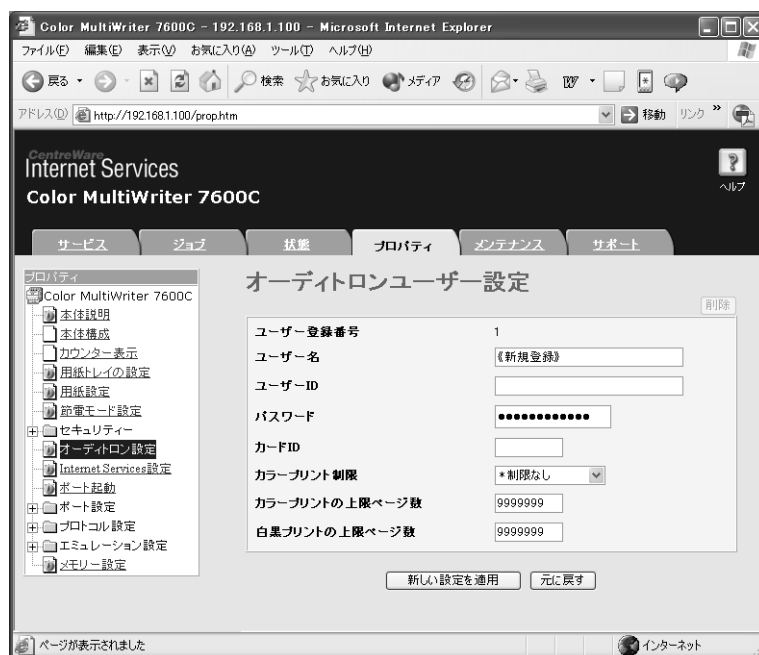
- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 32) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

2. ［プロパティ］タブをクリックします。

3. 左側のメニューから［オーディトロン設定］をクリックします。
   ［オーディトロン設定］画面が表示されます。［ホンタイニンショウ］が設定されている場合、［オーディトロンモード］には［ローカル］と表示されます。

4. 本機用プリンタードライバーを使用しないで送られてきたジョブに対して、印刷を許可する場合は、［ユーザー指定なし印刷の許可］の [有効] にチェックを付けます。

5. ［ユーザー登録番号］を設定し、［編集］ボタンをクリックします。

6. 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

補足
- ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、［元に戻す］をクリックします。

7. Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで以下の設定をします。このユーザー ID とパスワードが本機に登録されている認証情報と一致しないと印刷できません。ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足
- プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックします。

2. 本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

3. ［初期設定］タブで［認証情報の設定］をクリックします。

4. ［認証情報の設定］ダイアログボックスで各項目を設定し、［OK］をクリックします。

5. プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。

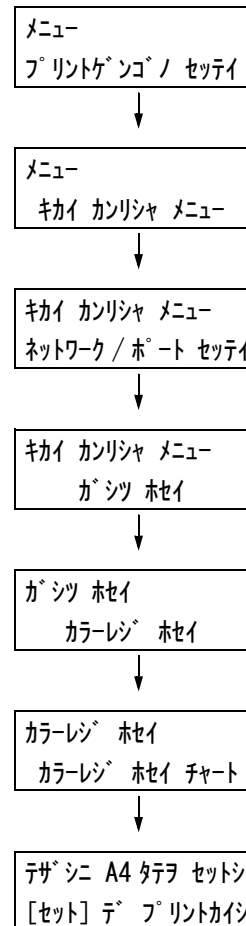
7.8 カラーレジを補正する

プリンターを設置、移動したら、カラーレジを補正します。

また、印刷結果に色版のずれが発生した場合も、カラーレジ補正チャートを印刷して設定値を確認し、カラーレジを補正してください。

カラーレジ補正チャートを印刷する

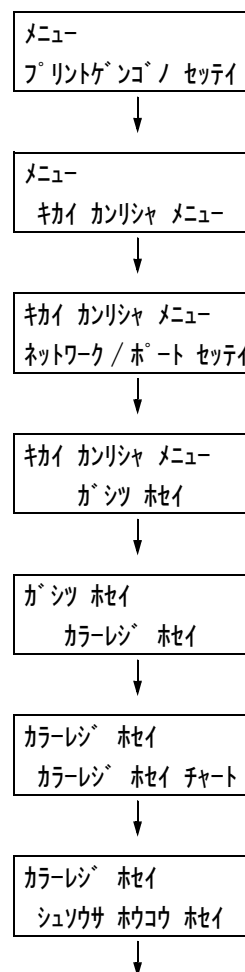
チャートは、手差しトレイを使用して A4 サイズの用紙に印刷します。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [キカイ カンリシャ メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [ネットワーク / ポート セッテイ] が表示されます。
4. [ガシツ ホセイ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [カラーレジ ホセイ] が表示されます。
6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   [カラー レジ ホセイ チャート] が表示されます。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   手差しトレイへの用紙のセットを促す画面が表示されます。
8. 手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットします。
9. 〈排出 / セット〉ボタンで印刷します。
   カラーレジ補正チャートが印刷されます。
10. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンでプリント画面に戻ります。

補正値の決め方

印刷されたカラーレジ補正チャートの［LY］から［RC］まで、全部で 9 項目について、各色の線と目盛りの線とが最も直線に近いものの数値を 1 きざみで読み取ります。

読み取った数値が、全部［0］の場合は、補正する必要はありません。
［0］以外の数値が、1 つでもあった場合は、「補正値を入力する」(P. 207) の手順に従って、補正してください。

補正値を入力する

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. ［ ガシツ ホセイ ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［カラーレジ ホセイ］が表示されます。
6. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［カラーレジ ホセイ チャート］が表示されます。
7. 〈▼〉ボタンを押して、［シュソウサ ホウコウ ホセイ］を表示します。

8. 〈▶〉ボタンで選択します。
   補正項目を選択する画面が表示されます。

9. 補正が必要な項目が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。（例：CC）

10. 〈▶〉ボタンで選択します。
   補正値を入力する画面が表示されます。

11. 〈▶〉ボタンでフィールドを移動しながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで補正値を入力します。
   （例：-2）

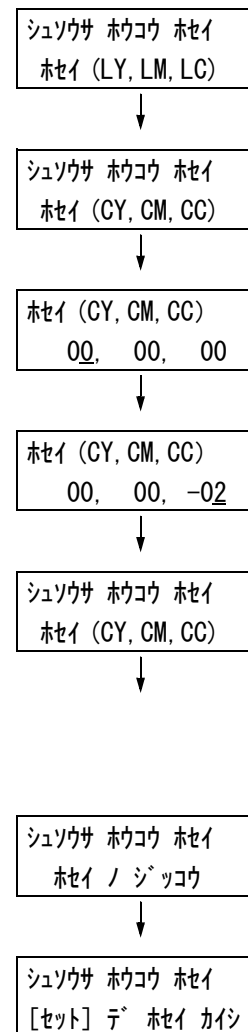
12. 補正値を入力したら、〈排出 / セット〉ボタンで決定します。
   手順 9 の画面に戻ります。

13. ほかの主走査方向も補正する場合は、同様に指定します。

14. すべての補正値が指定できたら、[ホセイ ノ ジッコウ] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

15. 〈▶〉ボタンで選択します。
   補正を実行させる画面が表示されます。

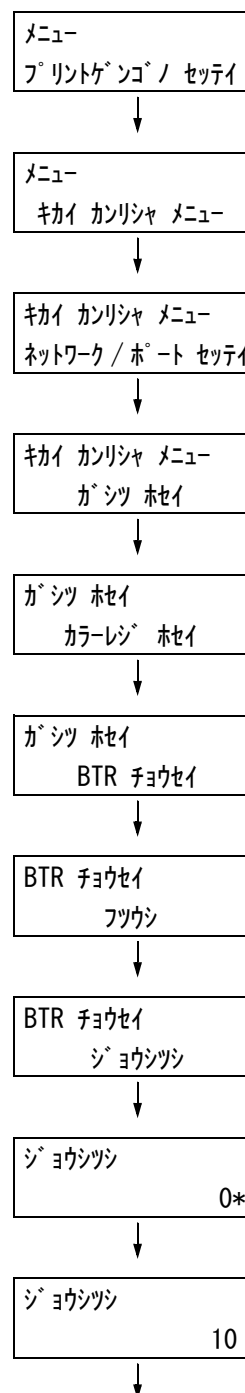
16. 〈排出 / セット〉ボタンで実行します。
   補正が実行されます。

17. 処理が終わったら、〈メニュー〉ボタンでプリント画面に戻ります。

7.9　転写電圧を調整する

次のような症状が頻繁に発生する場合は、転写電圧の設定が適切でない可能性があります。その場合は、操作パネルで調整してください。

・ 画像の一部が白点になる（転写電圧をマイナス方向に変更する）
・ 画像周辺にトナーが飛び散る（転写電圧をプラス方向に変更する）
・ 画像全体が青みがかかっている（転写電圧をプラス方向に変更する）

転写電圧は、用紙の種類ごとに- 20 ～ 30 までの値（単位 :1）で設定できます。初期値は、0 です。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。
4. ［ガシツ　ホセイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉ボタンで選択します。
   ［カラーレジ ホセイ］が表示されます。
6. ［BTR チョウセイ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉ボタンで選択します。
   用紙種類を選択する画面が表示されます。
8. 設定する用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：上質紙）
9. 〈▶〉ボタンで選択します。
   現在の設定値が表示されます。
10. 〈▲〉〈▼〉ボタンで値を入力します。（例 :10）

11. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

ｼﾞｮｳｼﾂｼ
10*

12. 他の用紙種類も調整する場合は、〈◀〉ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

13. 設定が終わったら、〈メニュー〉ボタンでプリント画面に戻ります。

7.10 フューザー温度を調整する

次のような症状が頻繁に発生する場合は、フューザーの定着温度が適切でない可能性があります。その場合は、操作パネルで調整してください。

- トナーがすぐにはがれる（定着温度をプラス方向に変更する）
- 文字や画像が約 80mm ずれたところに二重に印字される
- 光沢がない（定着温度をプラス方向に変更する）

フューザー温度は、用紙の種類ごとに- 4 ～ 2 までの値（単位 :1）で設定できます。初期値は、 0 です。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［キカイ カンリシャ メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［ネットワーク / ポート セッテイ］が表示されます。

4. ［ ガシツ ホセイ ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

5. 〈▶〉ボタンで選択します。
［カラーレジ ホセイ］が表示されます。

6. ［ フューザー チョウセイ ］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

7. 〈▶〉ボタンで選択します。
用紙の種類を選択する画面が表示されます。

8. 設定する用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：上質紙）

```
ﾌｭｰｻﾞｰ ﾁｮｳｾｲ
      ｼﾞｮｳｼﾂｼ
```

9. 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

```
ｼﾞｮｳｼﾂｼ
              0*
```

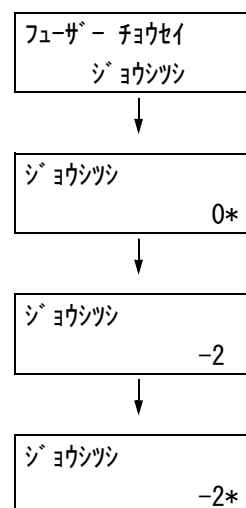
10. 〈▲〉〈▼〉ボタンで値を入力します。（例：-2）

```
ｼﾞｮｳｼﾂｼ
             -2
```

11. 〈排出 / セット〉ボタンで決定します。

```
ｼﾞｮｳｼﾂｼ
             -2*
```

12. 他の用紙種類も調整する場合は、〈◀〉ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

13. 設定が終わったら、〈メニュー〉ボタンでプリント画面に戻ります。

7.11 清掃について

ここでは、プリンターを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンターの清掃の方法について説明します。

⚠ 注意
・ 機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

プリンター外部の清掃

約 1 か月に 1 回、プリンターの外部を清掃してください。プリンターの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記
・ 洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

プリンター内部の清掃

紙づまりの処置やドラムカートリッジ、トナーカートリッジの交換のあとは、カバーを閉じる前に内部の点検および清掃を行ってください。

⚠ 注意
・「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
　なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

・ 紙片が残っている場合は、取り除きます。
・ ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。

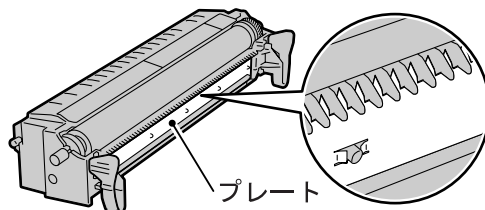
また、次のような症状が発生した場合には、必要に応じて、下記の清掃を行ってください。

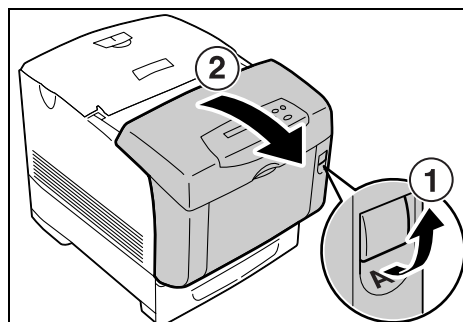
症状	清掃	参照
次のメッセージが表示された ・[ガシツチョウセイセンサー ヲ クリーニング シテクダサイ] ・[プリント　デキマス　ガシツセンサー テンケンジキ]	画質調整センサーの清掃	「画質調整センサーを清掃する」(P. 213)
約 30mm 間隔で色点が印刷される	ドラムカートリッジの清掃	「ドラムカートリッジを清掃する」(P. 215)
トナーの色が混じって印刷される	現像器のクリーニング	「[エンジン クリーニング]」(P. 142)

画質調整センサーを清掃する

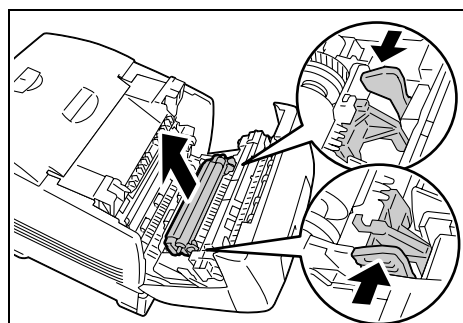
プリンター内部の画質調整センサーが汚れたときは、次の手順で画質調整センサーを清掃してください。

注記

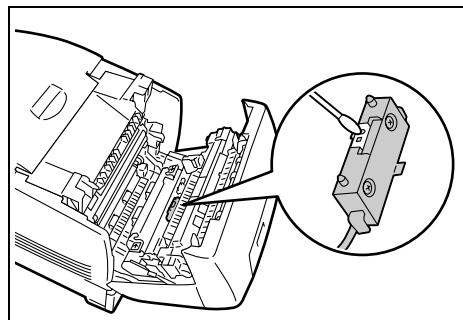
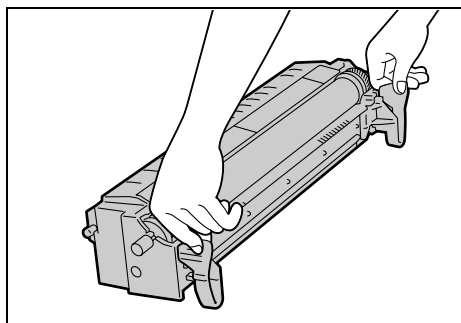
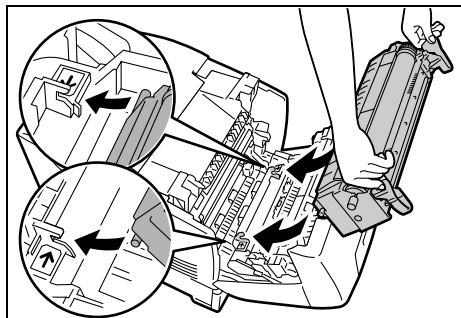
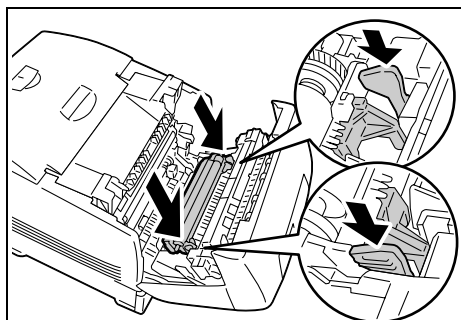
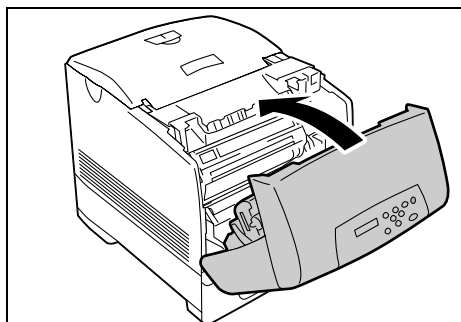
・ 転写ロールカートリッジの上部にあるプレートの周辺部は鋭利なので、このプレートには触らないでください。

1. プリンターの電源を切ります。

2. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。

3. 転写ロールカートリッジ両端のタブをしっかりとつかみ、静かに持ち上げます。

注記

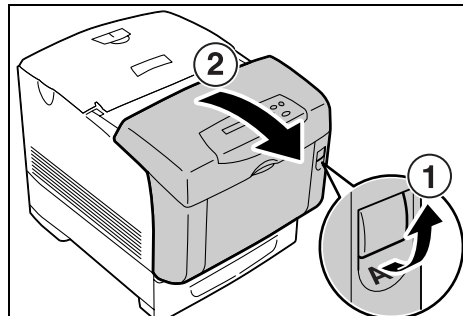
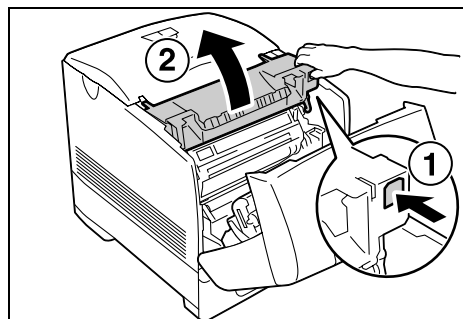
・ プリンター内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものもあります。プリンターが冷却してから、部品を取り外してください。

4. 乾いた布または綿棒で、画質調整センサーの窓を軽く拭きます。

補足

・ 画質調整センサーの窓は硬いもので拭いたり、強く拭いたりしないでください。

5. 転写ロールカートリッジを元に戻すため、図のようにタブをしっかりとつかみます。

6. 転写ロールカートリッジの矢印とプリンターの矢印を合わせて、プリンター本体に挿入します。

7. カチッと音がするまで、しっかりと転写ロールカートリッジを押し込みます。

8. フロントカバーを閉じます。

9. プリンターの電源を入れます。

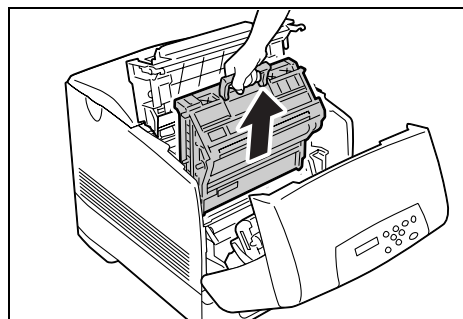
ドラムカートリッジを清掃する

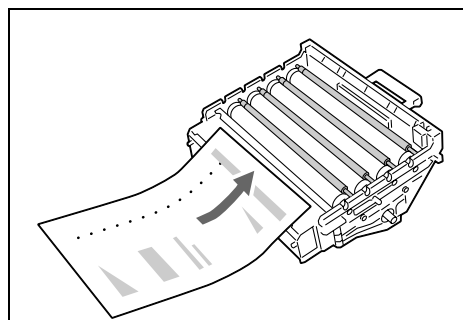
等間隔（約 30mm）に色点が印刷されてしまう場合は、次の手順でドラムカートリッジを清掃してください。
以下に、マゼンタの色点が印刷される場合を例に説明します。

1. 排出トレイにある用紙は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. A レバーを引いて、フロントカバーを開けます。

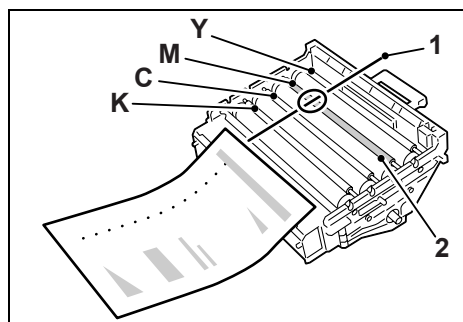
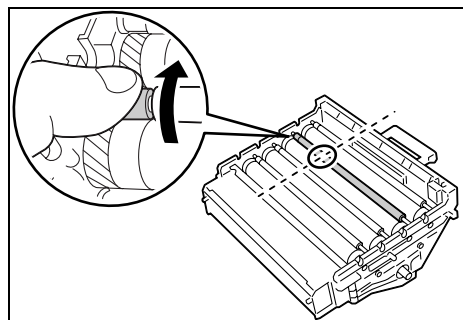
3. 図のボタンを押して排出トレイカバーを開けます。

4. ドラムカートリッジを、ハンドルを持って引き出します。

注記
・ プリンター内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものもあります。プリンターが冷却してから、部品を取り外してください。

5. 色点が印字されている文書を、印刷された面をおもてにして机の上に置きます。ドラムカートリッジの中心を文書の中心に合わせて、図のように置きます。

補足
・ 感光体に光があたり過ぎないように、作業は手早く行ってください。

6. ドラムカートリッジの清掃場所を見つけます。用紙の色点が印字されている位置の延長線（1）とドラムカートリッジの色点の色(2)が交差するところを特定してください。この部分が色点の発生場所です。

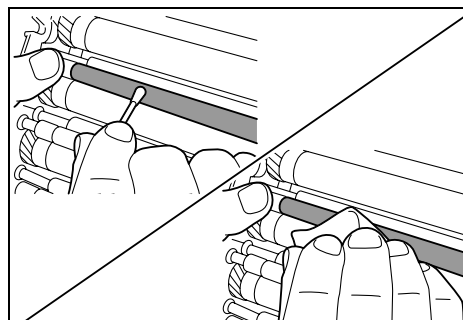
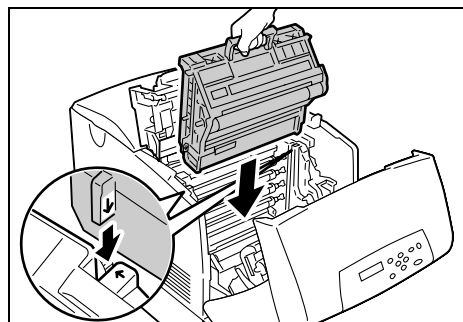
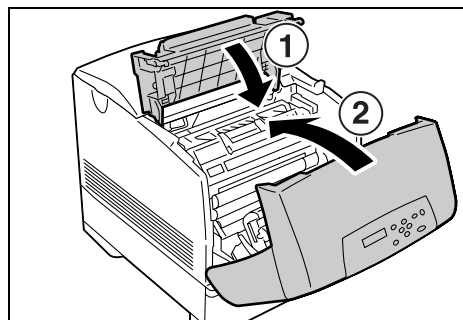
補足

・右図は、マゼンタの色点が印字される場合を例にしています。印刷される色点の色に応じて、場所を変えてください。

7. 色点が発生する場所を特定できたら、帯電ローラー（黒いローラー）に付いているグレーの部品を指でまわし、汚れを見つけます。

8. ローラーの汚れを取り除きます。

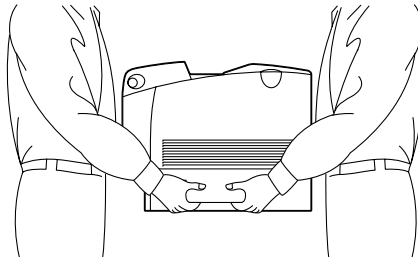
注記

・感光ドラムの表面（緑色のローラー）や、帯電ローラー（黒いローラー）に手や物が触れたり、引っかいたりしないよう注意してください。

補足

・清掃には、木綿のような柔らかい布を使ってください。

9. ドラムカートリッジの平らな方を、プリンターの背面に向けてハンドルを持ち、ドラムカートリッジの両側のローラーを、プリンターの矢印の前にある溝に合わせます。ドラムカートリッジを静かにプリンターに挿入します。

10. 排出トレイカバー、フロントカバーの順に、カバーを閉じます。

7.12 プリンターを移動するときは

プリンターを移動するときは、次の手順に従ってください。

⚠ 注意
- プリンターの重さは、31.6kg（本体のみ）です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。
- 機械を持ち上げるときは、まず、ドラムカートリッジを外します。次に 2 人で機械正面（操作パネル側）と背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。これらのことを守らないと、落下によるケガの原因となります。

注記
- 本機は、背面側よりも操作パネル側のほうが重くなっています。持ち上げるときは、バランスをくずさないように注意してください。
- オプションのトレイを取り付けている場合は、プリンター本体から取り外して運搬してください。プリンター本体との固定が不十分な場合、落下によるケガの原因になります。

1. プリンター右側面にある電源スイッチの <○> 側を押し、電源を切ります。

2. 電源コード、インターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。

⚠ 警告
- 電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災や感電の原因となるおそれがあります。

3. 排出トレイにある用紙を取り除きます。排紙ストッパーが立っている場合は、元に戻します。

4. 手差しトレイにある用紙を取り除き、手差しトレイを閉じます。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリのない場所に保管します。

5. プリンターから用紙トレイを引き出して、トレイにある用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリのない場所に保管します。

6. A レバーを引いてフロントカバーを開け、右側のボタンを押して排出トレイカバーを開きます。

7. ドラムカートリッジを、ハンドルを持って引き上げて取り外します。

注記
- プリンター内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものもあります。
- ドラムカートリッジは、必ず取り外してください。ドラムカートリッジを取り付けたまま運搬すると、カートリッジ内のトナーでプリンター内部が汚れることがあります。
- 取り外したドラムーカートリッジは、強い光に当たらないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

8. 排出トレイカバーとフロントカバーを閉じます。

9. プリンターを持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、プリンターを梱包して運送してください。

10. 移動後に使用する場合は、カラーレジ補正をしてください。

参照
・「7.8 カラーレジを補正する」(P. 206)

A 付 録

A.1 主な仕様

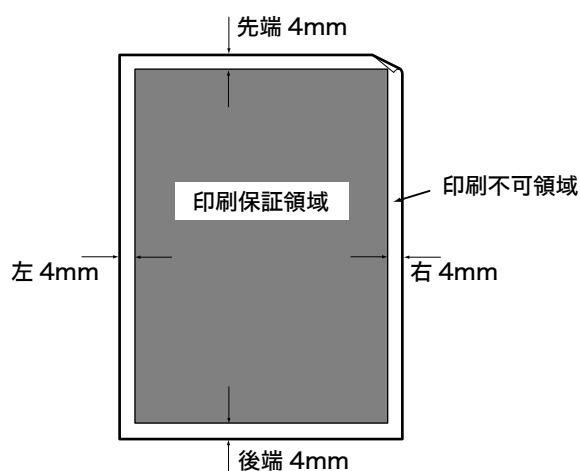
製品の仕様

項 目	内 容
形式	デスクトップ
プリント方式	レーザーゼログラフィー **注記** * 半導体レーザー＋乾式電子写真方式
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップ・タイム	35 秒以下（電源投入時、室温 22°C）
連続プリント速度 *1	カラー　片面：25 枚 / 分 *2 、両面：14.8 ページ / 分 *3 モノクロ　片面：35 枚 / 分 *2 、両面：20.4 ページ / 分 *3 **注記** *1 官製はがき、OHP フィルム、封筒などの用紙種類、サイズやプリント条件によって、プリント速度が低下する場合があります。また、画質調整のためプリント速度が低下する場合があります。 *2 A4 同一原稿連続プリント時。 *3 A4 連続プリント時。
ドット間隔	0.0423x0.0423mm（1/600x1/600 インチ） 0.0212x0.0212mm（1/1200x1/1200 インチ）
階調 / 表現色	各色 256 階調（1,670 万色）
用紙サイズ	手差しトレイ： A4、B5、A5、8.5×14"（Legal）、8.5×13"（Folio）、8.5×11"（Letter）、はがき、 封筒（洋形２号、洋形３号、洋形４号、洋長形３号、C5）、 ユーザー定義(幅88.9～215.9mm､長さ 139.7～355.6mm)、 長尺用紙（長さ 355.7 ～ 900mm）
	トレイ１～４（トレイ２～４はオプション）： A4、B5、A5、8.5×14"（Legal）、8.5×13"（Folio）、8.5×11"（Letter）
	両面印刷： A4、B5、A5、8.5×14"（Legal）、8.5×13"（Folio）、8.5×11"（Letter）、 ユーザー定義（幅 149 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm）
	像欠け幅：先端 / 後端 / 両端 4mm

項　目	内　容
用紙種類	手差しトレイ： 普通紙（60 ～ 80g/m^2）、再生紙（60 ～ 80g/m^2）、 上質紙（74 ～ 105g/m^2）、厚紙 1（106 ～ 163g/m^2）、 厚紙 2（164 ～ 216g/m^2）、コート紙 1（60 ～ 105g/m^2）、 コート紙 2（106 ～ 163g/m^2）、OHP フィルム（モノクロ用）、 ラベル紙、封筒、はがき
	トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）： 普通紙（60 ～ 80g/m^2）、再生紙（60 ～ 80g/m^2）、 上質紙（74 ～ 105g/m^2）、厚紙 1（106 ～ 163g/m^2）
	両面印刷： 普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、コート紙 1 対応メートル坪量：64 ～ 163g/m^2
	注記 * 推奨紙をご使用ください。用紙の種類によっては、正しく印刷できない場合があります。インクジェット専用用紙はご使用にならないようお願いします。かもめーるや年賀状などの再生紙はがきは使用できません。使用済用紙の裏面や事前印刷用紙への印刷では、プリント不良などの品質低下が発生する場合がありますので、ご注意ください。 * 推奨紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。
給紙容量 （当社 P 紙）	標準： 手差しトレイ　150 枚、トレイ 1　550 枚 オプション： 1 トレイモジュール　550 枚 2 トレイキャビネット　1,100 枚（550 枚 x2） 標準と 1 トレイモジュール、2 トレイキャビネットを合わせて手差し +4 段で、最大 2,350 枚
出力トレイ容量 （当社 P 紙）	標準：約 250 枚（フェイスダウン）
CPU	MPC8245　400MHz
メモリー容量	標準：128MB、メモリースロット 1 個（空スロット 1 個） オプション：128/256/512MB 増設メモリー（最大 640MB） **注記** * 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。
ハードディスク	オプション：40GB
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5、欧文 30 書体、MM フォント 2 書体） オプション ・PostScript フォント： ・平成 2 書体、欧文 136 書体、OCR-B フォント、バーコードフォント ・モリサワ 2 書体、欧文 136 書体、OCR-B フォント、バーコードフォント ・PCL フォント： ・欧文 81 書体

項　目	内　　容
ページ記述言語	標準：ART EX オプション：Adobe® PostScript® 3™ *1 **注記** *1 PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
エミュレーション	標準： ART IV、ESC/P、TIFF、PDF オプション： PC-PR201H*1、HP-GL*1、HP-GL/2*1、PCL 5c*1、PCL6*1 **注記** *1 PostScript ソフトウエアキット（オプション）またはエミュレーションキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
対応 OS *1	Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0(SP4.0 以上)、Windows® 2000/ XP、Windows Server™ 2003、Mac OS*2 **注記** *1 最新対応 OS についてはお買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。 *2 Mac OS 7.6.1 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.1.5/10.2/10.3 に対応。PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
インターフェイス	標準：双方向パラレル（IEEE1284 準拠）、 Ethernet（100BASE-TX/10BASE-T）、 USB 1.1、USB 2.0
対応プロトコル	TCP/IP（LPD、Port9100、IPP、HTTP）、SMB、NetWare、EtherTalk*1 **注記** *1 Mac OS 7.6.1 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.1.5/10.2/10.3 に対応。PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。
電源	AC 100V±10%、15A、50/60Hz 共用 **注記** * 推奨コンセント容量。機械側最大電流 11A
動作音 （本体のみ）	稼動時：6.94B 以下、54dB（A）以下 待機時：4.95B 以下、33dB（A）以下 **注記** * ISO9296 に基づく 単位 B：音響パワーレベル 単位 dB（A）：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）
消費電力	最大：1,100W、スリープモード時：5.5W 以下 平均：待機時 70W、 カラー連続プリント時 440W、 モノクロ連続プリント時 430W **注記** * 低電力モード時：28W （本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。）

項　目	内　　容
大きさ（本体のみ）	幅 429× 奥行 580× 高さ 457mm
質量	35kg（消耗品を含む、本体のみ）

印刷できる領域

内蔵フォント

標準で以下のフォントを内蔵しています。

補足
- オプションの PostScript で使用できるフォントについては、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
- オプションの PCL で使用できるフォントについては、プリンター本体に同梱されている CentreWare CD-ROM 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

ストロークフォント（HP-GL/2 専用）

- 欧文＋カタカナストロークフォント
- 日本語ストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

●：装備

	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
和文	平成明朝体 ^{TM}W3	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 ^{TM}W5	●	●	●	●	●
	平成明朝体 ^{TM}W3P	●				●
	平成角ゴシック体 ^{TM}W5P	●				●
	ストロークフォント				●	
	平成明朝体 ^{TM}W3 拡張部		●	●		
	平成角ゴシック ^{TM}W5 拡張部		●	●		
欧文	ストロークフォント				●	
	Arial	●	●			●
	Arial Bold	●	●			●
	Arial Italic	●	●			●
	Arial Bold Italic	●	●			●
	Century	●	●			●
	Courier	●	●			●
	Courier Bold	●	●			●
	Courier Italic	●	●			●
	Courier Bold Italic	●	●			●
	CS Times Roman	●	●			
	CS Times Bold	●	●			
	CS Times Bold Italic	●	●			
	CS Times Italic	●	●			
	CS Courier Medium	●	●			
	CS Courier Bold	●	●			
	CS Courier Bold Oblique	●	●			
	CS Courier Oblique	●	●			
	CS Triumvirate	●	●			
	CS Triumvirate Bold	●	●			
	CS Triumvirate Bold Italic	●	●			
	CS Triumvirate Italic	●	●			
	CS Symbol	●	●			

	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
欧文	ITC ZapfDingbats					●
	Times New Roman	●				●
	Times New Roman Bold	●				●
	Times New Roman Italic	●				●
	Times New Roman Bold Italic	●				●
	Century	●				
	Symbol	●	●			●
	Wingdings	●	●			
	OCRB		●	●		
	GoldSEMM					●
	GoldSAMM					●

A.2　オプション品の紹介

主なオプション品は以下のとおりです。お買い上げの際には、販売店までご連絡ください。

商 品 名	型番	備考
ハードディスク	PR-L7600C-HD	次の機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。 ・ セキュリティープリント ・ サンプルプリント ・ 時刻指定プリント ・ メールプリント ・ CentreWare Internet Services からのプリント
増設メモリ（128MB）	PR-L7600C-M1	メモリー容量を増やします。 PostScript ソフトウエアキットを取り付ける場合に必要です。 また、印刷する原稿や用紙サイズ、印刷条件によっては、増設メモリが必要な場合があります。増設メモリを取り付ける場合は、『設置手順書』または「増設メモリ（オプション）の取り付けについて」(P. 233) を参照して、取り付け位置を間違えないようにしてください。
増設メモリ（256MB）	PR-L7600C-M2	
増設メモリ（512MB）	PR-L7600C-M3	
1 トレイモジュール	PR-L7600C-02	標準紙(P 紙)を 550 枚までセットできる用紙トレイです。 プリンター本体の直下に取り付けることができます。
2 トレイキャビネット	PR-L7600C-03	標準紙（P 紙）を 550 枚までセットできる用紙トレイが 2 段で構成されています。 プリンター本体の直下に取り付けたり、オプションの 1 トレイモジュールと組み合わせて取り付けることができます。
PostScript ソフトウエアキット ・ 平成 2 書体 ・ モリサワ 2 書体	 PR-L7600C-PSH PR-L7600C-PSM	Adobe PostScript 3、PC-PR201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL5c、PCL6 で印刷できるキットです。 PostScript で、Macintosh からも印刷できるようになります。 使用するには、128MB 以上の増設メモリ（オプション）の取り付けが必要です。
エミュレーションキット	PR-L7600C-EM	PC-PR201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL5c、PCL6 で印刷できるキットです。
メディアプリントキット	PR-L7600C-MEP	メディアカードに蓄積したデータを本機に直接取り込んで印刷できるようになります。
スキャナユニット (A3 スキャン対応)	PR-MW-SC50	ネットワークカラースキャナユニット（自動両面原稿送り装置標準装備）です。A3 スキャン対応版と A4 スキャン対応版があります。 本機と USB ケーブルで接続するだけで、容易にコピー機能が実現できます。さらに、スキャナ単体としても高速なネットワークスキャナとして使用できます。 また、スキャナテーブル (PR-NW-ST40) を別売りしています。詳しくは、スキャナユニット (PR-NW-SC50/40) のユーザーズマニュアル、または「http://nec8.com」をご覧ください。
スキャナユニット (A4 スキャン対応)	PR-MW-SC40	

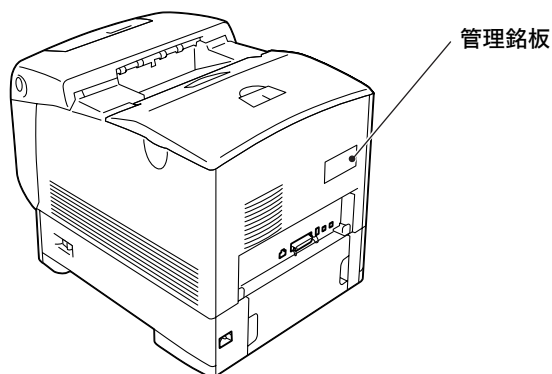
・ 商品の種類や商品コードは 2005 年 12 月現在のものです。
・ 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
・ 最新の情報については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

A.3　保証について

保証書について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

注記

・ 本体の背面に製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守
  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 (原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料 *2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、 インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

*2　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

Color MultiWriter 7600C の製品寿命は、印刷枚数が 60 万枚*、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

*：Color MultiWriter 7600C は、定期交換部品の交換が必要です。定期交換部品の交換については、販売店または「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

消耗品と定期交換部品の寿命について

■ 消耗品の寿命について

消耗品	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ（ブラック）	約 4,500 ページ
トナーカートリッジ（シアン） トナーカートリッジ（マゼンタ） トナーカートリッジ（イエロー）	約 4,000 ページ
大容量トナーカートリッジ（ブラック）	約 9,000 ページ
大容量トナーカートリッジ（シアン） 大容量トナーカートリッジ（マゼンタ） 大容量トナーカートリッジ（イエロー）	約 8,000 ページ
ドラムカートリッジ	約 35,000 ページ
転写ロールカートリッジ	約 35,000 ページ

注記
- トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、A4 サイズ・像密度各色 5% の印字比率で普通紙で連続印刷した場合の参考値です。なお実際の交換サイクルは、印刷条件や原稿の内容によって異なります。
- ドラムカートリッジ、転写カートリッジの印刷可能ページ数は、A4 サイズ・像密度各色 5% の印字比率・カラーモノクロ比率 1:1・一度に印刷する枚数を平均 4 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際の印刷可能枚数は、印刷内容や、用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、参考値と大きく異なることがあります。

■ 定期交換部品の寿命について

部品名	交換寿命
フューザーユニット	約 100,000 ページ
リタードロール	約 100,000 ページ
現像器ユニット	約 300,000 ページ
300k 定期交換キット	約 300,000 ページ

補足
- 交換寿命のページ数は、A4 サイズ・像密度各色 5% の印字比率・カラーモノクロ比率 1:1・一度に印刷する枚数を平均 4 枚として連続プリントした場合の参考値です。
- 交換寿命は、印刷内容や、用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、参考値と大きく異なることがあります。あくまでも目安としてお考えください。
- 定期交換部品は、エンジニアが交換いたします。
- フューザーユニットと現像器ユニットの交換時期を示すメッセージは、交換寿命の約 2,000 ページ前に表示されます。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

プリンターの型番：PR-L7600C

NEC PC マニュアルセンター

URL： http://pcm.mepros.com/

電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）

FAX： 03-5471-3996
24 時間受付。ただし、いただいた FAX に対する回答は翌営業日以降になります。

補足
・ 製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
・ 一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

・ プリンター製品に関する最新情報
インターネット「NEC8 番街」 URL：http://nec8.com/

・ プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
NEC 121 コンタクトセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。）

A.4 用紙サイズとメモリー容量について

プリンタードライバーの印刷モードの設定と印刷する用紙サイズによって、必要なメモリー容量は異なります。なお、必要なメモリー容量の数値は、本機の使用環境などによって異なります。下表のメモリー容量を参考にして、印刷を指示してください。

注記
- 印刷するデータによっては、メモリー容量が足りない場合があります。余裕ある容量を搭載してください。

補足
- プリンタードライバーの種類によって、必要なメモリー容量は異なります。
- 下表のメモリー容量は、本機が工場出荷時の設定であることを前提にした数値です。必要なメモリー容量は、プロトコルの起動状態や受信バッファサイズによって異なります。

ART EX プリンタードライバー

標準のメモリー容量は、128MB です。

		メモリー容量 片面（単位：MB）		メモリー容量 両面（単位：MB）	
印刷モード	用紙サイズ	出力可能	出力保証	出力可能	出力保証
標準	A5	128	128	128	128
	B5	128	128	128	128
	A4	128	128	128	256
	8.5x14	128	128	128	256
	長尺（215.9×900mm）	128	256	-	-
高画質	A5	128	-	128	-
	B5	128	-	128	-
	A4	128	-	128	-
	8.5x14	128	-	128	-
	長尺（215.9×900mm）	128	-	-	-
高精細	A5	128	256	128	256
	B5	128	256	256	384
	A4	128	256	256	384
	8.5x14	128	384	256	640
	長尺（215.9×900mm）	256	640	-	-

PostScript プリンタードライバー

PostScript データを印刷する場合は、必ず 256MB（標準 128MB+ 増設メモリ（オプション）128MB) 以上、必要です。

		メモリー容量 片面（単位：MB）		メモリー容量 両面（単位：MB）	
印刷モード	用紙サイズ	出力可能	出力保証	出力可能	出力保証
高速	A5	256	256	256	256
	B5	256	256	256	256
	A4	256	256	256	256
	8.5x14	256	256	256	256
	長尺（210×900mm）	256	256	-	-
高画質	A5	256	256	256	256
	B5	256	256	256	384
	A4	256	256	256	384
	8.5x14	256	384	256	640
	長尺（210×900mm）	256	640	-	-
高精細	A5	256	256	256	256
	B5	256	256	256	384
	A4	256	256	256	384
	8.5x14	256	384	256	640
	長尺（210×900mm）	256	640	-	-

A.5　注意 / 制限事項

本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

ハードディスク（オプション）について

- ハードディスクを取り付けている場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- ハードディスクを取り付けた場合、LPD、SMB、IPP からの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV、HP-GL、HP-GL/2 それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、201H（オプション）、ESC/P、HP-GL/2（オプション）、PCL（オプション）の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダーです。セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント文書、各ログは、消去されません。
- 節電モード時にハードディスクへアクセスがある場合には、〈節電〉ランプが点滅します。〈節電〉ランプが点滅中は、電源を切らないでください。

印刷結果が設定と異なるとき

- プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。
  - 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
  - ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）
- 1,200dpi の 1dot の点や線などを直接印刷指示した場合は､レーザー･ゼログラフィー原理によって、印字結果が指示どおりにならない場合があります。

オプションについて

- セキュリティー/ サンプル / 時刻指定プリント､メールプリントを使用する場合は､ハードディスク（オプション）が必要です。
- 本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。PostScript ソフトウエアキットには、128MB 以上の増設メモリ（オプション）が必要です。
- 201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL5c、PCL6 をエミュレートする場合は、エミュレーションキット（オプション）が必要です。

補足
- PostScript ソフトウエアキットとエミュレーションキットは、同時に取り付けられません。
- エミュレーションキットでご使用いただけるエミュレーション機能は、すべて PostScript ソフトウエアキットを増設した場合でもご使用いただけます。

- ページ印刷モードを使用する場合は、メモリーの増設が必要です。ページ印刷モードを［する］に設定すると、プリンター本体の印刷処理方法が変更されます。印刷するデータが大きい場合や、印刷を指示してもなかなか出力されない場合には、［する］を選択して印刷を試してください。

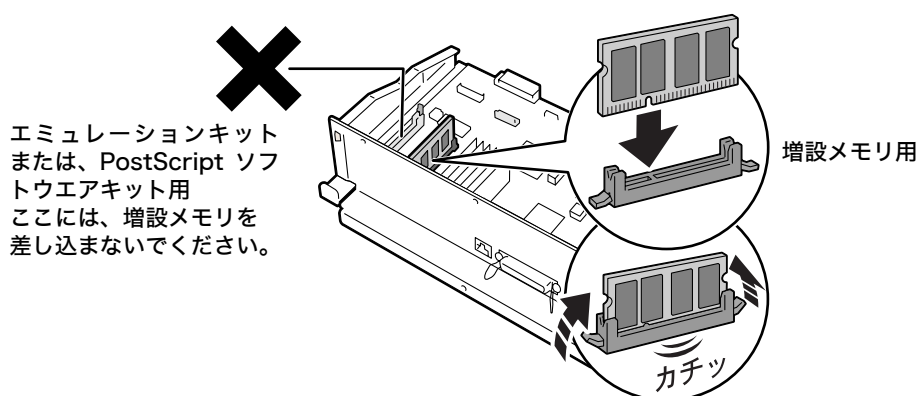
両面印刷でのメーターのカウントについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

増設メモリ（オプション）の取り付けについて

増設メモリをコントローラーボードに取り付ける場合は、下図の位置に取り付けてください。外側のスロットは、オプションのエミュレーションキット、または PostScript ソフトウエアキットを差し込むものです。間違えないように注意してください。

また、増設メモリはカチッと音がするまで、しっかり押し込んでください。正しく挿入されると、スロット両側のツメが自動的に起き上がります。

注記
・ 増設メモリを誤った位置に取り付けると、機械が故障する可能性があります。

PostScript ドライバーで光沢モードを使用するとき

PostScript ドライバーで［印刷モード］を［光沢］に指定して印刷する場合、普通紙と再生紙は使用できません。上質紙、厚紙 1、厚紙 2、コート紙 1、コート紙 2、ラベル紙、OHP フィルム、封筒、はがきのいずれかを使用してください。

モノクロ文書を印刷するとき

モノクロ文書のみを連続して印刷する場合は、［カラーモード］を［白黒］に設定してください。

TCP/IP（LPD）

TCP/IP（LPD）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

・ IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。

・ ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目の設定をしてください。

・ ポートを起動したときメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。

- 使用環境に応じて、受信バッファ容量［LPD スプール］のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量［LPD スプール］のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク（IPアドレスなど）の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

［LPD スプール］の設定が［メモリースプール］のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。

ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

［LPD スプール］の設定が［ハードディスクスプール］のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

［LPD スプール］の設定が［スプールシナイ］のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。

ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

［LPD スプール］の設定が［ハードディスクスプール］、または［メモリースプール］のとき

- 印刷データの受信を開始した順番ではなく、受信が完了した順番に印刷を開始します。そのため、先に送信した大きいサイズの印刷データが、その後に送信した小さいサイズの印刷データよりも、あとに印刷される場合があります。
- 印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足
- 印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。

［LPD スプール］の設定が［スプールシナイ］のとき

あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。

A.6 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【ART IV】

Advanced Rendering Tool の略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。IVはバージョンを表します。

【ART EX】

弊社製のページ記述言語です。

【BOOTP】

BOOTstrap Protocol の略で、TCP/IP のネットワークに接続されたクライアントが、サーバーから自動的にネットワーク設定を読み込むためのプロトコルです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウエアや画像などのデータを記録したものです。

【CMYK】

カラー印刷などでの色の表現方法です。C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【EtherTalk】

Macintosh 専用のネットワークソフトウエア「AppleTalk®」の通信プロトコルの一つです。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【ICM】

Image Color Matching の略で、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 で採用されている色管理用ソフトウエアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによる印刷結果の色を一致させます。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【IPP】

HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた 4 つの数値（10 進数）で表します。

【NetWare】

Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【N アップ】

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。

【OS】

コンピューターのハードウエアとソフトウエアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウエアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウエアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウエアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには､Adobe Acrobat Reader というソフトウエアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】

Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。

Windows 98/Windows Me の場合は、弊社の TCP/IP Direct Print Utility が必要です。Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合は、標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【ppm】

1 分間に印刷されるページ数を表す単位です。

【SMB】

Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 上で使用できます。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。

管理する側には SNMP マネージャーというソフトウエアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウエアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】

DARPANET（Defense Advanced Research Project Agency NetWork）で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【WINS】

Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウエア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウエアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウエアが販売されています。

【アンインストール】

コンピューターに組み込んだソフトウエアを削除することをいいます。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストール】

ソフトウエアやハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウエアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ハードディスクをプリンターに組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インストーラー】

ソフトウエアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウエアのことです。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。

インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルや USB ケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

【階調】

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【受信バッファ】

バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。

受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウエア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウエアもソフトウエアの一種です。

【ネットワークプリンター】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】

コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の一つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウエアです。代表的なものには、Netscape Communicator や Internet Explorer などがあります。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウエアです。

【フルカラー】

コンピューターの画面に表示できる最大の色数で、約 1,677 万色です。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウエア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ページバッファ】

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

1m^2 の用紙 1 枚の質量です。

【ローカルプリンター】

このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

→【○○○○】の【　】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

メニューの上下を切り替えるには	：〈▲〉または〈▼〉ボタン
メニューを選択、右に進むには	：〈▶〉ボタン
選択を取り消し、左に戻るには	：〈◀〉ボタン
値を確定するには	：〈**排出/セット**〉ボタン
メニューを終了するには	：〈**メニュー**〉ボタン

数値や文字の入力のしかた

値を切り替え（増減）は
：〈▲〉または〈▼〉ボタン
桁やフィールドの移動は
：〈▶〉または〈◀〉ボタン
初期値に戻すには
：〈▲〉と〈▼〉ボタンを
同時に押す

管理者メニューでの表記について

（濃い灰色）：メインメニュー
（薄い灰色）：本プリンターのオプション構成によって、表示/非表示する項目
＊：初期値

プリントメニュー

プリントメニューは、メニューによって、オプションのハードディスク、またはメディアプリントキットのいずれかが必要です。

プリント　デキマス →〈◀〉ボタン

- プリント　メニュー　デジカメ プリント → 詳細は、本書の「3 印刷する」を参照してください。
- プリント　メニュー　ドキュメント プリント → 詳細は、本書の「3 印刷する」を参照してください。
- プリント　メニュー　セキュリティー プリント → ユーザーIDヲ　センタク 1001. User1 → アンショウヲ イレ［セット］［　　　　］→ ブンショヲ　センタク スベテノ　ブンショ / ブンショヲ　センタク 1. AAA → プリントゴ　サクジョスル / プリントゴ　ホゾンスル / サクジョスル
  - 特定の文書を選択した場合だけ：ブスウ　シテイ　1ブ＊
  - ［セット］デ　プリントカイシ　または、［セット］デ　サクジョカイシ
- プリント　メニュー　サンプル　プリント → ユーザーIDヲセンタク 1001. User1 → ブンショヲ　センタク スベテノ　ブンショ / ブンショヲ　センタク 1. AAA → プリントスル / サクジョスル
  - 特定の文書を選択した場合だけ：ブスウ　シテイ　1ブ＊
  - ［セット］デ　プリントカイシ　または、［セット］デ　サクジョカイシ
- プリント　メニュー　ジコクシテイ プリント → 詳細は、本書の「3 印刷する」を参照してください。
- プリント　メニュー　メールジュシン プリント → 詳細は、本書の「3 印刷する」を参照してください。

プリントゲンゴノ　セッテイ

- 201H / ESCP / HPGL → 詳細は各言語の設定ガイドを参照してください。
- PDF
  - プリントショリ　モード：PDF Bridge＊、PS
  - ブスウ：1ブ＊（1〜999ブ）
  - リョウメン：シナイ＊、チョウヘン トジ、タンペン トジ
  - インサツ　モード：ヒョウジュン＊、コウガシツ、コウソク
  - パスワード：［　　　　］（32文字　各桁0x20〜0x7d）
  - ソート：シナイ＊、スル
  - ヨウシサイズ：ジドウ、A4＊（キホン ノ ヨウシサイズがA4の場合）/ ジドウ、8.5x11"＊（キホン ノ ヨウシサイズが8.5x11"の場合）
  - レイアウト：ジドウバイリツ＊、100%(トウバイ)、カタログ(ショウサッシ)、2アップ、4アップ
  - カラー　モード：カラー(ジドウ)＊、シロクロ
- PCL → 詳細は設定ガイドを参照してください。
- PostScript
  - ヨウシセンタクモード：ジドウ＊、トレイ　カラ　センタク
  - カラーモード：カラー＊、シロクロ
  - フォント ミトウサイジ ノショリ：フォントヲ　オキカエル＊、プリントヲ　チュウシスル
  - フォント　オキカエ：ATCxヲ　シヨウスル＊、ATCxヲ　シヨウシナイ

レポート/リスト

- ジョブリレキ　レポート、エラーリレキ　レポート、シュウケイ　レポート、キノウ　セッテイ　リスト、フォント　リスト、ＰＳフォント　リスト、ユーザーテイギ　リスト、プリントゲンゴ、チクセキブンショ　リスト、ドメインセイゲン　リスト、キノウベツカウンターレポート、メディアプリント　リスト
- プリントゲンゴ：ART EXフォーム　リスト、PSトウロク　リスト、201Hセッテイ　リスト、201Hトウロク　リスト、ESC/Pセッテイ　リスト、ESC/Pトウロク　リスト、HP-GL/2セッテイ　リスト、HP-GL/2トウロク　リスト、HP-GL/2パレット　リスト、TIFFセッテイ　リスト、TIFFトウロク　リスト、PDFセッテイ　リスト、PCLセッテイ　リスト、PCLフォーム　リスト

メーター　カクニン

- メーター1、メーター2、メーター3

キカイ カンリシャ メニュー

- ネットワーク/ポート セッテイ　次ページ以降　★Aへ→
- システム　セッテイ　次ページ以降　★Dへ→
- プリント　セッテイ　次ページ以降　★Fへ→
- メモリー　セッテイ　次ページ以降　★Gへ→
- ガシツ　ホセイ　次ページ以降　★Hへ→
- ショキカ/データ サクジョ　次ページ以降　★Ｉへ→
- エンジン　クリーニング　次ページ以降　★Ｊへ→

ゲンゴ　キリカエ

- ニホンゴ＊、English

- ネットワーク/ポート セッテイ
  - パラレル
    - ポートノ キドウ：キドウ*、テイシ
    - プリントモード シテイ：シドウ*、ART EX、PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
    - PJL：ユウコウ*、ムコウ
    - Adobe ツウシンプロトコル：ヒョウジュン*、バイナリー、TBCP
    - ジドウ ハイシュツ ジカン：30ビョウ*（5〜1275秒:5秒単位）
    - ソウホウコウ ツウシン：ユウコウ*、ムコウ
  - LPD
    - ポートノ キドウ：キドウ*、テイシ
    - プリントモード シテイ：シドウ*、ART EX、PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
    - PJL：ユウコウ*、ムコウ
    - コネクション タイムアウト：16ビョウ*（2〜3600秒:1秒単位）
    - TBCP フィルター：ムコウ*、ユウコウ
    - ポートバンゴウ：515*（1〜65535）
  - NetWare
    - ポートノ キドウ：テイシ*、キドウ
    - トランスポート プロトコル：TCP/IP, IPX/SPX*、IPX/SPX、TCP/IP
    - プリントモード シテイ：シドウ*、ART EX、PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
    - PJL：ユウコウ*、ムコウ
    - ケンサク カイスウ：ジョウゲン ナシ*（1〜100回:1回単位）
    - TBCP フィルター：ムコウ*、ユウコウ
  - SMB
    - ポートノ キドウ：キドウ*、テイシ
    - トランスポート プロトコル：TCP/IP, NetBEUI*、TCP/IP、NetBEUI
    - プリントモード シテイ：シドウ*、ART EX、PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
    - PJL：ユウコウ*、ムコウ
    - TBCP フィルター：ムコウ*、ユウコウ
  - IPP
    - ポートノ キドウ：テイシ*、キドウ
    - プリントモード シテイ：シドウ*、ART EX、PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump
    - PJL：ユウコウ*、ムコウ
    - アクセスケン セイギョ：ムコウ*、ユウコウ
    - DNSショウ：ユウコウ*、ムコウ
    - ツイカポートバンゴウ：80*（1〜65535）
    - タイムアウト：60ビョウ*（0〜65535秒:1秒単位）
    - TBCP フィルター：ムコウ*、ユウコウ

右上★Bへ→

前ページから ★C （ネットワーク/ポート セッテイ つづき）
WINSサーバー セッテイ
DHCPカラ アドレスシュトク
スル*、 シナイ
プライマリー IPアドレス、 セカンダリー IPアドレス
000. 000. 000. 000*
nnn. nnn. nnn. nnn
[DHCPカラアドレスシュトク]が [シナイ]の場合は、入力
[DHCPカラアドレスシュトク]が [スル]の場合は、取得したアドレスを表示
Ethernet セッテイ
ジドウ*、 100M(ゼンニジュウ)、 100M(ハンニジュウ)、 10M(ゼンニジュウ)、 10M(ハンニジュウ)
IPX/SPXフレームタイプ
ジドウ*、 Ethernet II、 Ethernet 802.3、 Ethernet 802.2、 Ethernet SNMP
ウケツケ セイゲン
IPポート セイゲン
シナイ*、 スル
ウケツケ IPアドレス セッテイ
No. 1~10
IPアドレス
000. 000. 000. 000*
フィルターアドレス
255. 255. 255. 255*
SNTP セッテイ
NTPサーバー トノ ドウキ
シナイ*、 スル
セツゾク カンカク
168ジカン*
1~500時間：1時間単位
NTPサーバーIPアドレス
000. 000. 000. 000*
HTTP-SSL/TLSツウシン
ユウコウ/ムコウ ノ セッテイ
ムコウ*、 ユウコウ
ポートバンゴウ
443*
1~65535
★D
システム セッテイ
イジョウ ケイコクオン
ナラサナイ*、 ナラス
ソウサパネル セッテイ
ソウサパネル セイゲン
シナイ*、 スル
アンショウバンゴウ セッテイ
[000000000000]
もう一度入力し、2回入力した番号が一致したら、[アンショウバンゴウ セッテイ]に戻る
ニンショウエラー アクセスキョヒ
シナイ*、 スル
ニンショウ カイスウ
5カイ*
1~10回
メニュー ジドウカイジョ
シナイ*、 30フンゴ
1~30分後：1分単位
テイデンリョク モード
ユウコウ*、 ムコウ
テイデンリョクイコウジカン
3フンゴ*
3~60分後：1分単位
スリープ モード
ユウコウ*、 ムコウ
スリープモードイコウジカン
8フンゴ*
8~60分後：1分単位
ジドウ ジョブリレキ
プリント シナイ*、 プリント スル
右上★Eへ→
左下から ★E （システム セッテイ つづき）
レポートリョウメンプリント
カタメン*、 リョウメン
バナーシート セッテイ
バナーシート シュツリョク
シュツリョクシナイ*、 スタートシート、 エンドシート、 スタート+エンドシート
バナーシート トレイ
トレイ1*、 トレイ2、 トレイ3、 トレイ4
セキュリティプリント ソウサ
ユウコウ*、 ムコウ
yyyy 年 2000~2099 :1年単位
mm 月 01~12 :1月単位
dd 日 01~31 :1日単位
システムトケイ
ヒヅケ
ヒヅケ(yyyy/mm/dd)
ジコク
ジコク (12ジカン)
ジコク (24ジカン)
[ジコク ヒョウジ キリカエ]の設定によって切り替え
時間 00~23 :1時間単位
分 00~59 :1分単位
ヒヅケ ヒョウジ キリカエ
yyyy/mm/dd*、 mm/dd/yyyy、 dd/mm/yyyy
ジコク ヒョウジ キリカエ
12ジカンセイ*、 24ジカンセイ
タイムゾーン
GMT +09:00*
−12:00~ +12:00、 +9:30、 +5:30、 +4:30、 +3:30、 −3:30 1時間単位
サマータイム セッテイ
シナイ*、 スル
サマータイム カイシビ
カイシビ (mm/dd)
サマータイム シュウリョウビ
シュウリョウビ (mm/dd)
ドラムジュミョウドウサ
プリント テイシ スル*、 プリント テイシ シナイ
カスタムモードがオンのときは表示されない
ミリ/インチ キリカエ
ミリ(mm)*、 インチ(")
データ アンゴウカ
アンゴウカ ショリ
シナイ*、 スル
アンゴウカ キー
[000000000000]*
数字12桁
HDDノ ウワガキ ショウキョ
3カイ*、 シナイ、 1カイ
プリントジョブ ノ オイコシ
キンシ*、 キョカ
ソフトウェア ダウンロード
キョカ*、 キンシ
ニンショウ/シュウケイ カンリ
ニンショウ/シュウケイ ウンヨウ
ニンショウ シナイ*、 ネットニンショウ/シュウケイ、 ホンタイニンショウ/シュウケイ
[ネットニンショウ/シュウケイ] 設定時だけ表示
ニンショウジョウホウ セッテイ
ジョウホウ ホゾンサキ
NVM*、 HDD
ニンショウシッパイノ キロク
スル*、 シナイ
[スル]を選んだ場合は、[カイスウ]を設定 10回* (1~600回)
ホゾンブンショ セッテイ
ブンショノ ホゾンキカン
セッテイ シナイ*、 セッテイ スル
1~14日 1日単位
ホゾンキカン
7ニチ*
ケイカゴノ サクジョジコク
03:00 AM*
03:00*
12時間制の場合 00~11 :1単位
24時間制の場合 00~23 :1単位
セキュリティプリント サクジョ
ムコウ*、 ユウコウ
サンプルプリント サクジョ
ムコウ*、 ユウコウ

★F
プリント　セッテイ
ヨウシノ　オキカエ
シナイ*、オオキイサイズヲ　センタク、チカイサイズヲ　センタク、テザシトレイ　カラ　キュウシ
ヨウシシュルイエラー　ノ ショリ
セッテイヘンコウ　ヒョウジ*、カクニンガメン　ヒョウジ、プリント　スル
トレイノ　ヨウシシュルイ
トレイ1、トレイ2、トレイ3、トレイ4
フツウシ*、サイセイシ、ジョウシツシ、アツガミ1、1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
トレイ5(テザシ)
☆a 参照
ヨウシノ ユウセン ジュンイ
フツウシ
1バンメ*、2～8バンメ、セッテイシナイ
サイセイシ
2バンメ*、1バンメ、3～8バンメ、セッテイシナイ
ジョウシツシ
3バンメ*、1～2バンメ、4～8バンメ、セッテイシナイ
1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
セッテイシナイ*、1～8バンメ
トレイノ　ユウセンジュンイ
1バンメ
トレイ1*、トレイ2、トレイ3、トレイ4
2バンメ
トレイ2*、1バンメに設定したトレイ以外
3バンメ
トレイ3*、1,2バンメに設定したトレイ以外
ヨウシノ　ガシツショリ
1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
B*、A、C
ヨウシ メイショウ セッテイ
1. ユーザー1 ～ 5. ユーザー5
1. ユーザー1*～ 5. ユーザー5*
英数、半角カタカナ 12文字
ID　インジ　キノウ
シナイ*、ヒダリウエ、ミギウエ、ヒダリシタ、ミギシタ
キスウページノリョウメン
カタメン*、リョウメン
ミトウロクフォームヘノ インジ
スル(データ　ノミ)*、シナイ
キホン　ノ　ヨウシサイズ
A4*、8.5x11"
サイズ　ケンチ　キリカエ
ABケイ*、ABケイ(8カイ/16カイ)、ABケイ(8x13/8x14)、インチ　ケイ、ABケイ(8x13")
メディア　プリント
デジカメ　プリント
ヨウシ　トレイ
トレイ5(テザシ)*、ジドウ
ヨウシ　サイズ
A4 タテ*、B5 タテ、8.5x11 タテ、ハガキ タテ
ヨウシ　シュルイ
☆a 参照
ガゾウ　ハイチ
ヨウシ　イッパイ*、サイズシテイ(ハイルダケ)、サイズシテイ(1ガゾウ)、Nアップ
ガゾウ　サイズ
シャシンLサイズ*、シャシン2Lサイズ、ハガキ、A4、8.5x11
Nアップ
3アップ(センター)*、3アップ(ヒダリヨセ)、4アップ、6アップ、8アップ、2アップ
スムージング
シナイ*、スル
ブンショ　プリント
カラー　モード
シロクロ*、カラー
リョウメン　シテイ
シナイ*、チョウヘン　トジ、タンペン　トジ
ヨウシ　トレイ
トレイ5(テザシ)*、ジドウ
テザシ　ヨウシ　サイズ
A4 タテ*、A5 タテ、B5タテ、8.5x11 タテ、8.5x14 タテ
Nアップ
シナイ*、2アップ、4アップ
スムージング
シナイ*、スル
☆a
フツウシ*、フツウシ ウラ、サイセイシ、サイセイシ ウラ、ジョウシツシ、ショウシツシ ウラ、アツガミ1、アツガミ1 ウラ、アツガミ2、アツガミ2 ウラ、OHPフィルム、コートシ1、コートシ1 ウラ、コートシ2、コートシ2 ウラ、ラベルシ、フウトウ、ハガキ、ハガキ ウラ、ユーザー1～5
★G
メモリー　セッテイ
PSショウ　メモリー
16.00M アキ xxx.xxM
16.00～96.00MB 0.25MB単位
ART EXフォームメモリー
128K アキ xxx.xxM、ハードディスク
128～2048KB 32KB単位
ART 4フォームメモリー
128K アキ xxx.xxM、ハードディスク
128～2048KB 32KB単位
ART 4ユーザテイギメモリー
32K アキ xxx.xxM
32～2048KB 32KB単位
HPGLオートレイアウト メモリー
64K アキ xxx.xxM、ハードディスク
64～5120KB 32KB単位
ジュシンバッファ ヨウリョウ
パラレル　メモリー
64K アキ xxx.xxM
64～1024KB 32KB単位
LPD　スプール
スプール　シナイ*、ハードディスク スプール、メモリー　スプール
☆c 参照
NetWare　メモリー
256K アキ xxx.xxM
64～1024KB 32KB単位
SMB　スプール
スプール　シナイ*、ハードディスク スプール、メモリー　スプール
☆c 参照
IPP　メモリー
256K アキ xxx.xxM
64～1024KB 32KB単位
IPP　スプール
スプール　シナイ*、ハードディスク スプール
☆d 参照
EtherTalk　メモリー
1024K アキ xxx.xxM
1024～2048KB 32KB単位
USB-1(1.1)　メモリー
64K アキ xxx.xxM
USB-2(2.0)　メモリー
64K アキ xxx.xxM
Port9100　メモリー
256K アキ xxx.xxM
64～1024KB 32KB単位
☆c
[スプール シナイ]の場合
1024K アキ xxx.xxM、64K アキ xxx.xxM
LPD：1024～2048KB
SMB：64～1024KB
32KB単位
[メモリー スプール]の場合
1.00M アキ xxx.xxM
0.5～32.00MB 0.25MB単位
☆d
256K アキ xxx.xxM
64～1024KB 32KB単位
★H
ガシツ　ホセイ
カラーレジ　ホセイ
カラーレジホセイチャート
テザシニ[A4]タテヲセットシ[セット]デ　プリントカイシ
シュソウサホウコウホセイ
ホセイ(LY, LM, LC)、ホセイ(CY, CM, CC)、ホセイ(RY, RM, RC)
-18～18 :1単位
00、00、00*
ホセイノ　ジッコウ
[セット]デ ホセイ カイシ
BTR　チョウセイ
フューザー　チョウセイ
フツウシ、ジョウシツシ、OHPフィルム、アツガミ1、アツガミ2、ラベルシ、コートシ1、コートシ2、フウトウ、ハガキ
-20～30 :1単位
0*
0*
-4～2 :1単位
★I
ショキカ/データ サクジョ
NVメモリー　ショキカ
[セット]デ ショキカ カイシ
ハードディスク　ショキカ
データ イッカツ サクジョ
シュウケイ レポート ショキカ
キノウベツカウンター ショキカ
フォームノ　サクジョ
ART EXフォーム サクジョ、ART4フォーム サクジョ、201Hフォーム サクジョ、ESC/Pフォーム サクジョ
0001. Form1
PCLフォーム　サクジョ
[セット]デ　PCLフォームヲ スベテ　サクジョ
フォント　サクジョ
PCLフォント　サクジョ
[セット]デ　PCLフォントヲ スベテ　サクジョ
セキュリティブンショ サクジョ
ユーザーIDヲ　センタク 1001. User1
1001. User1 [セット]デ　サクジョカイシ
★J
エンジン　クリーニング
ヒョウジュン　クリーニング
[セット]デ　カイシ